

令和4年6月

令和3年度 事業報告書

社会福祉法人福寿会

社会福祉法人 福寿会

福寿園管轄事業所

特別養護老人ホーム 福寿園

福野デイサービスセンター

旅川デイサービスセンター

旅川福祉用具貸与事業所

旅川ホームヘルプサービス事業所

旅川居宅介護支援事業所

旅川在宅介護支援センター

福寿会北部定期巡回センター

やすらぎ荘管轄事業所

特別養護老人ホーム やすらぎ荘

やすらぎ荘デイサービスセンター

やすらぎ荘居宅介護支援事業所

やすらぎ荘在宅介護支援センター

ふく満デイサービスセンター

ふく満訪問入浴介護事業所

ふく満ホームヘルプサービス事業所

福寿会南部定期巡回センター

ふく満居宅介護支援事業所

ふく満在宅介護支援センター

やすらぎ荘配食サービス

いなみ管轄事業所

特別養護老人ホーム いなみ

デイサービスセンターいなみ

いなみ居宅介護支援事業所

きらら管轄事業所

特別養護老人ホーム きらら

きららデイサービスセンター

きらら居宅介護支援事業所

きらら在宅介護支援センター

本部

社会福祉法人福寿会（介護員養成研修事業）

あすなろ保育園

令和3年度 社会福祉法人福寿会 事業報告

目次

I 法人関係	1
1 全体概況	1
2 主な行事	3
3 法人の役員	5
4 役員会等開催状況	6
II 職員関係	7
1 人事	7
2 職員の資格保有状況	7
3 人件費の状況	8
4 職員の状況	9
5 外部研修参加状況	10
6 職員会議等の状況	15
①実施状況	15
②内部会議等（委員会・班）活動報告	17
7 職員の定期健康診断等の実施状況	25
III 寄付	27
IV 事業実施状況	32
1 介護老人福祉施設事業	32
(1) 事業概況	32
(2) 年間主要行事	36
(3) 入退所者等の状況	38
(4) 利用者の状況	42
①年齢構成等	42
②在所期間の状況	43
③外泊の状況	43
④日常生活の状況	44
⑤要介護度別	47
⑥預り金の状況	47
(5) 利用者の援助状況	48
①リハビリテーションの実施方針・実施状況	48
②リハビリ機器等の保有及び使用状況	49
③身体拘束廃止に向けた取り組み状況	49
④おむつ外し、排泄、おむつ交換及び 体位変換に関する方針・取り組み状況	50
⑤クラブ・フロア（ユニット）活動状況	54
(6) 給食の実施状況	61
①給食に関する基本方針	61

②栄養量等の状況	61
③保存食の実施状況 ④検食の実施状況	61
⑤厚生センターの立入検査の状況 ⑥給食の運営方法	61
(7) 利用者の医療管理等の状況	65
①利用者の診療状況	65
②協力医療機関の状況	65
(8) 利用者の定期健康診断等の実施状況	69
①感染症及びインフルエンザ予防対策	69
②利用者の結核等定期健康診断状況	70
(9) レジオネラ症の防止対策の状況	71
(10) 災害事故防止対策	72
①災害事故防止に対する考え方	72
②重度者への防災上の配慮	72
③地域防災組織との連携状況	72
④非常食の有無	72
⑤防災設備の状況	72
⑥消防計画及び防火管理者の届出状況	74
⑦各種防災訓練の実施状況	75
⑧緊急連絡網等の整備状況	76
⑨消防署の立入検査の状況	76
⑩防火設備の保守点検及び 自動火災通報システム保守管理の状況	76
⑪管理宿直の状況	77
⑫事故防止対策	77
2 短期入所生活介護事業	78
(1) 事業概況	78
(2) 月別利用人員、日数	79
3 通所介護事業	83
(1) 事業概況	83
(2) 年間行事	85
(3) 月別利用状況	88
4 訪問介護事業	95
(1) 事業概況	95
(2) 訪問人数・回数	95
(3) 活動内容・件数	97
5 訪問入浴介護事業	100
(1) 事業概況	100
(2) 訪問人数・回数	100

6	定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業	101
	(1) 事業概況	101
	(2) 訪問人数・回数	101
7	福祉用具貸与事業	103
	(1) 事業概況	103
	(2) 物品別利用件数	103
	(3) 相談件数	103
8	居宅介護支援事業	104
	(1) 事業概況	104
	(2) 月別利用状況等	105
	①月別活動状況	105
	②地域ケア会議	106
	③南砺市医師会地域医療連携部会	106
	④留意事項伝達会議	106
	⑤事業所内研修	106
9	在宅介護支援センター	107
	(1) 事業概況	107
	(2) 月別利用状況等	107
	①事業内容別件数	107
	②相談内容別件数 ③相談方法別件数	108
	④介護教室及び介護者交流事業等の開催状況について	111
10	配食サービス	112
	(1) 事業概況	112
	(2) 食数・利用人数	112
	(3) 地区別利用実人数	112
11	介護員養成研修事業	114
	(1) 事業概況	114
	(2) 研修実施状況等	114
12	保育事業	115
	(1) 事業概況	115
	(2) 年間主要行事	115
	(3) 月別利用状況	115
V	ボランティアの受入れ状況	117
VI	研修生等の受入れ状況	119

令和3年度 社会福祉法人福寿会 事業報告

I 法人関係

1. 全体概況

- ① 令和3年度の収支状況は、法人全体の事業活動計算書におけるサービス活動増減差額は、前年度より4900万円改善したものの△2717万円の10年連続のマイナスとなった。
収益の部では、介護保険事業収益は井口デイサービスセンターの指定管理委託からはずれたことにより7800万円の皆減となったが、他施設の稼働率アップに努めた結果収益の部の減収は2700万円に収まった。
費用の部では、井口デイサービスセンターの指定管理委託からはずれたことによる退職者の増や定期退職者不補充、また処遇改善手当の支給により12月賞与の掛け率を見直したことで6300万円の人件費削減となった。事業費では、電気・ガス等の単価高騰により640万円の増、事務費では福野デイリハビリ特化型移行により業務委託費等費用が減となったことから1600万円の減となり、費用の部は7700万円の減額となった。これらからサービス活動増減差額は4900万円改善したものの、サービス活動外増減等を合わせた当期活動増減差額2500万円の減分は、その他の積立金を取り崩して対応することとした。
また、令和2年度から利用者サービスの向上や介護現場での職員負担軽減のため特養の運用定員の削減を実施している。その上で稼働率が伸び悩む特養もあるが、入居率100%を目標に入所事務の効率化等により空床の速やかな解消を図り、特養の稼働率の向上に努めるとともに経常経費の節減に取り組んだ結果、全体としては収支の改善が図られた。持続可能な法人運営を実現するため、損益分岐点を念頭に置きながら今後ともこの取り組みを更に進め経営の健全化を図っていく必要がある。
- ② 持続可能な法人運営をめざすためには、職員の協力が不可欠であることから、6月に令和2年度の決算状況やそれぞれの施設における課題やその解決策を話し合うため理事による経営に関する職員向け説明会を4管轄で開催した。
- ③ 介護職希望学生の減少等による新規就業者の減少や、途中離職、高齢化による退職者の増加等により職員数の減少が続いている。また、年金支給年齢が段階的に引き上げられていることから、雇用と年金の接続を図るとともに、現役職員の能力を最大限発揮してもらうため、これまでの65歳までの再雇用制度を更に進め、令和2年度から職員の退職年齢を60歳から65歳に段階的に引き上げている。令和3年度末は1歳引き上げた61歳のまま2年間の経過措置期間中であり、対象職員は引き続き勤務されている。また、働き方改革関連法による年次有給休暇の5日以上の取得義務化に対応するため、福寿会と全事業所の労働者代表との間で年次有給休暇の計画的付与に関する労使協定を締結し、5日間に限り職員の申出により法人が年次有給休暇の計画的付与を行った結果、全ての職員が有給休暇5日以上を取得するとともにリフレッシュ休暇も計画的に取得することができた。
- ④ あすなる保育園の令和3年度は昨年度からの継続園児8名からスタートしたが、後半の11月より育休明けの方や新規採用の方のお子様をお預かりして、年度末には14名（内従業員枠8名、地域枠6名）となった。開園5年目を迎え、従業員枠、地域枠のどちらもより多くの方に認知されてきており、兄弟で利用される方も増えてきた。保育所拠点収支は、土曜日開所の月が多かったことや、年度途中より預かった園児が増加したことで補助金及び利用料で費用を賄えたことにより各拠点からの繰り入れは行わなかった。

⑤ 介護職員初任者研修について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、例年6月の開講を2か月延期し8月からスタートしたが、令和3年度は例年通り6月からスタートした。受講者には毎日の検温、手指消毒の徹底、3密の回避のためマスクの着用や小まめな換気など感染予防策を徹底しての研修を実施した。福寿会職員5名、他の介護施設職員1名、その他6名の12名が受講し、そのうちの6名と富山県技術専門学院砺波センターの初任者研修修了生1名が南砺市の介護人材確保のための介護人材雇用型訓練事業を活用して福寿園、やすらぎ荘、特養いなみ、きららで2カ月間の雇用型訓練に取り組み、5名が引き続き福寿会に臨時職員として勤務している。福寿会の初任者研修には他の介護施設から勧められて受講する職員が多いことが特徴のひとつとなっているが、今年度は福寿会の5名の職員が施設から勧められて基礎技術の習得に取り組み、当法人の初任者研修の当初の目的でもある、経験がなくても福寿会に勤めながら介護技術を習得することのできる環境整備に近づいているといえる。初任者研修を行うことで、介護人材の確保、育成に大きく寄与していることからこれからも受講生募集に努め、年1回開講していかなければならない。福寿会としては資格取得のためのインセンティブともなる資格手当を増額したこともあり、今後とも初任者研修修了者のキャリアアップのため国家資格である介護福祉士取得を積極的に奨励していく。

⑥ 昨年度に引き続き介護職員処遇改善加算（Ⅰ）を算定するため、職員の資質向上に向け全職員を対象とした人事評価を実施しているが、職員を差別化するものではなく、あくまで本人の振り返り、上司からの公平な評価によりサービス向上や能力向上に繋げるものであることを周知するため、4管轄での職員説明会を開催した。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染防止のため職員研修会等は中止した。

また、介護労働者の確保を目的として介護職員等特定処遇改善加算を算定し、職員の日頃の努力に応えモチベーションの向上を図るため、毎月支給する資格手当を増額するとともに処遇改善手当を5月と12月に賞与として支給することにより職員の処遇改善に努めているが、令和4年2月に介護職員処遇改善支援補助金が示され、当法人でも職員の処遇改善のためこの補助金を原資として「介護職員等処遇改善支援手当」を創設した。2月から毎月、基本給の増額分として支給している。

一方、基本理念に基づき行動する職員を明示し、その実践のための人材確保、人材育成、人材の評価、並びに適正な給与体系の見直しが求められている。そのため今年度は、人事制度見直しプロジェクトチームを立ち上げ、今後は専門コンサルタントからの支援を受けながら、これらの課題解決に取り組んでいくこととする。

⑦ 施設間のサービス内容の統一や新任職員研修の研修方法の統一のため、昨年に引き続き4月から4管轄統一の訓練計画書に基づく介護職員の新任職員研修を実施している。新卒6名、中途採用1名の計7名の新任職員をホームへ配属し、それぞれの施設に教育担当責任者や新任職員指導者を置き、指導結果を検証しながら研修を行い新規採用職員の着実な定着に努めた。一方、指導者自らの指導方法に対する不安も見られたため、指導者を対象とした交流会を実施した。

⑧ 福野デイサービスセンターは4月1日、田中理事長はじめ各関係者出席のもと「オープニングセレモニー」を開催し、新たな取り組みとして午前午後の2交代制のサービスを提供するリハビリ特化型のデイサービスセンターとしてリニューアルした。かねてより市内で強い要望のあった筋力や体力の低下が気になる方、退院したけれどももう少し専門的なりハビリを受けたい方、家に引きこもりがちだけど一般的なデイサービスになじめないと感じている方などが、身近な施設で機能訓練を強化しQOLの向上と自立支援を図ることが目的である。当センターの職員体制は、理学療法士や作業療法士の資格を持った機能訓練指導員を1名ずつ配置しており、利用者本人の思いに配慮したりハビリプランを作成し定期的な評価も実践している。また、医師やケアマネジャーなども参加する事例検討会を行い、サービスの質向

上にも取り組んだ。3月末の実利用者は67名となり、南砺市内だけではなく砺波市や小矢部市からも利用されているが、年間平均稼働率は31.9%となり、月を追うごとに稼働率は伸びているが目標とする損益分岐点の到達に向けて努力していく必要がある。今後も、南砺市内の在宅支援サービス充実と地域包括ケアシステム推進に貢献していきたい。

- ⑨ 新型コロナウイルス感染者は当法人事業所でも発生したが、その都度砺波厚生センター、南砺市、南砺市民病院、公立南砺中央病院等関係機関からなる新型コロナウイルス感染対策会議を開催して、速やかな対応を取ったことでその拡大を防止することができた。併せて新型コロナウイルスの実態を学ぶとともに、福寿会感染症対策委員会連絡会議において法人としての対応方針について協議した。また、看護部会で作成した新型コロナウイルス発生時の対応マニュアルを遵守して、法人内における感染状態に応じた対応策の統一を図った。福寿会ではこのマニュアルに従い、感染防止策（スタンダードプリコーション）の徹底を図っている。また、公益信託富山ファーストバンク社会福祉基金助成金を活用して、感染対策にかかる環境備品などの整備を図った。

2. 主な行事

日付	内容
令和3年 4月 1日	福野デイ（リハビリ特化型）オープニング式典 新任者辞令交付式及び永年勤続者表彰式
4月 9日	第1回施設長会議（理事会・評議員会議案等について、人事評価研修及び理事による経営説明会について）
4月14日	4月本部会議（理事会・評議員会議案、職員採用試験について、人事評価、経営説明会について、法人研修会について、各施設ワクチン接種及び抗原検査キットの配布について）
4月27日	高校生就職問題協議会
5月11日	第2回施設長会議（令和2年度決算概要、南砺市指定管理施設の譲渡について市との協議内容の報告） リモート職場説明会
5月14日	評議員選任・解任委員会 5月本部会議（公認会計士監査前確認・監査・理事会について、新型コロナウイルスワクチン接種状況について、福野デイサービスセンター利用状況等について）
5月19日	公認会計士の指導及び助言（やすらぎ荘、きらら、福寿園、いなみ、本部）
5月25日	第3回施設長会議（南砺市公共施設再編計画への要望書の取り纏めについて）
6月 1日	初任者研修開講式
6月 9日	第4回施設長会議（収支改善・処遇改善手当について）
6月14日	6月本部会議（評議員会・理事会について、福寿会の収支改善について、労働災害を防止するための取組みについて、法人内の待機者の状況について）
6月25日	人事評価制度職員説明会及び理事による経営説明会（いなみ）
6月28日	人事評価制度職員説明会及び理事による経営説明会（きらら）
6月29日	人事評価制度職員説明会及び理事による経営説明会（やすらぎ荘）
6月30日	人事評価制度職員説明会及び理事による経営説明会（福寿園）
7月 2日	職員募集高校訪問（となみ野高校、小矢部園芸高校）
7月 6日	職員募集高校訪問（福野高校、平高校）
7月 7日	職員募集高校訪問（中央農業高校）
7月 9日	第5回施設長会議（理事による職員説明会について、職員採用試験日程について、食費の見直しについて、臨時理事会の開催について）

7月12日	職員募集大学訪問（富山短期大学、富山福祉短期大学）
7月13日	令和3年度南砺市社会福祉法人連絡会全体会
7月14日	7月本部会議（理事による経営説明会を終えて、職員採用試験日程について、食費の見直しについて、臨時理事会について）
7月18日	福祉のお仕事フェア in TOYAMA（場所：富山国際会議場）
8月3日	高校生職場見学
8月6日	高校生職場見学
8月8日	職員採用試験（学卒、一般）
8月10日	第6回施設長会議（職員採用試験について、資金の預け入れについて、新しい給与体系の検討について）
8月13日	8月本部会議（職員採用試験について、新しい給与体系の検討について、令和3年度第一次収支補正予算について、資金の預け入れについて）
8月31日	第7回施設長会議（新しい給与体系に向けた福祉経営コンサルタント会社の検討）
9月9日	第8回施設長会議（人事評価及び給与体系の見直し説明会の開催について、事業所毎の損益分岐点について、理事会の開催について）
9月14日	9月本部会議（職員採用試験について、理事会に開催について、損益分岐点について、副理事長と4拠点との意見交換会について）
9月19日	職員採用試験（事務員、介護職員）
9月22日	職員採用試験（高校性）
9月30日	南砺市議会自民クラブ懇談会
10月1日	人事評価、給与体系説明会（福寿園地域交流ホール）
10月5日	人事評価、給与体系説明会（福寿園別館会議室）
10月8日	職員採用試験（看護職）
10月11日	第9回施設長会議（副理事長と4拠点の意見交換会の日程について、職員採用試験結果について、理事会の開催について）
10月14日	10月本部会議（副理事長と4拠点の意見交換会の日程について、職員採用試験結果について、理事会の開催について、人事制度の見直しについて）
10月20日	副理事長との意見交換会（福寿園）
10月22日	副理事長との意見交換会（いなみ）
10月27日	副理事長との意見交換会（やすらぎ荘）
10月28日	副理事長との意見交換会（きらら）
11月8日	第10回施設長会議（2月の評議員会・理事会の開催について、人事評価結果の提出について）
11月12日	11月本部会議（2月評議員会・理事会の開催等について、意見交換会を終えて、人事制度見直しについて）
12月2日	職員採用試験（介護職）
12月10日	第11回施設長会議（2月評議員会・理事会について、理事長年頭訓示について、人事評価の結果について、被扶養者の扶養認定について、予算ヒアリングについて、人事異動について）
12月14日	12月本部会議（2月評議員会・理事会について、理事長年頭訓示について、人事評価の結果について、被扶養者の扶養認定について、予算ヒアリングについて、新任職員・初任者研修について）
12月17日	人事制度見直しプレゼンテーション（提案 2社）
12月27日	第12回施設長会議（ハラスメント防止に関する規程の制定について、扶養手当の適正支給について、人事異動について）
令和4年1月4日	理事長年頭訓示（福寿園地域交流センター）
1月12日	第13回施設長会議（南砺市公共施設再編計画見直し素案について、福寿会設立50周年記念事業について、きらら大規模改修について、ハラスメントの防止に関する規程等の見直しについて、人事異動につ

	いて)
1月14日	1月本部会議(予算ヒアリング日程について、福寿会の今後の取組について、ハラスメントの防止に関する規程等の見直しについて、理事会について)
1月19日	第14回施設長会議(人事制度PTについて、人事異動について、
1月26日	南砺市指定管理施設管理候補者選定プレゼンテーション
1月27日	第15回施設長会議(人事異動について、新型コロナ感染対策について)
1月28日	第1回人事制度プロジェクトチーム会議
1月30日	職員採用試験(登用、一般)
2月7日	第16回施設長会議(人事異動について)
2月14日	2月本部会議(コロナ関連経過報告、評議員会及び理事会について、南砺市指定管理候補者の選定結果について、第三者委員について)
2月22日	第2回人事制度プロジェクトチーム会議
2月24日	第1回福寿会設立50周年記念事業実行委員会
3月9日	第17回施設長会議(人事異動内示について、コロナ感染者の施設療養に係る危険手当について、専決処分について)
3月14日	3月本部会議(R4年間スケジュールについて、専決処分について、辞令交付式及び永年勤続表彰式について、新任者及び初任者研修について)
3月18日	第3回人事制度プロジェクトチーム会議
3月23日～24日	新任職員研修
3月31日	退職辞令交付式(南砺市役所別館3階ホール)

3. 法人の役員等(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	職業等
理事長	田中 幹夫	南砺市長
副理事長	南 眞司	医師
常務理事	高山 博文	福寿会本部事務局長
理事	前川 達夫	きらら施設長
〃	羽馬 由美	やすらぎ荘施設長
〃	吉田 雅彦	いなみ施設長
〃	山田 利浩	福寿園施設長
〃	井口 一彦	前監事
〃	富田 光恵	きらら生活相談員
監事(代表)	須河 透	南砺市監査委員
〃	石岡 威	元きらら施設長
評議員	中山 繁實	南砺市社会福祉協議会会長
〃	齊藤 宗人	南砺市副市長
〃	石川 弘	南砺市議会民生文教常任委員長
〃	得能 金市	南砺市民生児童委員協議会代表
〃	大橋 隆樹	南砺市社会福祉協議会代表
〃	水口 幹夫	南砺市地域づくり協議会連合会代表
〃	中川 敬子	南砺市さわやかネットワーク理事
〃	朝日 田鶴子	南砺市ボランティア連絡協議会副会長
〃	村井 一仁	砺波市福祉市民部長
〃	横川 和弘	小矢部市民生部長
〃	島崎 博美	南砺市地域包括医療ケア部次長

4. 役員会等開催状況

(1) 評議員会

開催日及び場所：令和3年6月24日（福寿園「平成館」2階多目的ホール）

議案第3号 社会福祉法人福寿会理事及び監事の選任について

議案第4号 令和2年度事業報告について

議案第5号 令和2年度収支決算について

開催日及び場所：令和4年2月28日（福野体育館 会議室1）

議案第1号 社会福祉法人福寿会の定款の一部を改正する定款について

議案第2号 令和4年度事業計画について

議案第3号 令和4年度収支予算について

議案第4号 社会福祉法人福寿会理事及び監事の選任について

(2) 理事会

省 略 決 議：令和3年4月30日

議案第17号 社会福祉法人福寿会評議員選任・解任委員会の召集決定について

議案第18号 社会福祉法人福寿会評議員候補者の推薦について

開催日及び場所：令和3年6月7日（福寿園「平成館」2階多目的ホール）

議案第19号 社会福祉法人福寿会経理規程の一部を改正する規程について

議案第20号 令和2年度事業報告について

議案第21号 令和2年度収支決算について

議案第22号 社会福祉法人福寿会定時評議員会の召集決定について

開催日及び場所：令和3年6月24日

議案第23号 社会福祉法人福寿会理事長の互選について

議案第24号 社会福祉法人福寿会副理事長の互選について

議案第25号 社会福祉法人福寿会常務理事の互選について

議案第26号 社会福祉法人福寿会評議員選任・解任委員会委員の選任について

開催日及び場所：令和3年10月20日（福寿園「平成館」2階多目的ホール）

報告第1号 専決第1号 令和3年度第一次収支補正予算について

議案第27号 社会福祉法人福寿会嘱託職員就業規則の一部を改正する規則について

議案第28号 社会福祉法人福寿会臨時職員等就業規則の一部を改正する規則について

議案第29号 社会福祉法人福寿会職員給与規程の一部を改正する規程について

省 略 決 議：令和4年1月18日

議案第1号 社会福祉法人福寿会評議員会の召集決定について

開催日及び場所：令和4年2月28日（福野体育館 会議室1）

報告第1号 専決第2号 社会福祉法人福寿会あすなろ保育園運営規程の一部を改正する規程について

議案第2号 社会福祉法人福寿会定款の一部を改正する定款について

議案第3号 社会福祉法人福寿会就業規則の一部を改正する規則について

議案第4号 社会福祉法人福寿会職員給与規程の一部を改正する規程について

議案第5号 社会福祉法人福寿会ハラスメントの防止に関する規程の制定について

議案第6号 旅川デイサービスセンター（通所介護）運営規程等の一部を改正する規程について

- 議案第 7 号 旅川居宅介護支援事業所運営規程の一部を改正する規程について
- 議案第 8 号 社会福祉法人福寿会やすらぎ荘配食サービス事業運営規程の一部を改正する規程について
- 議案第 9 号 いなみ施設運営に要する経費に充てるための人件費積立資産及び人件費積立金、修繕積立資産及び修繕積立金並びに備品等購入積立資産及び備品等購入積立金の取り崩しの変更について
- 議案第 10 号 令和 3 年度第二次収支補正予算について
- 議案第 11 号 いなみ施設運営に要する経費に充てるための人件費積立資産及び人件費積立金、修繕積立資産及び修繕積立金並びに備品等購入積立資産及び備品等購入積立金の取り崩しについて
- 議案第 12 号 令和 4 年度事業計画について
- 議案第 13 号 令和 4 年度収支予算について
- 議案第 14 号 社会福祉法人福寿会施設長等の選任について
- 議案第 15 号 社会福祉法人福寿会第三者委員の選任について

(3) 監査会

開催日及び場所：令和 3 年 5 月 2 1 日（福寿園別館 3 階会議室）

案件 令和 2 年度法人及び各施設の事業並びに各会計収支決算全般の監査

(4) 評議員選任・解任委員会

開催日及び場所：令和 3 年 5 月 1 4 日（福寿園別館 3 階会議室）

案件 評議員 5 名の再任及び 6 名の新任の選任

II 職員関係

1. 人事

(単位：人数)

職 種	退職（令和 2 年度）	採用（令和 3 年度）
施設長（所長含む）	2	
事務員		1
介護職員	15	8
看護職員	3	1
理学療法士		1
介護支援専門員	2	1
栄養士		1
調理員	1	
計	23	13

令和 3 年度採用者は 13 名（内、臨時職員から正職員登用者 4 名、初任者研修受講者 1 名）

※対象は正職員（嘱託含む）

2. 職員の資格保有状況

(令和 4 年 3 月 3 1 日現在)

(単位：人数)

資格名	法人全体	前年増減
社会福祉士	17 [17]	0
介護福祉士	241 [242]	-1
介護支援専門員	65 [69]	-4

※対象は正職員（嘱託含む）、 [] は前年度実績

3. 人件費の状況（本俸）（令和4年3月31日現在）

（単位：人／千円、歳）

	法人全体	前年増減
人 数	322 [333]	-11
一人平均月額	246 [246]	0
平均年齢	43.4 [43.6]	-0.2

※対象は正職員（嘱託含む）、[]は前年度実績

4 職員の状況

福寿園

(令和4年3月31日現在：人)

区分	福寿園							計
	施設	福野 デイサービス センター	福野 デイサービス センター	旅川 福祉用具貸与事業所	旅川 ホームヘルプ サービス事業所	旅川 居宅介護支援事業所 (在宅介護支援センター)	旅川 北部定期巡回 センター	
施設長	1							1
事務員	4							4
生活相談員	3	1	2					6
介護支援専門員	2					7		9
介護職員	54	2	5					61
看護職員	4		1					5
機能訓練指導員	2	1						3
栄養士	1							1
介助員								
運転手								
調理員								
ホームヘルパー					3		8	11
福祉用具専門相談員				1				1
医師								
P		1						1
T								
その他								
計	71	5	8	1	3	7	8	103

やすらぎ荘

区分	やすらぎ荘				ふく満		計
	施設	デイサービス センター	居宅介護支援事業所 (在宅介護支援センター)	デイサービスセンター (訪問入浴)	ホームヘルプ サービス事業所	居宅介護支援事業所 (在宅介護支援センター)	
施設長	1						1
事務員	4			1			5
生活相談員	2	2		1			5
介護支援専門員	2		4			4	10
介護職員	47	6		7			60
看護職員	4	2		1	1		8
機能訓練指導員				1			1
栄養士	2						2
介助員	1						1
調理員	7						7
ホームヘルパー					6		6
医師							
P							
T							
その他							
計	70	10	4	11	7	4	106

いなみ

区分	いなみ			計
	施設	デイサービス センター	居宅介護支援事業所	
施設長	1			1
事務員	3			3
生活相談員	2	2		4
介護支援専門員	2		3	5
介護職員	30	4		34
看護職員	4	1		5
機能訓練指導員				
栄養士	1			1
運転手				
医師				
P				
T				
その他				
計	43	7	3	53

きらら

区分	きらら			計
	施設	デイサービス センター	居宅介護支援事業所 (在宅介護支援センター)	
施設長	1			1
事務員	2			2
生活相談員	1	2		3
介護支援専門員	3		2	5
介護職員	29	6		35
看護職員	2	1		3
機能訓練指導員				
栄養士	2			2
調理員	2			2
介助員				
運転手				
医師				
P				
T				
その他				
計	42	9	2	53

本部事務局

区分	本部
事務局長	1
事務員	6
計	7

5 外部研修参加状況

福寿園 (抜粋)

年月日	研修内容	研修地	参加者名
5.2	高岡在宅褥瘡研究会	高岡市	城宝、堀池
5.17, 24, 31	福祉用具・住宅改修研修	富山市	新井要
6/1~28	認知症介護基礎研修	富山市	土谷、藤坂、松本
6.9	介護職員リスクマネジメント研修	富山市	山本
6.21	新任職員介護技術実践サポート研修	富山市	西村彩
6.29~7.26	腰痛予防研修	富山市	大石、栃原
7.15	富山県老人福祉施設大会	射水市	施設長、水内、常本、大浦、野村
7.15	高岡在宅褥瘡研究会	高岡市	角田、瀧川
7.17	砺波地区ホームヘルパー研修会	南砺市	中村
7.19	新任職員介護技術実践サポート研修	富山市	小柄
7.26	中学への福祉介護出前講座	南砺市	施設長、清末、原田、廣川
8.2	腰痛予防指導者研修	富山市	大石、栃原
8.11	認知症介護実践研修	富山県	土谷、松田、藤坂
8.19~11.2	認知症介護実践研修	富山県	柴田頼
7.7~2.9	喀痰吸引等研修	南砺市	荒井、河合、川平
9.2, 6	腰痛予防フォローアップ研修	富山市	大石、栃原
9.13, 15	リフトリーダー養成研修	富山市	大石、栃原
9.14~29	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会	オンライン	田中、竹村、永井憲、河合
9.25、10.2	感染症対策業務継続計画策定及び感染症発生シミュレーション訓練研修	オンライン	平野
9.27	見守りコミュニケーション介護ロボット研修	富山市	瀧川、荒田
10.21~26	サービス提供責任者研修	富山市	中村
10.28~29	新任職員指導者技術向上研修	富山市	上田、島田
11.5	認知症介護基礎研修	富山市	善本
11.9, 16	中学への福祉介護出前講座	南砺市	上野、中嶋美、角田、松田、百島、大石、山本実他
11.17, 18	障害者職業生活相談員資格認定講習	高岡市	水内
11.16	介護職員部会 I	オンライン	中嶋覚
11.18	高岡在宅褥瘡研究会	高岡市	角間、根尾
11.18~29	高齢者施設等新型コロナウイルス感染症研修	砺波市	荒田、中村、井野
11.25	移乗支援機器活用推進研修	富山市	角間
11.26	中堅職員研修	富山市	角田、金子
11.30	副安全運転管理者講習	オンライン	井野
2.2	南砺市社会福祉法人研修	オンライン	施設長、常本
2.3	虐待防止権利擁護研修	富山市	百島
2.27, 28	認知症ケア研修	富山市	上野
3.6	認知症ケア研修(応用編)	富山市	室田
3.23	富山県定期巡回随時対応型~事業所連絡会	富山市	荒木

やすらぎ荘 (抜粋)

年月日	研修内容	研修地	参加者名
4.19~4.26, 5.14	新任認定調査員研修会 eラーニング他	南砺市/砺波市	石崎喜
5.25	観察の視点を活かした介護記録研修	富山市	神田恵
6.1	認知症介護基礎研修(第1回)	富山市	堀沢
6.2~8.11	認知症介護実践研修(実践者研修)(第1期)	富山市	上坂英
6.3、7.19	富山県障害者(児)ホームヘルパー等養成研修	富山市	高野
6.4~10.12	介護支援専門員 専門研修 I・II オンライン	南砺市	石崎喜、中川洋、高瀬ち
7.7、8	第2回介護職員リスクマネジメント研修	富山市	吉田、明石
7.7~9.16	喀痰吸引等研修 Zoom他	南砺市	南、犀川
7.17、8.16	介護支援専門員スキルアップオンライン研修 ZOOM	南砺市	山本真、堀
7.21	新任介護職員フォローアップ研修(介護技術編)	高岡市	奥野芙
7.27~8.12	富山県同行援護従業者養成研修 一般課程	富山市	高松
8.3	砺波厚生センター管内職域栄養士等研修会	南砺市	本村
8.17	認知症介護基礎研修(第2回)	富山市	河合実、能澤
8.19~11.2	認知症介護実践研修(実践者研修)(第2期)	富山市	直井、古石
9.13、9.15	リフトリーダー養成研修	富山市	下田

年月日	研修内容	研修地	参加者名
9. 14、15	令和3年度東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会（三重オンライン大会）	南砺市	馬場、奥野早、宮崎
9. 15	安全運転管理者等講習	南砺市	上坂英、神田拓
9. 21、22	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダー職員研修	富山市	竹山
9. 25、10. 2	感染症対策業務継続計画策定および感染症発生シミュレーション訓練研修 ZOOM	南砺市	大谷、川合美、中村
9. 27	見守り・コミュニケーション介護ロボット研修	富山市	馬場、明石
10. 1	富山県老人福祉施設協議会 生活相談員部会	富山市	西村亜
10. 2	富山県ホームヘルパー協議会研修会（訪問介護との連携）	砺波市	高野、片田、高松
10. 5	富山県老人福祉施設協議会 栄養士部会 オンライン	南砺市	本村
10. 5	高齢者虐待対応研修 オンライン	南砺市	井口朋
10. 8～3. 3	富山県主任介護支援専門員研修	富山市	木村
10. 11	きらら腰痛予防研修	南砺市	馬場、松崎、井口朋、村田
10. 18	第1回オンライン科学的介護LIFE研修 ZOOM	南砺市	山本真
10. 20	富山県老人福祉施設協議会 デイサービス部会	小矢部市	小坂、上坂英
10. 25～12. 8	富山県主任介護支援専門員更新研修	南砺市	山本真
10. 26	富山県老人福祉施設協議会 看護職部会 ZOOM	南砺市	上坂大
10. 28、29	新任職員指導者技術向上研修（排泄編）	富山市	渡辺
11. 1	地域リハビリテーション研修会 オンライン	南砺市	池田
11. 1	富山県老人福祉施設協議会 施設介護支援専門員部会	滑川市	石崎喜
11. 5	認知症介護基礎研修（第3回）	富山市	藤田和
11. 9、10	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者研修	富山市	中濱
11. 12	第1回富山県ホームヘルパー研修会	富山市	市川
11. 12	第2回危険物取扱者保安講習	砺波市	中島哲
11. 15～2. 2	認知症介護実践研修（実践者研修）（第3期）	富山市	上見
11. 16	富山県老人福祉施設協議会 介護職部会 I ZOOM	南砺市	関谷
11. 17	富山県老人福祉施設協議会 地域福祉部会 ZOOM	南砺市	羽馬
11. 17	砺波地域障害者サービス事業所連絡会（第2回）	南砺市	片田
11. 17、18	障害者職業生活相談員資格認定講習	高岡市	七山
11. 19	3市合同施設ボランティア受け入れ担当職員研修会 ZOOM	南砺市	小坂
11. 25	アルコール依存症家族教室	南砺市	川合美、木村、堀
11. 26	衛生管理者等研修会	砺波市	中田奈
11. 27	砺波地区ホームヘルパー研修会	南砺市	市川、高野、山口
11. 27～12. 11	主任介護支援専門員ケアプラン点検研修	富山市	池田、大谷
11. 29	高齢者施設・障がい者施設等新型コロナウイルス感染症研修会	南砺市	羽馬、寶勝、山本真、池田、中村
11. 29	地域ケア会議の手法とファシリテーター養成講座	南砺市	中川洋、川合
12. 3	富山県老施協施設長及びデイ協センター長合同研修会	富山市	羽馬
12. 8、9	中堅介護職員向け研修 オンライン	南砺市	宮崎、古石
12. 14～3. 9	富山県介護支援専門員実務研修	富山市	高松
12. 17	富山県デイ協砺波地区会職員研修会	南砺市	中田奈、山本直
12. 22	富山県老人福祉施設協議会 事務員部会	小矢部市	山本
12. 24～3. 31	第78回全国老人福祉施設大会 山口大会 ZOOM	南砺市	羽馬、開、長谷川
1. 14	富山県老人福祉施設協議会 介護職部会 II ZOOM	南砺市	廣田
1. 19	砺波圏域介護予防ケアマネジメント等研修会 ZOOM	南砺市	高瀬ち
1. 19	第2回砺波厚生センター管内職域管理栄養士等研修会 ZOOM	南砺市	本村
1. 21	富山県老施協LIFE研修会 ZOOM	南砺市	荒木、長谷川、中田奈
1. 21	富山県ホームヘルパー協議会研修会	富山市	高野
2. 2	南砺市社会福祉法人研修会～災害に備える～ ZOOM	南砺市	羽馬、寶勝、山本真、中島哲
2. 3	難病患者等ホームヘルパー養成研修	富山市	小西
2. 9、10	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員研修	富山市	下田
2. 25	富山県老人福祉施設協議会21世紀委員会研修会 ZOOM	南砺市	長谷川
3. 6	認知症ケア研修（応用編）	富山市	木戸澄
3. 8	福祉サービス苦情解決研修会 ZOOM	南砺市	西村亜

年月日	研修内容	研修地	参加者名
3.20	終末期ケア研修 ZOOM	南砺市	源田

いなみ (抜粋)

年月日	研修内容	研修地	参加者名
4.13、4.22	排泄ケアから考える介護保険改定オンラインセミナー	南砺市	吉田施設長、笠田、柴田、中田純、他3名
4.16	介護報酬改定説明会 (動画配信)	南砺市	山道
4.28	LIFE動画セミナー	南砺市	洲崎、笠田、柴田、藤森、開、江田
5.25	観察の視点を活かした介護記録研修	富山市	高野
5.31~10.27	バーセルインデックス研修 (20回) (動画配信)	南砺市	柴田、他61名
5.28、9.30、3.22	地域ケア合同研修会	南砺市	大村、山道、金戸
6.1	認知症介護基礎研修	富山市	上田
6.2~8.11	認知症介護実践研修 (実践者研修)	富山市	中川
6.9、6.10	介護職員リスクマネジメント研修	富山市	山田美
7.15	富山県老人福祉施設大会	射水市	吉田施設長、岩倉明、小西
7.30、11.26、1.28	南砺市介護支援専門員研修会	南砺市	山道、金井
7.1~9.17	喀痰吸引等研修 オンライン講習他	南砺市	南部、岩倉友
8.16	スキルアップ研修 (Zoom)	南砺市	金井
8月~10月	富山県支援専門員更新研修 (B)	富山市	山田真、開
9.6	地域リハビリテーション研修会	南砺市	洲崎
9.7	安全運転管理者講習会 (Zoom)	南砺市	洲崎
9.13~18	東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会 (オンライン)	南砺市	吉田施設長
9.29	事務長部会	南砺市	笠田、井口
10.1	生活相談員部会	富山市	笠田
10.4	腰痛予防研修	南砺市	南部、藤森、江田、齋藤夢
10.5	栄養士部会 (オンライン)	南砺市	竹治
10.12	介護施設における安全対策担当者養成研修 (オンライン)	南砺市	山田美
10.20	デイサービス部会	小矢部市	小西
10.26	看護職部会 (Zoom)	南砺市	中山
10月~2月	主任介護支援専門員研修	富山市	山道、金戸
10月~12月	主任介護支援専門員更新研修 (Zoom)	富山市	金井
11.1	施設介護支援専門員部会	滑川	柴田
11.5	介護保険施設事業所意見交換会	南砺市	笠田
11.16	介護職部会 I (Zoom)	南砺市	齋藤遥
11.17	地域福祉部会 (Zoom)	南砺市	吉田施設長
11.19	3市合同施設ボランティア受け入れ担当職員研修会 (Zoom)	南砺市	笠田、開
11.25、26	中堅職員研修	富山市	齋藤夢
12.3	老施設施設長及びデイ協センター長合同研修会	富山市	吉田施設長
12.13	砺波厚生センター管内地域難病ケア連絡会	南砺市	山道
12.15	砺波地方居宅介護支援事業者連絡協議会研修会	南砺市	山道
12.17	富山県デイ協砺波地区会職員研修会	南砺市	峠
12.22	事務員部会	小矢部市	柴田
1.14	介護職部会 II (Zoom)	南砺市	西野
2.2	南砺市社会福祉法人研修会 (Zoom)	南砺市	吉田施設長
2.10、2.22	するっとスッキリ便秘ケア研修 (Zoom)	南砺市	柴田、西井、南部、中田純、他5名

きらら (抜粋)

年月日	研修内容	研修地	参加者名
5.27	介護支援専門員法定研修ファシリテーター講習会【ZOOM】	南砺市	中田章
5.28	地域ケア合同研修会	南砺市	黒川
6.1	認知症基礎研修	富山市	白山・水本
6.1	認知症基礎研修 (講師)	富山市	河原
6.4	全国安全週間説明会	小矢部市	長谷川秀
6.9~10	介護職員リスクマネジメント研修	富山市	清水

年月日	研修内容	研修地	参加者名
6.22	認知症介護実践研修（講師）第一期	富山市	河原
6.10	救急救命講習	南砺市	長谷川秀・上坂・長谷川志・木下・今井・尾村・中田真・宮本・則島・谷田・埴生・山本真・新山・澤田・中村・嶋田・片岸・倉賀野・片田・丸山・梶井・石村・吉田・齊田
6.17	救急救命講習	南砺市	前川施設長・山本由・富田・新谷・二永・長内・水上・池澤・谷村・松本・三浦・水野・坂井・干場
6.24	救急救命講習	南砺市	境・中谷・河原・谷田・長田・森田・笹田・松原・古上・片桐・荒木・白山・宮永・中川典・山村・伊藤・寺井・野中
7.1～9.17	喀痰吸引等研修 オンライン講習他	南砺市	尾村
7.2	認知症介護実践研修（講師補助）第一期	富山市	河原
7.15	富山県老人福祉施設大会	射水市	前川施設長・杉森・中田真
7.30	南砺市介護支援専門員研修会	南砺市	新山・黒川
8.3	砺波厚生センター管内職域管理栄養士等研修会	南砺市	宮本
8.10	富山県介護支援専門員専門研修課程Ⅰ（講師）	富山市	中田章
8.11	認知症介護実践研修（講師補助）第一期	富山市	河原
8.16	オンラインスキルアップ研修	南砺市	黒川
8.17	認知症基礎研修	富山市	倉賀野・伊藤
8.21	介護職員のための新型コロナウイルス感染症予防対策研修	砺波市	今井
8～10月	富山県介護支援専門員研修（専門研修課程Ⅱ）	南砺市	上坂
9.3	福祉・介護職入職者合同激励会	富山市	谷村・水上
9.6	地域リハビリテーション研修会	南砺市	新山・黒川
9.10	認知症介護実践研修（講師補助）第二期	富山市	河原
9.16	喀痰吸引等の実地訓練研修（講師）	南砺市	盛田
9.17	喀痰吸引等の実地訓練研修（講師）	南砺市	笹田
9.21	認知症介護実践研修（講師補助）第二期	富山市	河原
9.30	地域ケア合同研修会	南砺市	中川宗・黒川・中田章
9.30	在宅介護連絡会	南砺市	黒川
10～3月	富山県主任介護支援専門員研修（全12日間）	富山市	黒川
10.1	富山県老施協 生活相談員部会	富山市	富田
10.5	富山県老施協 栄養士部会	南砺市	野原・宮本
10.14	第3回 オンラインスキルアップ研修	南砺市	新山
10.20	富山県デイサービス協議会 デイサービス部会	小矢部市	坂井
10.22	認知症介護実践リーダー研修（講師補助）	富山市	河原
10.23	腰痛予防対策取組み事例報告会 WEB参加	南砺市	今井
10.25～12.8	富山県主任介護支援専門員更新研修（全9日間）	南砺市	中田章
10.26	富山県老人福祉協議会 看護職部会	南砺市	山本真
11.1	富山県老施協 施設介護支援専門員部会	滑川市	境
11.2	認知症介護実践研修（講師補助）第二期	富山市	河原
11.5	認知症基礎研修	富山市	三浦
11.5	介護の日フェスティバル運営委員	富山市	中田章
11.11	第4回オンラインスキルアップ研修	南砺市	新山
11.16	介護職部会Ⅰ（ZOOM研修）	南砺市	松本
11.19	3市合同施設ボランティア受け入れ担当職員研修会	南砺市	水野
11.25	移乗支援機器活用推進研修会	富山市	木下・河原
11.26	南砺市介護支援専門員研修会	南砺市	新山
12.3	老施協・デイ協合同研修会（BCP計画）	富山市	中川宗・上坂
12.7	認知症介護実践研修（講師）第三期	富山市	河原
12.15	砺波地方居宅介護支援事業者連絡協議会研修会	南砺市	新山・黒川
12.16	認知症介護実践研修（講師補助）第三期	富山市	河原
12.16	ナリコマオンライン研修会	南砺市	宮本
12.17	富山県デイ協砺波地区会職員研修会	南砺市	杉森
12.21	認知症介護実践リーダー研修（講師補助）	富山市	河原
12.22	富山県老施協 事務員部会	小矢部市	上坂

年月日	研修内容	研修地	参加者名
12.22	第5回福寿会居宅介護支援事業所連絡会	南砺市	新山
1.18	ナリコマオンライン研修会	南砺市	箭原
1.19	第2回 砺波厚生センター管内職域管理栄養士等研修会	南砺市	宮本
1.21	富山県LIFE研修 (ZOOM研修)	南砺市	水野・上坂
1.29	災害対策業務継続計画BCPの策定と災害時のリスクマネジメント研修	南砺市	新山
2.2	認知症介護実践研修 (講師補助) 第三期	富山市	河原
2.2	介護事業者のための業務継続計画 (BCP) 作成セミナー	南砺市	水野・上坂
3.17	第2回施設ケアマネジメント委員会研修	南砺市	境
3.22	地域ケア合同研修会 (ZOOM)	南砺市	新山・黒川

6 職員会議等の状況

①会議等の実施状況

福寿園

会議等の名称	実施状況	会議等の主な内容
主務者会議	毎月	年間・月行事、その他重要事項協議事項に対しての検討
安全衛生委員会	毎月	職員の健康増進・腰痛予防、労働災害の原因及び再発防止策の検討
防災対策委員会	毎月	防災訓練及び防災教育の実施
事故防止検討委員会	毎月	事故事例の検討及び対策
身体拘束廃止委員会	毎月	身体拘束廃止の検討
感染対策委員会	毎月	コロナウイルス感染症の対応策、その他の感染症や食中毒等の予防対策と検討
医療的ケア委員会	毎月	経管栄養や吸痰に関する研修企画
褥瘡対策委員会	毎月	褥瘡の治療と予防対策の検討
研修委員会	毎月	施設内の研修の実施状況確認、職員からの希望の高い研修実施状況確認
施設サービス向上検討委員会	毎月	広報班、食事嚥下ケア検討班、行事班にて利用者の生活環境について検討
入退所検討委員会	年間4回	入所順位の検討
華の会	毎月	利用者援助や介護業務に対しての情報の共有化
五樹会	隔月	各事業所間の連携と情報の共有化
ケアカンファレンス	月20～23回	本人や家族を交えての施設サービス計画の検討と立案
リーダーミーティング	毎月	各フロアのケアに関する事項の検討

やすらぎ荘

会議等の名称	実施状況	会議等の主な内容
主務者会議	毎月	月行事 各部署間との協議と連絡 事務連絡
事故防止対策委員会	隔月	ヒヤリハット報告や事故報告書からの検討と対策
身体拘束廃止委員会	毎月	身体拘束に関する協議及び改善計画の作成
感染対策委員会	毎月	感染対策及び予防の検討
褥瘡対策委員会	毎月	褥瘡対策及び予防の検討
入退所検討委員会	年間4回	入居順位の検討
医療的ケア安全委員会	毎月	経管栄養と吸痰の研修計画（実技等）と実施
居宅サービス委員会	隔月	居宅サービス内容の検討
安全衛生委員会	毎月	職員への安全対策（器具・設備・メンタルヘルス）環境整備
地域密着型運営推進委員会	隔月	地域の方を交えての利用者の生活支援充実に向けての検討
給食委員会	年間4回	給食全般の運営に関わる内容の検討
ハラスメント対策委員会	年間4回	ハラスメントに関する実態調査の実施
ケアカンファレンス	月15～18回	本人、家族を交えての施設サービス計画の検討と立案
サービス向上プロジェクト会議	隔月	各チームの活動報告や課題の検討 研修会の検討
プロジェクトチーム会議	毎月	各チームの活動内容の計画、立案、検討と実施
ユニットリーダー会議	毎月	介護業務全体に関する事項の検討 他部署間との連絡調整
ユニットケアフロア会議	毎月	介護業務に関する事項の検討
訪問介護事業所内会議	毎月	研修報告、介護技術の研修、利用者の情報共有、その他伝達事項

いなみ

会議等の名称	実施状況	会議等の主な内容
主務者会議	毎月	行事予定 各部署間の協議 事務連絡
介護力向上委員会	隔月	平均水分量 オムツ率・歩行率報告 排便状況 各フロアの現状と課題
事故防止・身体拘束防止委員会	毎月	ヒヤリハット報告書・事故報告書の検討と対策、研修会の検討
感染対策・保健衛生委員会	隔月/随時	感染対策及び予防の検討
褥瘡対策・食生活委員会	毎月	褥瘡予防・常食化に向けて食形態の見直し
防災対策委員会	毎月	避難訓練・防災用品・備蓄庫の確認
広報班・事業班	毎月	広報誌「いなみ風」発行、回想法、チャレンジデイ、二大行事企画運営
給食委員会	年間4回	食事全般の検討
サービス向上会議	隔月	各委員会の活動内容の計画、報告、検討
ケアカンファレンス	月11回～15回	本人や家族の意向を取り入れた施設サービス計画の検討と立案
4フロア会議	毎月	介護全般に関する検討・他職種間との検討
フロア会議	毎月	各フロアの介護に関する検討
入退所検討委員会	年間4回	入所順位の検討
医療的ケア委員会	毎月	経管栄養と吸痰の実技研修計画と実施
安全衛生委員会	毎月	職員の安全対策（健康・腰痛予防・メンタルヘルス）、環境整備
新任職員研修委員会	隔月	新任介護職員の育成と質の標準化の検討
介護ロボット導入検討委員会	毎月	施設の課題と解決のための介護ロボット導入の検討

きらら

会議等の名称	実施状況	会議等の主な内容
主務者会議	毎月	事業 行事 調整事項協議 事務連絡
連絡調整会議	毎月	各サービス事業の連絡調整 職種間の調整・協議事項確認
副主任会議	毎月	各部門・グループ内新採及び異動職員OJT実施・調整
職員会議	毎月	各部門・グループ内調整・課題検討 連絡
事故防止検討委員会	毎月	ヒヤリハット報告および事故報告書の検討と対策

会議等の名称	実施状況	会議等の主な内容
高齢者虐待防止委員会	毎月	身体拘束や不適切なケアが行われていないかを確認
医療的ケア委員会	毎月	経管栄養と吸痰の実技研修計画と実施
身体拘束廃止委員会	毎月	身体拘束に関する協議及び改善計画の作成
感染症対策委員会	毎月	感染対策及び予防の検討 感染症等BCPの検討作成
褥瘡対策委員会	毎月	褥瘡対策及び予防の検討
防災対策委員会	年間12回	避難訓練の実施及び防災対策の検討 災害BCPの検討
サービス向上委員会	毎月	サービス向上検討 職員腰痛予防・介護負担軽減を基本とした介護技術向上検討
実習受入委員会	随時	福祉職養成校との実習に関する連絡調整 実習生の受入教育
広報・地域交流委員会	年間8回	広報誌企画作成、ホームページニュース等作成・管理
入退所検討委員会	隔月	入所順位の検討
安全衛生委員会	毎月	労働者の安全・衛生に関する審議

②内部会議等（委員会・班）活動報告

福寿園

◎入退所検討委員会

新規入所者数 46名 申請取り下げ者数 89名 年間入所申込者数 117名

年間入所申込者数は前年度と比較すると1名減少した（前年度2名増加）。前年度の新規入所者の内、1名措置入所者であったが、今年度契約入所となった。待機者の居室希望割合は、個室10%・多床室57%・両方可能33%で、半数が多床室希望である。前年度から申込み窓口を第1希望の施設のみとなり、家族の負担軽減となった一方で、他施設での申込者を当施設で受け入れる際には、十分な居室の特徴や料金などの説明が重要となる。また、前年度に引き続き、入所申込み後に一次面接をすることで、より本人の思いや緊急性などを適切に評価でき、委員会での検討に反映できるよう取り組んだ。

◎防災対策委員会

〔特養〕夜間想定避難訓練を6月、総合防災訓練を11月に行った。本年度は昨年度同様に施設職員のみで訓練を行ったが、コロナ禍の中、三密を避けて消防署立ち合いのもと行う事ができ、改めて職員も緊張感の中、実施することができた。また、AED心肺蘇生法勉強会は、当園の看護師が講師となり、委員が実演することで、新たな気づきもあり知識向上を図ることができた。

〔在宅〕法令に定められている年2回の防災訓練では、自衛消防組織の編成と任務分担に沿って行うことができた。また南砺市ハザードマップの改定に伴い、今年度も机上訓練を行う中で感染予防対策も検討し避難誘導・連絡体制マニュアル等の防災対策の見直しに取り組んだ。自然災害発生時におけるマニュアルの見直しに取り組んだ。

◎事故防止検討委員会

〔特養〕無断外出訓練では初めて夜間を想定した訓練を実施したことで、より現実的に実践できるよう具体的なマニュアルに改善することができた。リスクマネジメント研修では、報告書の書き方やKYT（危険予知訓練）の研修でグループワークすることによって、職員みんな原因分析をする時間を持ち意見を交わすことができた。また、各フロアで事故報告書を振り返り検討する時間を設け、危機管理意識の向上に努めた。

〔在宅〕各事業所の年間事故防止目標を立て、事故防止に取り組んだ。実際に発生した事故を3か月後に振り返り、防止策が適切であったか改善点はないか再発防止策評価を行った。11月に利用者宅での急変発見時の対応について研修会を行った。他事業所職員とグループワークを行うことで、様々な視点から意見を聞くことができた。

◎安全衛生委員会

月別安全衛生管理計画表を作成し、計画に基づき職場内の労働衛生対策に取り組んだ。前年度に引き続き、新型コロナウイルスの脅威による不安や体調不良を軽減できるよう職員への声かけや協力体制ができるよう心がけた。また、腰痛予防・転倒防止のためラジオ体操のような軽体操（ストレッチ体操）をしてから業務をすることや転倒リスク評価セルフチェックを行い意識向上に取り組んだ。ストレスチェック実施後は北陸予防医学協会の「職場環境改善対策」を参考に現状を話し合い、ストレスを軽減し業務をしやすくできるよう検討した。

◎研修委員会

必須研修や勉強会に関しては年間研修計画を策定し、委員会や班会等に研修会や勉強会が重ならないよう調整も行った。認知症についての研修会および副主任以上（中間管理者）研修として田中雅子氏による研修を実施した。また、ユニ・チャームによる排泄に関する研修の調整を行った。コロナウイルス感染予防のため日程を変更した研修もあったが、計画していた研修はすべて実施できた。（各フロアでの回覧研修を含む）ラダー表を周知するために正職員対象に自己評価を実施して、役割や目標値を認識する機会を作った。

◎特養・在宅感染対策委員会

感染予防対策に対する知識の向上のため、7・8月に「感染対策の基礎」、11・12月に「新型コロナ感染症対策」について研修会を開催した。また嘔吐物処理セットの見なおしを行った。新型コロナ感染症の施設内発生、拡大予防のため手洗い、環境整備、職員の検温等の徹底を呼びかけた。また、新型コロナ施設内感染の発生において衛生物品の準備、ゾーニングなどを行った。

◎医療的ケア委員会

研修の企画から開催まで委員が自主的に参加し、医療的ケアに関する研修会を年5回実施した。転倒事故からの骨折、頭部外傷の対応やショック状態からの救急要請訓練、食事中の誤嚥、窒息状態の初期対応訓練。看取りケアに対する不安や問題点の抽出・回答など、実際に起こったことに的確に対処できるように訓練を実施した。

◎褥瘡対策委員会

委員会内で褥瘡予防の基礎、マットレスの選定の仕方、褥瘡リスクアセスメントの活用の仕方を勉強した。褥瘡リスクアセスメントの入力の仕方を簡素化し、年3回のアセスメントを行った。エアーマット、マットレスの管理をし、その方の状態にあったマットレスの選定をするため、アセスメントシートを見る機会が増え、状態変化にこまめに対応するようになった。研修では、車椅子離床時のポジショニングを勉強した。

◎身体拘束廃止委員会

毎月1回開催し、身体拘束状況を記録して拘束時間の短縮や廃止に向けて検討しフロアで実践している。11月には高齢者虐待防止に関する研修及び身体拘束廃止に関する研修会を開催し、グループワークを通して「不適切ケア」について考えた。2月にはスピーチロックについての研修会を行い、認知症の方への理解を深め、また、自分たちの日常のケアや関わりを振り返ることができた。

◎特養サービス向上検討委員会

☆行事班

新型コロナウイルスの影響により、法話会や詩吟を行えなかったことは残念であった。しかし、趣向を凝らし夏には「縁日」秋には「作品展」を行うことができた。福野高校生がボランティアで来園時におみくじを作成してくれ、新年を迎えて利用者に引いてもらうことで季節を感じて大変喜んでいただけたことは良かった。

☆広報誌・ホームページ検討班・情報公表班

「効率よく広報紙の作成を心がける」を目標に各フロアで写真を入力することを継続した。コロナウイルス感染予防のため、行事の変動があり、行事などの開催状況に応じて紙面配置を工夫し、4回ページ数を増やし、利用者の様子を家族に伝わるようにした。フロアへのA3サイズの拡大版配布も継続している。

☆食事・嚥下ケア検討班

一年を通して、南砺市民病院の歯科口腔外科医師・歯科衛生士から口腔ケアについての指導や提案を受け、各フロア担当者が評価して事前に誤嚥や誤嚥性肺炎等の予防に努めた。また、嚥下機能が低下してきている利用者について言語聴覚士から指導を受け、多職種と連携し、安全な食事摂取の向上に取り組んだ。

◎在宅広報班

今年度においても『在宅利用者・関係機関等に「読みやすい」、「分かりやすい」、「楽しい」広報誌を目指します』の班目標を設定し、以下の通り活動してきた。また、年4回『ひまわり』を発刊し、紙面にQRコードを付けホームページにつながるよう工夫した。

- ①各項タイトル、文章枠組みの色や表現方法の工夫。
- ②利用者の良い表情を撮影する工夫。(職員も一緒に)
- ③毎号異なる記事内容での工夫他。

◎在宅サービス情報公表班

プライバシー保護への取組みとしてスピーチロックのポスターを2パターン掲示し、利用者様の尊厳に配慮した言葉使いや対応を心掛けるよう意識付けを図った。11月には法令遵守の研修を実施し、福寿会職員の行動規範をはじめ、南砺市の現状についても学び、福寿会職員としての心構えを再認識し、互いに高め合うことの大切さや各自の目標についても考える機会となった。その他、部署ごとに満足度アンケート、自己評価、各マニュアルの見直し等を行い、富山県介護サービス情報の公表を実施した。

やすらぎ荘

◎入退所検討委員会

新規入居者数 18名 申請取り下げ者数 80名 年間入居申込者数 74名

年間4回の入退所検討委員を開催しているが、2月は新型コロナウイルスの感染拡大防止の為延期とした。全体の待機者数は例年と比べ減少した。感染予防の為、一時入居申し込みの受付が出来ず、4施設希望される方に他施設にて受付をしてもらったケースもあった。入所申込一元化になったことで、待機者の身体状況の変化や2次面接の日程等を4施設で情報共有することでスムーズな入居につながった。今年度は入退所検討委員会の進行の仕方を工夫し、新規申込者や緊急度・優先度の高い方をより重点的に検討を行った。今後も、本人満足度と家族の思いに重点を置き、透明性・公平性をもって検討していきたい。

◎事故防止対策委員会

毎月集計のヒヤリハット及び事故報告について意見交換をし、その要因の分析と防止対策について事故防止チームと連携し検討した。

職員研修は、8月に南砺消防署より機材を借りてAEDの使い方を学ぶことで緊急時の対応について確認する予定としていたが感染予防のため中止し、心肺蘇生法のDVD研修を行った。

次年度より事故防止対策委員会と事故防止チームの活動を一本化し、迅速に事故分析と事故防止対策の検討をし、情報共有を図り事故防止に取り組んでいきたい。

◎感染対策委員会

①感染症・食中毒の予防・まん延防止指針の見直し ②感染症まん延時における業務継続計画の作成 ③コロナ感染症のマニュアル作成とゾーニングの仕方について部署内に項目内容を掲示し意識づけと研修を実施した。施設内にコロナ感染症が発症した際の、厚生センターの指導や助言により対応実践したことを共有し、今後のケアに活かせるよう研修を行っていきたい。

◎居宅サービス委員会

在宅生活者を支えるために、利用者の現状や事業所の状況を確認し意見交換を行った。今年度は委員会の進め方を見直し、協議事項に時間をかけるようにした。各事業所での困難事例や苦情の対応について何度も話し合い改善へつなげた。またコロナ感染予防や施設等でコロナが発症した場合の対応方法や情報公表についても話し合い情報を共有した。今後も事業所間の情報交換を行い在宅サービスの向上に努めたい。

◎褥瘡対策委員会

毎月、利用者の状況報告を行い、解決策等を検討するなどして情報共有を行った。職員研修は、褥瘡対策委員が外部講師から症例別にポジショニング指導をリモートで受けている様子を撮影し、DVDやパソコンからの閲覧という形で実施した。また、体圧測定器を使用して実際に体圧がどこに集中するののかも体感し除圧の必要性や枕の使い方を学んだ。ブレードスケールをカンファレンスに導入し褥瘡予防に取り組んでいる。今後も多職種での連携を図りながら褥瘡予防に努めていく。

◎身体拘束廃止委員会

毎月1回委員会を開催し、該当者の身体拘束の状況の確認、拘束時間の短縮や廃止に向けて検討した。ユニット・フロア会議の中でスピーチロックを含め拘束について話し合う機会を設けている。身体拘束の3つの要件（切迫性・非代替性・一時性）を再確認し身体拘束ゼロに向けての意識をさらに高めていきたい。

◎安全衛生委員会

職場内外の危険箇所のチェックや、移乗福祉用具（リフト）の操作手順や取り扱い方法の確認及び腰痛予防マニュアルの検討を行った。年間を通して県警からのセーフティドライバーズ情報等で交通安全の呼びかけを行い、ノロウイルスやインフルエンザ等の感染時期には予防のポスター等を掲示して注意喚起した。また、ストレスチェックの評価に基づいて産業医とも連絡を取り個人面談をする機会を設けるとともに、職員のお悩みポストに対応し心身ともに働きやすい職場づくりのため取り組んでいる。

年2回施設周辺のゴミ拾いや草むしりを行い、地域への清掃奉仕活動を行った。

今後も健康で安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいきたい。

◎地域密着型運営推進委員会

新規入居者数 4名 年5回（5月、7月、9月、11月、1月）実施

入居者及び介護計画、待機者状況報告、生活・医療面の活動及び現状報告、事故・ヒヤリハット報告、身体拘束報告、配食サービス事業の状況報告等を行った。各報告について地域代表者や地域包括支援センターからの質問に対応し、また助言を受けた。

今後も入居者・家族・地域の方々との意見や要望を聞き、地域に開かれたサービスを行うことで信頼される施設を目指し取り組んでいきたい。

◎医療的ケア安全委員会

今年度は職員5名の喀痰吸引・経管栄養研修を実施。また、有資格者が吸痰や経管が必要な方に引き続き実施できるよう施設内で吸痰等実技確認研修を行った。看取り研修は「住み慣れた施設で最期まで暮らすということ」と題して個人ワークで行った。終末期の方への思いの共有や不安なことの解消など討議し、安楽で充実した看取り支援を行えるよう今後も研修に取り組んでいきたい。

◎給食委員会

多職種で栄養管理、災害時の備え、衛生管理、施設内の協力体制の整備等給食管理全般を運営していく為の検討を行った。

給食施設監視指導指摘事項より、衛生管理・感染対策のマニュアルの見直しを行い事故防止に努めた。人員不足に伴い調理済み食品を使用した。利用者がより食べやすい様に手を加え喫食率の増加に努めた。

◎ハラスメント対策委員会

ハラスメントについての問題意識の共有を図るため、全職員を対象に実態把握アンケート調査を実施。実施にあたり調査項目、集計方法、集計結果の周知方法などについて協議検討した。

◎設備防災チーム

【やすらぎ荘】

夜間想定避難訓練を6月に実施。コロナウイルス感染拡大防止の為、近隣住民及び地域消防団との協力訓練は行わず職員のみで実施し、夜間想定で地震発生後に火災発生を想定しての訓練とした。訓練後、新採職員を中心に消火器による消火訓練を行い、非常時の初期対応について確認した。11月には日中避難訓練を実施。参加職員は両訓練とも事前に作成した参考動画を見て対応行動を確認したうえで避難訓練に臨んだ。

定期的に火災一斉メールのテスト配信を行いキャリア変更やアドレス変更に対応。大雪などの災害時にも職員への連絡手段として活用できるように確認している。

環境整備では年間を通して排煙窓や車椅子の点検を実施。5月、10月には花の苗やチューリップの植え付けを行い潤いのある環境づくりに努めた。

【ふく満】

7月、10月と年2回避難訓練を実施した。次年度より火災通報装置の動作確認のため避難訓練と消防設備点検を同時に行う方向で検討している。

環境整備ではプランター用土づくり、花苗の植え付け、水やり管理、チューリップ球根の植え付けを行い、花壇整備を充実させることができた。年間を通して介護ベッド、車椅子や歩行器、防災備品の点検を行い、器具備品による事故が起こらないよう努めた。

◎事故防止チーム

毎月ヒヤリハット・事故報告書を集計し、その結果をもとに、多発した事故や気になる事故について再発予防策を検討し、情報共有やポスターの掲示で注意喚起を行った。また、小さなことでもヒヤリハット報告を書くことで大きな事故に繋がらないように、積極的なヒヤリハット報告書の提出を呼びかけた。

内部研修では、報告書を書く目的と分析の仕方について学ぶ「事故報告書・ヒヤリハット報告書を活用して自己分析」の書類を各部署に配布し、個人ワークを行った。

10月には、ふく満デイサービスセンターとホームで離設訓練を行った。ホームでは、訓練内容の周知が不十分だったこともあり多くの改善点が見つかった。次年度は、訓練での意見を取り入れマニュアルを改善し、より多くの職員が訓練に参加できるよう計画していきたい。

◎口腔ケアチーム

毎月月末の10日間を「口腔ケア週間」とし、口腔ケアがしっかりできたかチェック表を記入することで口腔ケアの習慣化に取り組んだ。対象者を絞り集中的に実施することで習慣化に繋がった。

口腔ケアシートは、口腔診査後に変化のあった箇所や歯科医師のアドバイスを追記訂正等し毎月確認した。口腔ケアシートの活用により介護職員、看護職員が連携してケアにあたる事ができた。

内部研修は個人ワークで「口腔ケアとリスクマネジメントについて」というテーマのもと、口腔ケアの目的とその流れについて再確認した。

◎研修チーム

今年度もコロナウイルス感染予防の為、集まった研修は行えず個人ワーク主体の研修となった。委員会・チームと連携を取り月1回の内部研修が円滑に行われるよう取り組んだ。

新任者研修のフォローアップ研修も、施設内の感染状況により年2回予定していたが1回のみの実施となった。今後も職員研修が円滑に行われるよう連携に努めたい。

職種ごとのラダー表を個々に配布、9月・12月・3月に自己評価、3月には1年間の反省と次年度の目標等を記入し、職員のスキルアップとそれぞれの目標達成のための意識づけを行った。

富山県福祉カレッジ主催のアイディア作品応募への声掛けと、作品の出品・引き取りを行い、より良い福祉・介護環境等について考える意識づけを行った。

◎広報チーム

三つの輪、安羅木、情報開示コーナー、ホームページの内容充実に努めた。三つの輪ではユニットの様子他に初詣や敬老会などを裏面に掲載し、より多くの施設内情報の提供に努めた。情報開示コーナーでは各チームに作成を依頼し、各チームの活動内容を開示することができた。ホームページの内容の充実に目的として、各ユニットでの日常の様子の写真提供を呼びかけ、チームでホームページ作成を行うことができた。地域への情報発信では、遊笑座再開の見通し等についてメールにて案内した。次年度は今年度の反省を踏まえながら、広報誌やホームページのさらなる充実に努め、入居者・利用者・家族・地域にやすらぎの情報を届けられるよう努めていきたい。

◎ユニットケアチーム

各部署の会議等でのモットーの復唱の呼び掛けや日頃目に付くところにモットーを掲げ浸透を図った。次年度は、その意味の理解を深めていきたい。

ユニットケアについて各部署から議題を持ち寄り、毎月多職種で話し合うことで職員一人ひとりの不安を少しでも取り除くことが出来た。また、チーム員が他のフロア・ユニットを見学し、「よいところ」を発見することができた。次年度は多くの職員が見学に行けるように計画したい。

内部研修では、資料をもとに個人ワークでユニットケアについての理解と浸透を図った。

24Hシートの項目を見直し、その記入方法の統一を図り順次更新できるよう情報発信に努め、更新したシートをカンファレンス時に持参できるように推進した。次年度は、ケア項目の内容の重複しているものを確認し、もう少し減らすことも目標としたい。

いなみ

◎入退所検討委員会

新規入所者数 34名 申請取り下げ者数 87名 年間入所申込者数 89名

入所までの待機状況は、6ヶ月未満は5割、6ヶ月以上1年未満は4割、1年～3年は1割となった。申込者数は昨年より19名多くなった。グループホームからの申し込み増加傾向は続いており、経済的理由が最も多く、身体機能の低下により入浴環境の不都合から入浴機器の整った施設での生活を望まれている方も多い。入所は自宅からが最も多く、次いで老健、病院からであり入所者数は昨年より19名多くなった。4施設の申し込みが1か所で可能となったことが広く浸透しており、申込者の負担の軽減と入所の流れが早くなった。また待機者一覧表を共通台帳として作成し情報共有を図った。

入退所検討に向けて、申込者の待機場所に訪問調査し、本人の身体状態や健康状態、生活の満足度、家族の負担感、介護者の状況等を確認して委員会に臨んでいる。委員会では多職種の意見を参考に緊急度や入所の必要度を検討し、施設入所につなげており、第三者委員を選任して透明性、公平性をもって検討している。

◎広報班

個人情報保護法について職員の意識向上を図るため外部講師の資料の基、研修会を開催した。

広報誌を春夏秋冬、計4回作成・発行し、利用者及びその家族、関係諸機関・他施設等に送付し施設の取組みや催事での利用者の様子などを紹介している。更に、コロナ禍において次年度から遠方のご家族との面会を可能とするため、LINE面会の啓発や準備を行った。

また、福寿会のホームページ上では、施設行事を中心とした内容を毎月公開している。利用者や家族関係者にご意見を頂くため、「ご意見箱」の管理を行っており、みなさまからの意見を施設活動に反映できるよう努めている。

◎事故対策・身体拘束防止委員会

委員会を毎月実施。事故報告及びヒヤリハット報告を、集計・グラフ化した。委員会にて、各フロア、デイより事故やヒヤリの報告を行い、事故の要因と防止対策を周知し、他のフロアにも注意を呼び掛けた。職員が情報を共有し、意見を出し合い、事故を未然に防ぐことに役立てた。

毎月の車椅子・歩行器点検を行った。ナースコール、センサーマットなどの点検も行った。

リスクマネジメント研修に参加し、それを基に内部研修を行った。

昨年見直したマニュアルをもとに無断外出想定訓練を行った。

身体拘束・虐待に関する文章を配布し、職員の意識付けを図った。

◎サービス向上委員会

「事故防止検討・身体拘束防止」「感染対策・保健衛生」「褥瘡対策・食生活」「防災対策」「広報」「介護力向上」の委員等と関係職種代表で活動内容を検証し、また提案や取組みについて話し合い、各委員会の活動の質の向上を図った。また、利用者が安心、安全に暮らしを営めるよう全職員が共通理解できることを目的とし、かつ常に職員が目標を掲げ実践力の向上をめざし、利用者の介護サービスの質の向上を図った。

◎褥瘡予防・食生活委員会

月1回派遣される言語聴覚士・歯科衛生士の指導の下、利用者全体の食生活向上・口腔内の清潔保持及び口腔リハビリに努めた。

食事面では季節に応じた食事の提供や、メニュー選択により、利用者に食べる楽しみをもっていたいただいた。

研修では自動体位交換エアマットの使い方や体位について褥瘡予防に効果的なポジショニングの講義と実技を学んだ。また入浴後や排泄後の身体・臀部等に軟膏やローション塗布を促し、皮膚の保湿や、皮膚トラブルの防止に努めた。「褥瘡対策に関する計画書」への取り組みを行い、3ヵ月毎に評価をし褥瘡予防の一助となるよう引き続きしていきたい。褥瘡のリスクのある利用者に対して委員会で予防策を話し合った。

次年度も引続き全フロアの褥瘡把握に努め、皮膚トラブルの早期発見・褥瘡ゼロを目指して活動していきたい。

◎防災対策委員会

今年度は2回の避難訓練を行い、夜間想定は特養、日中の訓練はデイサービスにおいて、地震発生からの出火想定で実施した。併せて緊急連絡網による非常招集訓練を2回実施した。昨年度同様、コロナウイルス感染防止の観点から、地域住民、消防団員の参加を見合わせた。防災訓練を実施することで避難時の心構えや避難方法について理解を深めることが出来た。

9月には防災の日に合わせて地震等の災害時に机の下にもぐり込むシェイクアウト訓練を実施した。利用者・職員の防災意識を高めるため今後も継続したい。その他、秋季には防災備品庫の保管状況を職員へ知らせるとともに、備蓄品の点検・管理を行った。

次年度も防災訓練の計画実施・訓練等を通して、職員の防災に対する意識の向上を図りたい。

◎感染対策・保健衛生委員会

新型コロナウイルスの拡大により面会制限レベルのマニュアル作成やコロナ発生時のフローチャートの見直しを行った。感染防止を図るため、緊急会議を開き職員一人一人が統一した対策が行えるよう努めた。研修に関しては「新型コロナ感染症に対する当施設でのシミュレーション研修」を行い、施設の方針や感染マニュアルに沿って迅速に対応できるよう務めた。また、防護服や消毒などの必要物品の確保も行った。

次年度も感染症の早期発見のため、日頃の健康観察や迅速な対応のためのシュミレーションを強化し感染対策の徹底を図る。

◎給食委員会

多職種（委託業者の厨房職員含む）で給食業務全般の運営・実施に関して検討を行い、利用者への食事の提供について質的な向上を目指した。災害時、感染症発生時等に備え、委託業者との連携の確認をおこなった。今後も最新の情報を収集し、対応を検討していく。また、年間を通して、季節を感じられる行事食を提供した。利用者の目の前で調理や盛り付けを行うことにより参加者の笑顔や会話が引き出せることができた。

◎医療的ケア安全委員会

毎月の吸引実施状況の把握を実施。委員会では日頃の問題点等について話あった。研修ではバルン管理と尿路感染症についての研修を実施。看取りマニュアルの改訂を行い、改訂の変更点を研修にて説明。改訂に伴い介護職の御家族への対応の機会が増えることから看取り時の御家族の支援についての研修を行った。口腔内技術チェックを行い技術の再確認と技術の定着に取り組んだ。

◎介護力向上委員会

4つの基本ケアを基にフロアごとに対象利用者をピックアップし、問題点の分析とその成果を委員会で発表した。また認知症ケアの取り組みとして「ひもときシート」を活用し対象利用者を知る事で援助者中心の介助から本人の気持ちに寄り添った介助になるよう取り組んだ。また、介護力向上委員会で行ってきたことをもとに排泄支援計画書を作成し排泄支援加算の算定を目指した。今後も、委員会を通してLIFEの研修や活用により利用者の問題点を分析し改善策を検討し実践することでより良いケアの提供と介護力向上を図る。

◎安全衛生委員会

年間を通して施設の安全・職員の健康・地域貢献に取り組んでいる。6～7月に公用車操作練習会、7月～9月に熱中症対策、11～2月は冬道の通勤について降雪・凍結時の注意喚起を行った。富山県警発出の「セーフティドライバーズ情報」で交通安全を呼び掛けている。

危険箇所（ヒヤリハット）改善提案を募集し、改善を行った。

身体機能に対する自己認識の把握のため転倒等リスク評価セルフチェックを実施した。

コロナウイルス感染対策として換気の呼びかけやマスク着用時の暑さ対策について話し合った。

施設周りのごみ拾いや草むしりの日を設定し、施設内だけではなく地域の清掃奉仕に取り組んだ。

健康に安心して働ける職場環境に向けて、職員全員で取り組めることを発信していく。

◎新任研修委員会

新任介護職員育成と質の標準化を目的とし、新任職員が不安なく業務につくために、サポートやフォローアップで一体感を生み、離職の防止を図る。フォローアップ勉強会「緊急時対応、看取りの対応」を実施し、新任者の不安軽減に努めた。

◎介護ロボット導入検討委員

施設の課題を洗い出し、解決するための検討を行った。課題解決のための介護ロボット導入のための試行的導入機器を選定し、お試し機器の試行や感想を取りまとめた。介護ロボットやナースコールのデモや試行を繰り返し、機器の選定について検討した。また、「すぐろくタブレット」を使いこなすための勉強会を行った。

きらら

◎入退所検討委員会

新規入所者数 25 名 申請取り下げ者数 85 名 年間入所申込者数 110 名

入所前の待機場所は、自宅3名、グループホーム4名、老健14名、病院3人、その他1名と施設から特養に入所された方が多かった。待機期間が1年以上の方は6名、1年未満での入所が19名と申し込みから短期間での入所が可能となった反面、自宅から特養以外に居場所が変更になったが継続して特養入所の申し込みをされ、特養以外の施設から特養入所になった方が増えている。入所申込者は昨年は一昨年の約1.4倍になり、今年も去年とほぼ同数となった。希望すれば1か所で4施設の申し込みが可能になった事の効果と思われる。また今年度も面談時に本人の思いや家族の負担感を聞き取り、入所の緊急性と在宅生活の継続について検討した。今後も2ヶ月に一度の委員会開催を継続し、透明性・公平性をもって検討していきたい。

◎安全衛生委員会

労使協力し、安全衛生管理計画のもと産業医と連携を図りながら毎月1回の委員会を実施した。

今年度は部門別での取り組みを開始した。ストレス軽減として職場でバイオリン演奏を聞く機会を設け、転倒防止（腰痛対策含む）として、多数職員のつまずきが報告され、シューズの検討の見直しを行った。ゼロ災害として危険個所マップを作成した。

ストレスチェックの結果について、事業場全体の総合健康リスクは前年度より改善したが、項目別の結果を踏まえ、次年度の課題として委員会で分析、検討を重ね、対策を講じていく。

今後も職員の安全衛生意識の高揚を図り、健康確保、労災防止のための呼びかけや危険予知訓練等を行うとともに、心身共に働きやすい快適な職場づくりに積極的に取り組んでいく。

◎事故防止検討委員会

月1回の委員会にて、各グループ、デイサービスのヒヤリハット及び事故の報告を行い、他部署と意見交換をすることで同じような事故が発生しないように注意喚起した。また、今年度は事故対策の検証を行う方法を検討し実施した。対象件数が少なく委員以外に周知できておらず次年度も継続して検討を重ねたい。

内部研修は2回実施した。感染対策のため1回は小グループでの事例検討会、もう1回は動画を視聴し研修を行った。法人4施設で統一した事故防止マニュアルの事故とひやりのボーダーラインについて確認し統一を図った。

◎高齢者虐待防止委員会

事故防止委員会・身体拘束廃止委員会と合わせて高齢者虐待防止委員会を設置した。毎月の委員会開催時に身体拘束や不適切なケアが行われていないか確認し合った。研修会も身体拘束と合わせ動画を見て研修し職員の感想を報告した。

◎医療的ケア委員会

新型コロナウイルスの感染状況を考慮した形式で研修を実施した。喀痰吸引など研修ではマニュアルを各自で読み、再確認した。看取り介護研修は、看取りに関するアンケートを記入する内容で実施、看取り介護利用者への理解を深め、利用者や家族の思いに寄り添える関わりに繋げる良い機会となり、今後の看取り介護に活かしていきたい。

◎身体拘束廃止委員会

今年度は、不適切ケアに重点をおき活動を行った。昨年度から引き続き、3ヶ月に1回、身体拘束防止自己チェックシートを記入し、各自で拘束について認識の確認を行った。また、年2回の内部研修は、不適切ケアについて取り組みを行い、1回目は自己チェックシートを活用し、取り組みの前後で評価を行った。2回目の研修は、ユーチューブを観て各自で感想を記入する形式で行った。毎回、不適切ケアについて課題としてあがってくる為、今後も、職員同士でコミュニケーションを図り、その人らしさを保った生活を送ってもらえるよう、人権を尊重した介護を目指して取り組んでいきたい。

◎感染対策委員会

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染対策に取り組んだ。施設内研修では感染対応の基本であるガウンテクニックの実技を行い、手技を再確認した。また、感染状況を考慮して、部署ごとで作成されたBCP（業務継続計画書）に基づいて感染者発生時の対応を確認し、マニュアルの見直しも行った。今後も標準的予防策を行い、職員、利用者が感染しないよう気を引き締めて感染対策に努めたい。また、4施設の看護職員とも連携し、統一した対応を継続したい。

◎褥瘡対策委員会

今年度施設内研修は南砺中央病院理学療法士による「褥瘡の基礎のおさらいと褥瘡予防のポイント」と題して研修を開催した。褥瘡の基礎と褥瘡予防のためのポジショニングなどを学ぶことができた。毎月の会議で褥瘡発生状況を報告していたが、今年度からは褥瘡発生利用者の褥瘡部位を写真に撮り、各フロアに掲示することで職員全体に褥瘡予防への意識付けに努めた。

◎防災対策委員会

年2回の避難訓練・シェイクアウト訓練、緊急連絡網訓練を実施した。また、施設の防火対策の周知、備蓄品の管理、消防計画の点検実施、災害BCPの検討、全職員対象の防災教育研修の実施等をおこなった。次年度は災害BCPの策定周知を行い、職員の防火、防災への知識、対応技術の向上に取り組む。

◎サービス向上委員会

R2、R3年度の異動職員とOJTを対象にしたフォローアップ研修に取り組んだ。異動者にとってはコロナ禍で職員交流の機会が減り、施設ごとに異なるケア方法がとまどいや不安となっていたが、研修を通じて共有することができた。指導する側は、OJTのあり方や指導の仕方など再確認することができた。

◎実習受入委員会

福野高校の2年生と3年生、富山短大2年生の実習受け入れを行った。それぞれの実習プログラムに応じ、介護技術だけではなく情報収集やケアプランの作成実施に取り組む実習生に対し、利用者と積極的に関わることで目標の達成に繋がるよう指導、支援を行った。技術面では、どの学生も移乗介助がスムーズにできずつまずきを感じる傾向にあったが、何度も実践を繰り返す中でコツを掴み、思うように移乗介助ができるようになり自信を付けて実習を終えることができていた。

◎広報・地域交流委員会

年4回の広報誌（きららだより第106号～第109号）を作成発行し、城端地域各戸、近隣施設、関係機関へ配布し、ホームページにも掲載した。ホームページには、きららの行事や取り組みなどを随時更新し、地域外の方々にも見ていただけるようにした。コロナウイルス感染症の影響により、外部行事等行うことができないなか、ホーム内のできる活動や行事を提供し、きららでの生活の楽しさ、快適さをより知っていただけるよう充実した内容発信に努めた。

7 職員の定期健康診断等の実施状況

福寿園

期 日	実施人員	実施職種	検査項目	検査結果	検査機関
令和3年8月19日～	166	全職員	内科検診 貧血 身長・体重 肝機能 視力・聴力 血中脂質 胸部X線 血糖 血圧、心電図、尿(糖・蛋白)	医師の指示 36	北陸予防医学協会
令和4年3月10日16日	63	夜勤者	同上(胸部X線無し)	医師の指示 14	
令和3年9月1日8日	130	介護・看護 業務従事者	腰痛検査	有所見者数 88	
令和4年3月10日16日	120			有所見者数 64	

やすらぎ荘

期 日	実施人員	実施職種	検査項目	検査結果	検査機関
令和3年7月21日 7月27日	156	全職員	内科検診 貧血 身長・体重 肝機能 視力・聴力 血中脂質 胸部X線 血糖 血圧、心電図、尿(糖・蛋白)	医師の指示 33	北陸予防医学協会
令和4年2月9日	41	夜勤者	内科検診 貧血 身長・体重 肝機能 視力・聴力 血中脂質 胸部X線 血糖 血圧、心電図、尿(糖・蛋白)	医師の指示 7	
令和3年8月23日・30日	113	介護・看護 業務従事者	腰痛検査	有所見者数 84	
令和4年2月9日	117			有所見者数 79	

いなみ

期 日	実施人員	実施職種	検査項目	検査結果	検査機関
令和3年6月1日 8月16日	93	全職員	内科検診 貧血 身長・体重 肝機能 視力・聴力 血中脂質 胸部X線 血糖 血圧、尿(糖・蛋白)	医師の指示 19	南砺市民病院
		35歳以上	胃・便・心電図・婦人科		
令和4年1月11日 1月28日	36	夜勤者	内科検診 血圧・貧血 身長・体重 尿(糖・蛋白) 血中脂質・血糖 肝機能	医師の指示 0	南砺市民病院
令和3年8月10日・18日	83	介護・看護 業務従事者	腰痛検査	有所見者数 41	北陸予防医学協会
令和4年2月8日・16日	80			有所見者数 43	北陸予防医学協会

きらら

期 日	実施人員	実施職種	検査項目	検査結果	検査機関
令和3年7月21日 7月27日	87	全職員	内科検診、胸部X線、血圧、尿糖、尿蛋白、視力、聴力、身長、体重、体脂肪・腹囲測定・BMI、心電図、貧血、尿酸、肝機能、腎機能、血中脂質	医師の指示 17	北陸予防医学協会
		35歳以上	胃がん、大腸がん、肺がん、HbA1c		
		希望者	乳がん、子宮がん、ピロリ菌		
令和4年1月14日	32	夜勤者	内科健診、血圧、尿検査、貧血検査、肝機能検査、血中脂質検査、血糖検査、視力、聴力、身長、体重、腹囲測定・BMI、心電図	医師の指示 4	
令和3年8月19日 ～8月27日	88	介護・看護業務 従事者 重量物取扱者	腰痛検査	腰痛有 54	城端理休クリニック
令和4年3月23日 ～3月30日	88			腰痛有 49	城端理休クリニック

ストレスチェックの実施状況 (検査機関：北陸予防医学協会)

	期 日	実施人員	実施職種	検査を受けた人数
福寿園	令和3年10月	150	全職員	150
やすらぎ荘		159		159
いなみ		91		91
きらら		87		87

給食関係職員の検便の実施状況

(単位：人)

実施年月	福寿園		やすらぎ荘		いなみ		きらら	
	対象人員	実施人員	対象人員	実施人員	対象人員	実施人員	対象人員	実施人員
R3. 4月	11	22	16	32	12	24	9	18
5月	11	22	16	32	12	24	9	18
6月	10	20	16	32	13	26	9	18
7月	10	20	16	32	13	26	8	16
8月	10	20	15	30	13	26	8	16
9月	10	20	14	28	14	28	8	16
10月	10	20	14	27	13	26	8	15
11月	10	20	13	26	13	26	7	14
12月	10	20	14	27	13	26	8	16
R4. 1月	10	20	14	28	13	26	8	16
2月	10	20	14	27	13	26	8	16
3月	10	20	15	30	13	26	8	16

Ⅲ 寄付

◎寄付者名簿

福寿園

(単位：円)

年月日	寄付者名	住所	金額
R3.05.13	匿名	南砺市	30,000
R3.07.08	匿名	南砺市	3,000
R3.07.13	匿名	南砺市	100,000
R3.09.24	匿名	砺波市	50,000
R3.09.24	匿名	砺波市	50,000
R3.09.24	匿名	南砺市	30,000
R3.11.08	匿名	小矢部市	100,000
R3.12.10	匿名	南砺市	30,000
R3.12.13	匿名	南砺市	100,000
R3.12.24	匿名	南砺市	30,000
R4.01.11	匿名	南砺市	100,000
R4.02.09	高木 清美	砺波市	30,000
R4.03.25	匿名	南砺市	30,000
R4.03.28	笠野 千尋	南砺市	30,000
合計	14件		713,000

福野デイサービスセンター

年月日	寄付者名	住所	金額
	なし		
合計	件		

やすらぎ荘

(単位：円)

年月日	寄付者名	住所	金額
R3.04.16	米永 善一	小矢部市	100,000
R3.07.31	真宗大谷派高岡教区第三組 福光小会	南砺市	30,000
R3.10.15	富澤 善治	南砺市	50,000
R3.11.01	匿名	南砺市	5,000
R3.11.01	匿名	砺波市	10,000
R4.03.11	福光中部小学校	南砺市	22,000
合計	6件		217,000

やすらぎ荘デイサービスセンター

(単位：円)

年月日	寄付者名	住所	金額
R3.04.15	匿名	南砺市	5,000
R3.07.26	山田 善之	南砺市	50,000
合計	2件		55,000

いなみ

(単位：円)

年月日	寄付者名	住所	金額
R3.05.10	匿名	砺波市	2,000
R3.07.05	匿名	南砺市	50,000
R3.08.23	柴垣 健治	砺波市	100,000
R3.09.07	匿名	南砺市	100,000
R3.09.13	松本 文子	射水市	200,000
R3.10.06	匿名	南砺市	50,000

年月日	寄付者名	住所	金額
R4.02.24	小島 清信	南砺市	10,000
R4.03.16	高山 一登	南砺市	100,000
合計	8件		612,000

デイサービスセンターいなみ

(単位：円)

年月日	寄付者名	住所	金額
合計	0件		

きらら

(単位：円)

年月日	寄付者名	住所	金額
R3.04.12	匿名	南砺市	100,000
R3.04.15	匿名	南砺市	10,000
R3.06.18	来川 良平	南砺市	200,000
R3.06.18	匿名	南砺市	50,000
R3.07.09	匿名	南砺市	30,000
R3.10.19	山下 俊雄	南砺市	100,000
R3.10.19	匿名	南砺市	100,000
R3.11.10	匿名	南砺市	100,000
R4.01.04	匿名	南砺市	30,000
R4.01.05	匿名	南砺市	20,000
R4.01.14	匿名	南砺市	30,000
R4.02.28	今井 啓一	南砺市	30,000
R4.03.14	匿名	南砺市	100,000
合計	13件		900,000

◎寄付物品等

福寿園

年月日	寄付者名	住所	物品名
R3.09.02	齊藤 佳行	南砺市	タオル、マスク
R3.11.04	匿名	南砺市	衣類等
R3.11.08	福野青葉幼稚園	南砺市	野菜
R3.11.10	野村 豊彦	中新川郡	米
R3.11.18	島田 勇治	富山市	マスク
R3.12.13	越中一ノ宮高瀬神社	南砺市	福寿箸
R3.12.14	(株)スケダ	南砺市	シンビジューム
R3.12.15	松本信勝	南砺市	テレビ
R4.01.14	匿名	南砺市	箱ティッシュ
R4.02.17	匿名	南砺市	車いす
R4.03.18	工藤 義春	南砺市	おむつ、パッド
合計	11件		

やすらぎ荘

年月日	寄付者名	住所	物品名
R3.05.24	匿名	南砺市	歯みがきティッシュ、清拭料
R3.06.10	北山田地区サロンひまわりの会	南砺市	マスコット
R3.08.10	南砺市ボランティア連絡協議会 福光支部	南砺市	絵手紙
R3.08.27	福光理容組合 米村 充憲	南砺市	タオル
R3.09.23	常本 栄子	南砺市	タオル
R3.10.04	匿名	砺波市	靴下
R3.10.15	富澤 善治	南砺市	ポータブルトイレ
R3.10.18	花と緑の銀行 南砺支店	南砺市	チューリップ球根
R3.10.26	真宗大谷派高岡教務所	高岡市	法語カレンダー、同朋新聞 他
R3.11.09	福光青葉幼稚園	南砺市	かぼちゃ、大根 他(野菜、果物 多数)
R3.11.10	田中 智恵子	南砺市	タオル
R3.11.11	中村 幸子	金沢市	タオル
R3.11.16	富山県善意銀行	富山市	みかん
R3.11.30	アトリエZenkichi 稲澤廣明	黒部市	水彩画カレンダー
R3.12.15	越中一宮高瀬神社	南砺市	福寿箸
R4.03.08	北日本放送株式会社	富山市	「旬景とやま」ブルーレイディスクフォトブック
R4.03.22	匿名	南砺市	タオル、薬用ハンドソープ
R4.03.24	匿名		タオル
合計	18件		

やすらぎ荘デイサービスセンター

年月日	寄付者名	住所	物品名
R3.09.24	匿名	南砺市	コシヒカリ
合計	1件		

ふく満デイサービスセンター

年月日	寄付者名	住所	物品名
R3.04.05	今井 兼二	南砺市	布(160cm×11.5m)
R3.05.06	匿名	南砺市	トロミ剤
R3.05.26	匿名	南砺市	紙オムツ、尿取りパッド、メイバランス

年月日	寄付者名	住所	物品名
R3.06.02	匿名	南砺市	DVD
R3.07.20	匿名	南砺市	タオル
R3.10.18	花と緑の銀行 南砺支店	南砺市	チューリップ球根
R3.12.20	匿名	南砺市	ゆず
R3.12.20	匿名	南砺市	ゆず
R4.02.25	匿名	南砺市	紙パンツ用パッド
R4.03.01	湯浅 藤作	南砺市	スチールホースリール
R4.03.04	武田 道子	南砺市	紙オムツ、紙パンツ、おしりふき
合計	12件		

いなみ

年月日	寄付者名	住所	物品名
毎月	真宗大谷派高岡教務所	高岡市	同朋新聞、冊子「同朋」
R3.05.06	匿名	南砺市	自走型車椅子(評価額20,524円)
R3.05.25	特養いなみ家族会 会長 柴垣健治		顔認証温度検知システムSA-928(評価額242,000円)
R3.06.03	花と緑の銀行	南砺市	花苗
R3.07.19	(有)重松	魚津市	除菌シート
R3.08.11	匿名	南砺市	紙オムツ
R3.08.23	柴垣 健治	砺波市	クッション、衣類一式
R3.09.13	松本 文子	射水市	自走型車椅子(評価額 1円)
R3.09.21	コマツNTC(株)	南砺市	タオル
R3.09.30	大塚製薬(株)名古屋支店富山出張所	富山市	ボディメントドリンク
R3.10.19	花と緑の銀行	南砺市	球根
R3.10.08	匿名	南砺市	米
R3.10.26	真宗大谷派高岡教務所	高岡市	法語カレンダー、掲示伝道ポスター
R3.11.04	匿名	砺波市	雑巾
R3.11.09	(株)ファーストリテイリング	山口県	エアリズムマスク
R3.11.24	匿名	南砺市	メイバランス、紙オムツ、尿取りパッド
R3.11.16	富山県善意銀行	富山市	みかん
R3.12.01	匿名	南砺市	リクライニング車椅子(評価額44,500円)
R3.12.06	(有)重松	魚津市	ティッシュ
R3.12.16	越中一ノ宮高瀬神社	南砺市	福寿箸
R4.01.25	若駒酒造	南砺市	酒粕
合計	21件		(評価額307,025円)

デイサービスセンターいなみ

年月日	寄付者名	住所	物品名
R3.06.03	花と緑の銀行	富山市	花苗
R3.10.22	上村 きよみ	南砺市	衣類
R3.11.15	荒井 聡	南砺市	紙おむつ他
R4.12.06	吉澤 美穂	南砺市	紙おむつ他
R4.03.15	増井 玲子	南砺市	紙パンツ・パット類
R4.03.22	小西 眞沙子	南砺市	紙パンツ・パット類
R4.03.26	杉下 久子	南砺市	籠
合計	7件		

きらら

年月日	寄付者名	住所	物品名
R3.04.12	和田 宏一	砺波市	U字型歩行器
R3.04.30	匿名	南砺市	パット、オムツ
R3.05.07	匿名	南砺市	バナナ
R3.05.31	匿名	南砺市	紙オムツ、尿パット
R3.06.11	匿名	高岡市	紙パンツ
R3.06.21	匿名	南砺市	紙オムツ
R3.06.21	匿名	南砺市	ビニール袋
R3.07.08	城端中学校 生徒会環境委員会	南砺市	介助型車椅子(評価額30,000円)
R3.09.02	キタノ製作株式会社	南砺市	フェイスシールド
R3.09.04	辻 茂裕	南砺市	サイドテーブル、車椅子
R3.09.17	信末菜園同好会	南砺市	さつまいも
R3.10.02	匿名	南砺市	歩行器、衣料品、医療品
R3.10.10	古軸 久枝	南砺市	生花
R3.10.26	真宗大谷派 高岡教務所	高岡市	法語カレンダー、掲示伝道ポスター
R3.10.27	田原 良子	南砺市	パズル
R3.11.06	新谷 俊雄	南砺市	ゆず
R3.11.08	匿名	南砺市	ひざ掛け
R3.11.08	匿名	南砺市	柿
R3.11.17	公益社団法人富山県善意銀行	富山市	みかん
R3.11.22	匿名	南砺市	富有柿
R3.11.22	真宗大谷派高岡教区 第三組 第二小会長 真教寺住職 馬川 透	南砺市	親鸞聖人DVD
R3.11.29	三田 芳枝	南砺市	りんご
R3.12.01	匿名	南砺市	あんぽ柿
R3.12.06	匿名	南砺市	オムツ、おしりふき
R3.12.15	越中一宮高瀬神社 宮司 藤井秀嗣	南砺市	福寿箸
R3.12.17	澤 恭次	南砺市	学習机
R4.01.24	匿名	南砺市	シクラメン花鉢
R4.02.15	城端別院 善徳寺	南砺市	御涅槃団子
R4.02.16	石崎 恵美子	南砺市	経管物品、排泄用品
R4.02.28	匿名	南砺市	お菓子
R4.03.10	城端小学校	南砺市	車椅子(評価額81,000円)
R4.03.15	匿名	南砺市	バスタオル、タオル
R4.03.16	とやまアルペン乳業(株)	富山市	牛乳
R4.03.30	山崎 吉晴	南砺市	紙オムツ
合計	34件		(評価額111,000円)

IV 事業実施状況

1. 介護老人福祉施設事業

(1) 事業概況

福寿園

法人の基本方針に基づき利用者を主体とした質の高い介護サービスを提供するとともに、地域との関わりや家族との信頼関係を築くことを念頭に置き、事業に取り組んだ。

長期利用者については、昨年度から継続の従来型37床(定数54床の17床減)ユニット88床の計125床体制で事業を行った。月平均119.6人(前年度117.7人)と1.9人増、稼働率95.7%(前年度94.2%)となった。平均介護度は、4.15(前年度4.09)であった。また、看取りケアについては、安らかな時を過ごせるよう多職種協働で利用者本人や家族の気持ちに寄り添い、35名(前年度31名)実施した。看取りケア継続中の方は16人である。年々、要介護度が高く看取りの方も非常に多い。入所から退所までの期間が非常に短く、稼働率を高く維持出来るよう早めの入所に向けて努めた。今年度は、ショート棟でのクラスター発生を公表したことにより風評被害等を懸念されたが、多くの励ましの言葉であったり物品の寄付をして頂いたり、公表に対する思いが届いた評価であった。

事業収支状況では、サービス活動収益は596,183千円(前年度584,359千円)、サービス活動費用は564,163千円(前年度555,620千円)と共に増額、サービス活動増減差額は32,019千円(前年度28,739千円)となった。

<施設の取り組み>

(1) 今年度は南砺市周辺で新型コロナウイルス感染者が増加し、職員が家庭内感染から職場に持ち込むのではないかと不安が大きく、出勤時の検温、細目に手すり等の消毒、県外への外出時の届出など、より感染予防対策を徹底した。幸いにも長期利用者には感染者はでていない。職員が利用者に先駆けワクチン接種したが、接種により体調不良になる職員が出ることから業務に差し支えの無いよう接種日を分散し、次の日を休日にするなど勤務にも配慮した。

(2) ボランティア活動では、活動回数4回(前年度2回)延べ人数も61人(前年度40人)であった。今年度も南砺福野高校農業環境科の生徒たちが来園し、雪つりと車椅子清掃を行ってくれたことに感謝したい。年末ということもあり、生徒たちにお正月に使用するおみくじを作成してもらい、実際に利用者の方が引かれた時には大変喜ばれた。また、福野小学校6年生の生徒代表が総合的学習「地域にえがおの輪をひろげよう」で作成したビデオレターや折り紙などをプレゼントに来園してくれた。福祉施設ということもあり、来園してもよいかとの確認など生徒が率先して動いてくれたことや新聞にも取り上げていただいて、明るく嬉しい話題だった。直接、利用者の方と関わる事が出来ず残念であった。

(3) 南砺家庭・地域医療センター、保健センター、医療課、地域包括ケア課等とは職員・利用者の新型コロナワクチン接種や感染予防対策で協力いただき大変感謝している。また、南砺市で感染者数が増加し身近に感染に対して脅威を感じる際には早期対応として、防護服の提供をして頂くなど、嘱託医師ならびに行政との協力体制があることで大きな安心感となった。

(4) 実習、研修等受入れでは34名(前年度33名)、3名が南砺市周辺のコロナ感染状況が厳しいため受入れできなかった。昨年度同様、厳しい現況下ではあったが介護の未来を担う高校生、短大生など実習・研修は大変重要な事柄であるとの認識から、実習・研修の機会を確保することに努めた。

(5) 2大行事である「夏祭り」「ふれあい文化祭」については、感染予防対策が欠かせない状況は今後変わらないであろうという視点で、開催を検討した。コロナ前のように大きな規模ではないが、夏祭りについては「こられま!こられま!お祭り広場」と題してお好み焼きやビールを提供したり、的あてや千本釣りゲームをして楽しめるよう企画した。また、『ひらすんま』と題し、普段とは違った雰囲気味わってもらうため、季節の食材を使ったおやつや場所を変えてお食事していただくなど工夫した。ふれあい文化祭については『作品展』としたことで目標ができ、意欲的に壁面作り等取り組めた。外出機会の減った利用者にとって、作品展を見学することは良い散歩コースになったと思われる。

(6) 「介護・福祉の出前講座」では、南砺市の井波中学校(3年生11名)、福野中学校(3年生143名、クラスごと4回に分けて実施)へ行き、若い介護職員を中心に介護に興味を持ってもらおうと出前講座(2年目)を行った。福野中学校2年生(16名)は福寿園へ来園し、介護職のみならず、栄養士、看護職員、事務員等多職種連携で特別授業を実施することができたのは良かった。また、『介護は大変な仕事ではなく、大切な仕事である』とメッセージを伝えた。

(7) 介護ロボット等導入検討チーム「ワンチーム福寿園」を設置した。介護ロボット等の普及促進を図り、介護業務の課題を抽出し解決するために必要な介護ロボット等を導入及び活用することにより、介護従事者の身体的・心理的負担を軽減するとともに利用者サービスの質向上に努めることを目的とし活動してきた。介護ロボットにも機能がいろいろあり、移動介助等のサポートするものや利用者の状況を把握するもの等、多岐にわたるためデモ機を取り寄せ、より良いものを選択し、利用者サービスの向上になるよう引き続き検討している。

やすらぎ荘

法人の基本理念や方針に基づき、利用者の尊厳や家庭的な雰囲気大切に、入居者、家族、地域の方に喜んでいただけるよう質の高い安全な福祉サービスを提供し、地域福祉の向上に寄与することで地域に信頼される施設運営に努めた。新型コロナウイルス感染対策にも日々取り組み、安全で安心した日常生活を送っていただけるように務めた。

・長期入居者は定員100名(ユニット型80名・地域密着型20名)のところ、年間平均97.8人(前年度92.9人)の利用となった。稼働率97.8%(前年度92.9%)、平均介護度4.2(前年度4.2)であった。また看取りケアについては本人やご家族の気持ちに寄り添いながら主治医や地域医の協力のもと20名(前年度28名)実施した。

・事業の収支状況は、サービス活動収益は503,684千円(前年度479,546千円)、サービス活動費用は500,604千円(前年度500,309千円)と共に増額、サービス活動増減差額は3,080千円(前年度△20,763千円)となった。

〈施設の取り組み〉

(1) ユニットケアに取り組み9年が経過した。「入居者のあなたらしい生活の支援」の為に自分達にできることは何か、施設の理念をもとにユニット・フロア毎に毎月目標を掲げ取り組み、みんなが笑顔でいられる環境作りに努めた。

(2) 職員研修では、新型コロナウイルス感染予防の為、個人ワークを中心に研修を開催し全職員の資質向上に努めた。また職員がそれぞれの年間目標を自ら定め、目標達成を励みに日々の業務に取り組んだ。

(3) 入居者の自立支援と、介護職員の腰痛対策の取り組みとし腰痛予防研修やリフトリーダー養成研修、介護ロボット研修に参加し学んだことを介護職員会議にて報告・実践研修を行った。職員の負担軽減はもちろん、入居者の自立支援に向け、利用者の状態に合ったより安全に使うための介護技術研修に取り組んだ。

(4) 新型コロナ感染予防の為、家族や地域住民等との交流目的とする運動会、夕涼み会、年忘れ会の三大大事は、縮小して職員で工夫しながらフロア毎に開催した。入居者の家族や身元引受人で構成される「家族会」に、行事への支援をいただき、施設を支えていただく大きな力となっている。

(5) 災害や新型コロナウイルス等感染時に備えて備蓄品の確認や整理、不測の事態を想定してのシミュレーションを行い、防災や感染対策への意識と技術の向上に努めた。

(6) 入居者の新型コロナウイルス感染症の発症は14名、職員の発症9名であった。地域の病床逼迫状況により施設内療養の指示があったため、砺波厚生センター・公立南砺中央病院の指導・協力の下、療養を実施することとなった。収束までの約1ヶ月半、必要な感染対策を講じた上で嘱託医と連携し看護・介護職員が主となって目に見えない恐怖と闘いながら入居者・利用者・家族への支援を行った。コロナ感染症は依然拡大傾向がみられているが、施設全体で標準予防策の徹底と環境整備により一層努めていきたい。

(7) 施設の玄関から外に出られる入居者に対し見守りのできないときに一時ユニット玄関の施錠や、傷を直すために工夫した衣類の着用をしたケースがあった。身体拘束廃止委員会では、毎月身体拘束の状況把握を行い、拘束時間の短縮や対応策を検討し、廃止に向けて取り組んだ。

いなみ

法人の理念と基本方針に基づき、利用者の尊厳の保持と自立支援のため介護力向上を目指し、科学的根拠に基づいた介護による安全で質の高い福祉サービスの提供に取り組んだ。

長期利用者は平均66.8人（前年度66.5人）、月平均稼働率は運用定員74人に対して90.2%（前年度運用定員70人に対して94.9%）、平均介護度は4.07（前年度4.24）となった。看取りケアについては、本人や家族の気持ちに寄り添い、多職種が協働し、19名（前年度6名）と前年度に比べ多くのケアの実施となった。

今年度の事業の収支状況は、サービス活動収益は302,721千円（前年度294,255千円）、サービス活動費用は336,252千円（前年度325,362千円）となった。サービス活動増減差額は△33,531千円（前年度△31,107千円）となった。

<施設の取り組み>

(1) 長期利用者の定員を80名のところ運用定数を6名減の74名としており、4フロア体制とした。職員の配置を見直し、新型コロナウイルス感染予防の実践と事故防止に努め安心、安全な日常生活を送れるよう取り組んだ。

(2) 全国老協の介護力向上研修での学びを基礎に、水分・食事・運動・排便の4つのケアを実践の柱とし、オムツゼロを目指した実践は12年となった。認知症の正しい理解を深めて、行動や症状から原因を探り症状の改善に取り組み自立支援介護を実践した。入所時にオムツ使用の方でもトイレでの排泄習慣を取り戻し、今年度は3名が布パンツやリハビリパンツに移行して成果を上げた。継続した取り組みとして高齢者への下剤の影響を考慮し、過度に下剤を使用せず、穏やかな自然排便を目指した。経口からの食事について、歯科医師・歯科衛生士・言語聴覚士・管理栄養士・看護師・介護士と多職種の連携の下にすすめ、入所者の心と身体の健康を支えることができた。

(3) 新型コロナウイルス感染予防のため、今年度も家族や地域住民等との交流のない納涼祭・文化祭・おはぎ作りの会等をフロア単位で開催した。行事に参加されている利用者の表情や日常の様子を写真をご家族に郵送して、生活の様子を伝えた。また、ドライブにて季節の花や風景を見たり、住み慣れた地域への外出の機会を毎月計画した。年間を通じてフロア毎にゲーム大会や回想法を楽しんだ。

ガラス越しやシールド越しでの面会、タブレット面会などを工夫し、家族との交流の機会を配慮した。

(4) 年2回の防災・避難訓練を実施した。夜間を想定した避難訓練、震度6相当の震災想定での避難訓練・非常招集訓練を行った。今年度も新型コロナウイルス感染予防の為、近隣の町内会・消防隊の協力をなした。

昨年見直したマニュアルをもとに施設外へ無断外出した利用者を想定した訓練を行った。今後も随時マニュアルを見直し、訓練で全職員理解のもと利用者の安全に努める。

(5) バーセルインデックス（要介護者・病気や障がいを持つ方の日常生活動作を評価するための世界共通の尺度の1つ）研修で日常生活動作の評価基準を学び、全職員でLIFE（科学的介護情報システム）に取り組んだ。また、「すぐろくタブレット」を使いこなすための研修会を企画し、記録の共有と効率化を図った。

(6) 入所者の自立支援と介護職員の腰痛予防対策として、介護ロボット導入を検討する委員会を設置した。施設の課題を洗い出し、デモ機の試行で解決に向けて検討を重ねている。

きらら

法人の基本理念・基本方針に基づき、利用者の尊厳の保持、自立独立心を養うよう助長支援に努めた。また、明るく清潔な環境づくり、安全で安心した日常生活が享受いただけるよう質の高い介護サービスを提供するとともに、自己研鑽と資質向上に励み健全な施設運営に努めた。利用者、職員ともにきららのモットーである「明るい笑顔 しあわせなくらし」の推進を心がけた。

・長期入所定員は80名で、今年度は延べ入院者数が447人（前年度464人）、1日平均利用者数は77.8人（前年度75.8人）で稼働率は97.26%（前年度94.80%）と職員の頑張りが数字に出ている。平均介護度は4.21（前年度4.16）であった。また、施設での看取り介護は15名で多職種協働のもと本人や家族の気持ちに寄り添いながら実施した。

・食事面では令和元年度にニュークックチル方式（調理済み食事（チルド）を仕入れ再加熱カートで温め提供する方式）を導入し、全国のご当地メニューなど含め多彩な食事提供が可能となり 利用者楽しんでいただけた。

・今年度は新型コロナウイルス感染症の感染リスクを減らすため 嘱託医の協力のもとワクチン3回目接種を早期にすすめ マスクやフェイスシールドの装着を推進 スタンダードプリコーションの実践を行った。行事や面会を制限し利用者の皆様には寂しい思いがあったかと思うが リモート面会や窓越し面会の機会を設け、家族利用者お互いの顔を見て安心していただけるよう工夫した。また多職種協力し感染症BCPの作成を行った。

事業の収支状況では、サービス活動収益は348,417千円（前年度336,761千円）、サービス活動費用は331,102千円（前年度352,972千円）で、サービス活動増減差額は17,315千円（前年度△16,211千円）となった。

<施設の取り組み>

（1）入所者が認知機能や摂食、嚥下機能の低下により食事の経口摂取が困難となった場合でも口で食べる楽しみを得られるように 多職種共同し支援の充実と促進を図った。月に1回の言語聴覚士や歯科衛生士による指導も得ながら 多職種でのミールラウンドを行い 嚥下機能の低下にいち早く対応できた。

（2）利用者の自立支援と介護職員の腰痛予防、介護業務に係る負担軽減のため、腰痛予防チームが中心となり介護技術研修に取り組んだ。腰痛予防対策モデル福祉施設として、事例検討しながら腰痛予防を推進し、「介護作業員腰痛予防対策チェックリスト」を用いて腰痛の実態を調査し、改善策を検討している。今年度は 法人内の他施設の職員への研修会も企画・実施した。

（3）科学的に効果が裏付けられた自立支援、重度化防止に資する質の高いサービス提供の推進を目的とした LIFE「科学的介護情報システム」を用いた厚生労働省へのデータ提出とフィードバックの活用を実施しケアの質の向上を図った。

（4）有事に備えて利用者が安心安全に生活出来るように、例年は理休消防協力隊員と連携し避難訓練を実施し、利用者救助・避難誘導・消火訓練により防火意識の高揚と防災技術の向上を図っているが今年度は感染防止の為協力隊の方は参加されず、グループでの小単位で訓練を行った。

（5）新型コロナウイルス感染防止の為 行事やボランティア活動が中止となった。グループごとの小単位の活動を中心に行ったり 少人数でドライブへ出かけるなど工夫を凝らしながら楽しめる活動を行った。

(2) 年間主要行事

福寿園

月日	実施内容	月日	実施内容
4月	お花見散歩	12月	しめ縄飾り作り
7月14日	追悼法要	7月12日, 10月18日, 11月8日	ひらすんま (軽食喫茶)
8月25日・9月1日	お祭り広場	1月13日	初詣おみくじ (各フロア)
9月29日	長寿祝い会	2月3日	節分豆まき (各フロア)
9月29日, 10月29日, 3月8日	百歳お祝い会	3月	ひな祭り (各フロア)
適宜	ドライブ (車窓)	利用者誕生日実施	誕生会 (誕生者フロア)
10月14日～31日	利用者作品展	毎月3回	理髪
12月	クリスマス会 (各フロア)	毎月4回	喫茶サービス (フロア巡回)

やすらぎ荘

月日	実施内容	月日	実施内容
6月23日～25日	運動会	入居者誕生月に実施	誕生会
7月28日, 8月4日, 11日	夏祭り	毎月第2月曜日	クラブ活動 (手芸)
9月9日	満米寿・長寿を祝う会	年間4回	クラブ活動 (書道)
11月1日	追悼法要	年間6回	クラブ活動 (花道)
12月1日, 8日, 15日	年忘れ会	年間3回	クラブ活動 (茶道)
1月5日, 13日, 14日	初詣	毎月5回	理髪
毎月1回	法話会	随時	ユニット毎の荘内・荘外活動
毎月1回	郷土料理		

いなみ

月日	実施内容	月日	実施内容
4月6日	お花見	11月23日～29日	七五三展
4月21日	花まつり	12月8日	おはぎ作り
4月14日	ボーリング大会	12月22日	クリスマス会
5月12日	井波街並みドライブ	1月5日	初詣
5月26日	追悼法要	1月17日～24日	振袖展
6月2日	初夏の寄せ植え教室	1月26日	初釜
6月23日～30日	花嫁のれん展	2月2日	節分
7月14日・3月9日	カラオケ大会	3月2日	ひな祭り会
8月4日	夕涼み会	利用者の誕生日に実施	誕生会
9月15日	敬老の集い	隔月1回	生花クラブ
10月6日	焼き芋会	毎月1回	外出援助・レクリエーション
10月13日・20日	コスモス見学	毎月1回	料理・おやつクラブ
10月27日・2月16日	風船パレー大会	毎月1回	いなみ塾
11月10日	文化祭	年3回	移動売店
11月17日	チューリップ等の球根植え	年6回	チャレンジデーいなみ・回想法

きらら

月日	実施内容	月日	実施内容
4月	お花見ドライブ	11月	法話会
5月	法話会	11月	とくし丸買い物
7月	中学校車いす贈呈式	11月	チューリップ球根贈呈式
7月	法話会	12月	クリスマス会

月日	実施内容	月日	実施内容
8月	ひまわりドライブ	12月	年賀状書き
9月	敬老会	1月	お正月遊び
9月	ミニ納涼祭	2月	節分会
9月	とくし丸買い物	3月	ひな祭り会
10月	法話会	月2回	理髪
10月	とくし丸買い物		

(3) 入退所者等の状況
 福寿園 定員142名(ユニット型88名、従来型54名) 運用定員125名(ユニット型88名、従来型37名) (単位:日、人)

月	年度別	本体施設						入退所の状況(併設シヨート除く)							
		施設入所者 延人数(A)	(A)のうち 延入院者数 (B)	(A)のうち 延外泊者数 (C)	(D)=(A)-(B)-(C)	当該月の日 数(E)	平均利用者 数(F)= (D)/(E)	稼働率 (%) (運用定員)	新規入所 者実人数	家庭 復帰	医療機 関入院	療養機 へ転出	死亡	その他	計
4	本年	3,748	105		3,643	30	121.4	85.5 (97.1)	2		1		2		3
	前年	3,692	111		3,581	30	119.4	84.1 (95.5)	2				3		3
5	本年	3,816	126		3,690	31	119.0	83.8 (95.2)	4				5		5
	前年	3,756	134		3,622	31	116.8	82.3 (93.4)	1				3		3
6	本年	3,734	106		3,628	30	120.9	85.1 (96.7)	3				1		1
	前年	3,543	141		3,402	30	113.4	79.9 (90.7)	3				7		7
7	本年	3,866	219		3,647	31	117.6	82.8 (94.1)	0				3		3
	前年	3,706	152		3,554	31	114.6	80.7 (91.7)	7	1	1		2		4
8	本年	3,809	121		3,688	31	119.0	83.8 (95.2)	5				3		3
	前年	3,784	158		3,626	31	117.0	82.4 (93.6)	5		1		2		3
9	本年	3,706	129		3,577	30	119.2	83.9 (95.4)	3			1	5		6
	前年	3,630	159		3,471	30	115.7	81.5 (92.6)	3				5		5
10	本年	3,807	67		3,740	31	120.6	84.9 (96.5)	4			1	1		2
	前年	3,730	178		3,552	31	114.6	80.7 (91.7)	4		1		1		2
11	本年	3,630	61		3,569	30	119.0	83.8 (95.2)	7			1	8		9
	前年	3,669	149		3,520	30	117.3	82.6 (93.8)	5				3		3
12	本年	3,777	53		3,748	31	120.9	85.1 (96.7)	4				3		3
	前年	3,863	48		3,815	31	123.1	86.7 (98.5)	2				2		2
1	本年	3,829	97		3,732	31	120.4	84.8 (96.3)	5				3		3
	前年	3,838	156		3,682	31	118.8	83.7 (95.0)	2				3		3
2	本年	3,426	82		3,344	28	119.4	84.1 (95.5)	3				6		6
	前年	3,457	109		3,348	28	119.6	84.2 (95.7)	4		1		1		2
3	本年	3,795	148		3,647	31	117.6	82.8 (94.1)	6				6		6
	前年	3,860	77		3,783	31	122.0	85.9 (97.6)	2				1		1
計	本年	44,943	1,314	0	43,653	365	119.6	84.2 (95.7)	46		1	3	46		50
	前年	44,528	1,572	0	42,956	365	117.7	82.9 (94.2)	40	1	4		33		38

やすらぎ荘 定員100名（ユニット型80名、従来型20名）

（単位：日、人）

月	年度別	本体施設						入退居の状況						
		施設入所者 延人数(A)	(A)のうち 延入院者数 (B)	(A)のうち 延外泊者数 (C)	(D) = (A) - (B) - (C)	当該月の日 数(E)	平均利用者数 (F) = (D) / (E)	稼働率 (%)	新規入所 者実人数	家庭 復帰	医療機 関入院	療養型 へ転出	死亡	その他
4	本年	2,952	33		2,919	30	97.3	4				3		3
	前年	2,891	72		2,819	30	94.0	1				5		5
5	本年	3,079	16		3,063	31	98.8	1				1		1
	前年	2,937	67		2,870	31	92.6	3		1		2		3
6	本年	3,000	42		2,958	30	98.6							
	前年	2,884	81		2,803	30	93.4	5		1		1		2
7	本年	3,088	141		2,947	31	95.1	1				1		1
	前年	2,941	71		2,870	31	92.6	2				5		5
8	本年	3,087	85		3,002	31	96.8	1		1		1		2
	前年	2,929	57		2,872	31	92.6	1				1		1
9	本年	2,994	34		2,960	30	98.7	1				1		1
	前年	2,800	87		2,713	30	90.4	2				1		1
10	本年	3,082			3,082	31	99.4	2				1		1
	前年	2,952	86		2,866	31	92.5	4				2		2
11	本年	2,973	12		2,961	30	98.7	2				3		3
	前年	2,920	130		2,790	30	93.0	2		1				1
12	本年	3,090	52		3,038	31	98.0	1				1		1
	前年	3,007	89		2,918	31	94.1	3		2		2		4
1	本年	3,056	60		2,996	31	96.6	2		1		1		2
	前年	2,929	21		2,908	31	93.8	1				7		7
2	本年	2,780	13		2,767	28	98.8	1				1		1
	前年	2,600	44		2,556	28	91.3	5				3		3
3	本年	3,049	31		3,018	31	97.4	2				2		2
	前年	2,946	30		2,916	31	94.1	6						
計	本年	36,230	519		35,711	365	97.8	18		2		16		18
	前年	34,736	835		33,901	365	92.9	35		5		29		34

いなみ 定員80名 (従来型) 運用定員74名 (令和2年度70名)

(単位:日、人)

月	年度別	本体施設						入退居の状況							
		施設入所者 延人数(A)	(A)のうち 延入院者数 (B)	(A)のうち 延外泊者数 (C)	(D)= (A)-(B)-(C)	当該月の日 数(E)	平均利用者数 (F)=(D)/(E)	稼働率 (%) (運用定員)	新規入所 者実人数	家庭 復帰	医療機 関入院	療養機 へ転出	死亡	その他	計
4	本年	2,052	57		1,995	30	66.5	83.1 (89.8)	2		1		2		3
	前年	2,182	83		2,099	30	69.9	87.3 (99.9)					2		2
5	本年	2,068	74		1,994	31	64.3	80.3 (86.9)	2		1		2		3
	前年	2,168	108		2,060	31	66.4	83.0 (94.9)	1		1		1		2
6	本年	2,057	67		1,990	30	66.3	82.8 (89.6)	4				1		1
	前年	2,084	107		1,977	30	65.9	82.3 (94.1)	1			1			1
7	本年	2,148	160		1,988	31	64.1	80.1 (86.6)	3		1		1		2
	前年	2,170	67		2,103	31	67.8	84.7 (96.9)							
8	本年	2,105	110		1,995	31	64.4	80.4 (86.9)	3		1		4		5
	前年	2,170	128		2,042	31	65.9	82.3 (94.1)							
9	本年	2,055	58		1,997	30	66.5	83.1 (89.9)	4		1		2		3
	前年	2,074	111		1,963	30	65.4	81.7 (93.4)	2		1		2		3
10	本年	2,158	62		2,096	31	67.6	84.5 (91.3)	3			1	1		2
	前年	2,165	79		2,086	31	67.3	84.1 (96.1)	1						
11	本年	2,078	55		2,023	30	67.4	84.2 (91.1)	2				5		5
	前年	2,098	146		1,952	30	65.0	81.2 (92.9)	2		1		1		2
12	本年	2,150	21		2,129	31	68.6	85.7 (92.7)	6						
	前年	2,172	104		2,068	31	66.7	83.3 (95.2)	2			1	1		2
1	本年	2,258	71		2,187	31	70.5	88.1 (95.3)					2		2
	前年	2,121	77		2,044	31	65.9	82.3 (94.1)	2				4		4
2	本年	2,012	113		1,899	28	67.8	84.7 (91.6)	2				2		2
	前年	1,899	65		1,834	28	65.5	81.8 (93.5)	1		1				1
3	本年	2,210	113		2,097	31	67.6	84.5 (91.4)	3				4		4
	前年	2,128	84		2,044	31	65.9	82.3 (94.1)	3				3		3
計	本年	25,351	961		24,390	365	66.8	83.5 (90.3)	34		5	1	26		32
	前年	25,431	1,159		24,272	365	66.4	83.0 (94.9)	15		4	2	14		20

さらに 定員80名 (従来型)

(単位：日、人)

月	年度別	本体施設						入退居の状況						
		施設入所者 延人数(A)	(A)のうち 延入院者数 (B)	(A)のうち 延外泊者数 (C)	(D) = (A) - (B) - (C)	当該月の日 数(E)	平均利用者数 (F) = (D) / (E)	稼働率 (%)	新規入所 者実人数	家庭 復帰	医療機 関入院	療養型 へ転出	死亡	その他
4	本年	2,348	46		2,302	30	76.7	95.9	4		1	4		5
	前年	2,253	44		2,209	30	73.6	92.0				4		4
5	本年	2,470	70		2,400	31	77.4	96.8						
	前年	2,241	71		2,170	31	70.0	87.5				5		5
6	本年	2,367	60		2,307	30	76.9	96.1	3			3		3
	前年	2,178	29		2,149	30	71.6	89.5	6					
7	本年	2,454	27		2,427	31	78.3	97.9	3		1	2		3
	前年	2,296	39		2,257	31	72.8	91.0	1			3		3
8	本年	2,480			2,480	31	80.0	100.0						
	前年	2,385	42		2,343	31	75.6	94.5	7					
9	本年	2,400	14		2,386	30	79.5	99.4						
	前年	2,383	22		2,361	30	78.7	98.4	1			3		3
10	本年	2,436	67		2,369	31	76.4	95.5	3			5		5
	前年	2,428	45		2,383	31	76.9	96.1	4			2		2
11	本年	2,380	71		2,309	30	77.0	96.3	3			1		1
	前年	2,385	33		2,352	30	78.4	98.0	1			1		1
12	本年	2,439	21		2,418	31	78.0	97.5	1			4		4
	前年	2,457	9		2,448	31	79.0	98.8	1			2		2
1	本年	2,431	10		2,421	31	78.1	97.6	3					
	前年	2,460			2,460	31	79.4	99.3	2			1		1
2	本年	2,222	26		2,196	28	78.4	98.0				4		4
	前年	2,215	61		2,154	28	76.9	96.1	1			2		2
3	本年	2,419	35		2,384	31	76.9	96.1	4			2		2
	前年	2,463	69		2,394	31	77.2	96.5	2			1		1
計	本年	28,846	447		28,399	365	77.8	97.3	25			2		27
	前年	28,144	464		27,680	365	75.8	94.8	27			24		24

(4) 利用者の状況

①年齢構成等

基準日 (令和4年3月31日現在)

年齢 性別	60歳未満	60歳 ~ 64歳	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 ~ 94歳	95歳 ~ 99歳	100歳 以上	計	一人あたり平均年齢		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		最高 歳	最低 歳	平均 歳
男			1	6	2	1	8	5	1	1	25	100	66	83.4
女				1	4	9	22	35	18	7	96	103	74	90.2
計			1	7	6	10	30	40	19	8	121	103	66	88.3

やすらぎ荘

年齢 性別	60歳未満	60歳 ~ 64歳	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 ~ 94歳	95歳 ~ 99歳	100歳 以上	計	一人あたり平均年齢		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		最高 歳	最低 歳	平均 歳
男				2	3	3	6	6	4		24	98	73	87.2
女				2	1	6	27	22	14	3	75	105	72	89.8
計				4	4	9	33	28	18	3	99	105	72	88.5

いなみ

年齢 性別	60歳未満	60歳 ~ 64歳	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 ~ 94歳	95歳 ~ 99歳	100歳 以上	計	一人あたり平均年齢		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		最高 歳	最低 歳	平均 歳
男						6	4	5			15	94	80	86.4
女				1	2	6	12	21	11	2	55	106	71	92.2
計				1	2	12	16	26	11	2	70	106	71	90.9

きらら

年齢 性別	60歳未満	60歳 ~ 64歳	65歳 ~ 69歳	70歳 ~ 74歳	75歳 ~ 79歳	80歳 ~ 84歳	85歳 ~ 89歳	90歳 ~ 94歳	95歳 ~ 99歳	100歳 以上	計	一人あたり平均年齢		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人		最高 歳	最低 歳	平均 歳
男			1	1	1	2	3	1	1		10	95	69	83.0
女					5	8	12	23	16	4	68	103	75	90.8
計			1	1	6	10	15	24	17	4	78			89.8

②在所期間の状況

福寿園 基準日 (令和4年3月31日現在)

期間	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	計	1人当たり平均在所期間
性別								
男	8	10	3	3	1	0	25	2年7ヶ月
女	27	33	23	13	0	0	96	2年8ヶ月
計	35	43	26	16	1	0	121	2年8ヶ月

やすらぎ荘

期間	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	計	1人当たり平均在所期間
性別								
男	4	10	7	2	1	0	24	3年4ヶ月
女	14	29	17	11	4	0	75	3年4ヶ月
計	18	39	24	13	5	0	99	3年4ヶ月

いなみ

期間	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	計	1人当たり平均在所期間
性別								
男	7	4	3	1	0	0	15	1年10ヶ月
女	21	11	10	10	2	1	55	3年6ヶ月
計	28	15	13	11	2	1	70	3年1ヶ月

きらら

期間	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上	計	1人当たり平均在所期間
性別								
男	2	3	4	2	0	0	10	3年1ヶ月
女	18	29	13	4	13	1	68	3年0ヶ月
計	20	32	17	6	13	1	78	3年0ヶ月

③外泊の状況

福寿園

年0回	年1回	年2回～5回	年6回～11回	年11回以上
人	人	人	人	人
121				

やすらぎ荘

年0回	年1回	年2回～5回	年6回～11回	年11回以上
人	人	人	人	人
99				

いなみ

年0回	年1回	年2回～5回	年6回～11回	年11回以上
人	人	人	人	人
70				

きらら

年0回	年1回	年2回～5回	年6回～11回	年11回以上
人	人	人	人	人
78				

④-1 日常生活の状況

ア 障害高齢者の日常生活自立度

福寿園		基準日 (令和4年3月31日現在)									
		区分	正常	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
実数	人				5	13	24		57	5	17
割合	%	0.0	0.0	0.0	40.1	10.7	20.0	47.1	4.1	14.0	

やすらぎ荘

区分	正常	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
実数	人			1	13	13	51	1	20
割合	%	0.0	0.0	1.0	13.1	13.1	51.5	1.0	20.2

いなみ

区分	正常	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
実数	人				6	17	34	3	10
割合	%	0.0	0.0	0.0	8.5	24.3	48.6	4.3	14.3

きらら

区分	正常	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
実数	人		1	2	3	10	43	8	11
割合	%	0.0	1.3	2.6	3.8	12.8	55.1	10.3	14.1

生活自立	ランク	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。
生活自立	ランク J	1. 交通機関等を利用して外出する。 2. 隣近所なら外出する。
準寝たきり	ランク A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしに外出しない。 1. 介助により外出し、日中はほとんどベットのから離れて生活する。 2. 外出の頻度が少なく日中も寝たきりの生活をしている。
寝たきり	ランク B	屋内での生活はなんらかの介助を要し、日中もベット上での生活が主体であるが、座位を保つ。 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベットから離れて行う。 2. 介助により車いすに移乗する。
	ランク C	一日中ベット上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する。 1. 自力で寝返りをうつ。 2. 自力では寝返りも出来ない。

イ 認知症高齢者の日常生活自立度

基準日（令和4年3月31日現在）

区分	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
実数	2	3	4	14	51	24	22	1
割合	1.7	2.5	3.3	11.6	42.1	19.8	18.2	0.8

やすらぎ荘

区分	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
実数		1	1	5	58	9	25	
割合	0.0	1.0	1.0	5.1	58.6	9.1	25.3	0.0

いなみ

区分	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
実数	1		1	8	19	12	27	2
割合	1.4	0.0	1.4	11.4	27.2	17.1	38.6	2.9

きらら

区分	正常	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
実数		1		14	26	14	20	3
割合	0.0	1.3	0.0	17.9	33.3	17.9	25.7	3.9

ランク	判定基準
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にはほぼ自立している。
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。

④-2 日常生活の状況

基準日 (令和4年3月31日現在)

	食事		起坐		立ち上がり		排泄		着脱衣		入浴		歩行		体位変換		車椅子使用								
	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	自立	一部介助	自分で可	一部介助	全部介助						
福寿園	実数	29	25	46	14	36	71	2	37	82	1	47	73	0	27	94	2	16	103	24	26	71	8	12	101
	割合	45%	24%	21%	38%	12%	30%	58%	2%	30%	68%	1%	39%	60%	0%	22%	78%	2%	13%	85%	20%	21%	59%	7%	10%
やすらぎ荘	実数	28	35	36	28	53	16	28	28	68	4	35	60	0	33	66	6	14	79	23	18	58	7	14	78
	割合	28%	35%	18%	28%	16%	28%	3%	28%	69%	4%	35%	61%	0%	33%	67%	6%	14%	80%	23%	18%	59%	7%	14%	79%
いなみ	実数	37	12	23	19	18	35	9	23	40	2	26	44	0	15	57	1	20	51	24	8	40	10	15	47
	割合	51%	17%	26%	25%	23%	32%	45%	3%	47%	50%	3%	36%	61%	0%	21%	79%	1%	28%	71%	33%	11%	56%	14%	21%
きらら	実数	35	15	28	15	18	45	7	24	47	1	21	56	0	10	68	1	6	71	23	6	49	1	15	59
	割合	45%	19%	19%	23%	9%	31%	60%	1%	32%	67%	1%	27%	72%	0%	13%	87%	1%	8%	91%	29%	8%	63%	1%	20%

- ①食事
 - ・自立 自分で食事ができる。
 - ・一部介助 スプーン等を使用し一部介助すれば食事ができる。
 - ・全部介助 自分で全くできないのですべて介助しなければならない。
- ②起坐
 - ・自立 自分でベッド上で起坐でき、坐位保持ができる。
 - ・一部介助 少し手を貸せば、ベッド上で起坐でき、坐位保持ができる。
 - ・全部介助 自分で全くできないのですべて介助しなければならない。
- ③立ち上がり
 - ・自立 自分で立ち上がれる。
 - ・一部介助 少し手や肩を貸せば立ち上がれる。
 - ・全部介助 自分で全くできないのですべて介助しなければならない。
- ④排泄
 - ・自立 自分で昼夜とも便所又は簡易便器を使つてできる。
 - ・一部介助 介助があれば簡易便器でできる。
 - ・全部介助 自分で全くできないのですべて介助しなければならない。
- ⑤着脱衣
 - ・自立 自分で着脱ができる。
 - ・一部介助 少し手を貸せば着脱できる。
 - ・全部介助 自分で全くできないのですべて介助しなければならない。
- ⑥入浴
 - ・自立 自分で入浴でき洗える。
 - ・一部介助 自分で入浴できるが、洗うときや浴槽の出入りに介助を要する。
 - ・全部介助 自分で全くできないのですべて介助しなければならない。
(例えば特殊浴槽を利用している場合など)
- ⑦歩行
 - ・自立 5m以上を時間がかかっても自分で歩ける。
 - ・一部介助 杖等を使用したり、手や肩を貸せば歩ける。
 - ・全部介助 歩行不可能。
- ⑧体位変換
 - ・自立 自分で体位変換できる。
 - ・一部介助 少し手を貸せば体位変換できる。
 - ・全部介助 自分で全くできないのですべて介助しなければならない。
- ⑨車椅子使用
 - ・自分で可 自分で乗り降りができ、移動のための操作もできる。
 - ・一部介助 乗り降りを介助してもらい、移動のための操作は自分でできる。
 - ・全部介助 全て介助してもらえば車椅子を使用できる。

⑤要介護度別

基準日（令和4年3月31日現在）

福寿園

	自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
利用者数(人)				1	25	50	45	121	4.15
構成比	0%	0%	0.0%	0.8%	20.7%	41.3%	37.2%	100%	

やすらぎ荘

	自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
利用者数(人)					11	48	40	99	4.29
構成比	0%	0%	0%	0%	11.1%	48.5%	40.4%	100%	

いなみ

	自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
利用者数(人)					17	31	22	70	4.07
構成比	0%	0%	0%	0.0%	24.3%	44.3%	31.4%	100%	

きらら

	自立	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
利用者数(人)			1		14	30	33	78	4.21
構成比	0%	0%	1.3%	0.0%	17.9%	38.5%	42.3%	100%	

⑥預り金の状況

基準日（令和4年3月31日現在）

福寿園

利用者数	預り人数	預り金総額	1人平均	個人別	
				最高額	最低額
121人	2人	1,736,672円	868,336円	1,442,298円	294,374円

やすらぎ荘

利用者数	預り人数	預り金総額	1人平均	個人別	
				最高額	最低額
99人	2人	2,769,110円	1,384,555円	2,515,334円	253,776円

いなみ

利用者数	預り人数	預り金総額	1人平均	個人別	
				最高額	最低額
68人	0人	0円	0円	0円	0円

きらら

利用者数	預り人数	預り金総額	1人平均	個人別	
				最高額	最低額
78人	4人	62,044,229円	15,511,057円	54,253,139円	953,132円

(5) 利用者の援助状況

①リハビリテーションの実施方針・実施状況

福寿園

[実施方針]

・看護職員等によるフロアでのベッドサイドのリハビリテーション、介護職員や多職種と共に行う機能訓練の施行

	種目	内容	対象人員	一週間当たり 実施回数	参加状況			一日当たり 参加人員	担当	
					時々参加	半分以上参加	毎回参加		職種	保有資格名
リハビリ的	作業療法	作業訓練 関節可動域訓練	100人	5回	71人	10人	10人	25人	作業療法士 看護職員 介護職員	作業療法士 看護師・准看護師 介護福祉士
	理学療法	機能訓練 関節可動域訓練	80人	7回	70人	21人	15人	16人	理学療法士 看護職員 介護職員	理学療法士 看護師・准看護師 介護福祉士
発声練習等			106人	7回	70人	20人	14人	18人	看護職員 介護職員	看護師・准看護師 介護福祉士

やすらぎ荘

[実施方針]

・個別訓練プログラムに添った機能回復訓練の実施、継続によりADLの低下防止に努め、充実した生活の支援

	種目	内容	対象人員	一週間当たり 実施回数	参加状況			一日当たり 参加人員	担当	
					時々参加	半分以上参加	毎回参加		職種	保有資格名
リハビリ的	作業療法	作業訓練 音楽療法	99人	5回	99人			19人	看護職員 介護職員	看護師・准看護師 介護福祉士
	理学療法	平行棒内歩行 階段昇降 関節可動域訓練	99人	5回	99人			19人	理学療法士 看護職員	理学療法士 看護師・准看護師
その他	その他	口の運動 発声練習 タッピング パズル	99人	7回			99人	99人	看護職員 介護職員	看護師・准看護師 介護福祉士

いなみ

[実施方針]

・個別評価を基に、機能の維持、向上を図る
・生活リズムの正常化とコミュニケーションの場の提供をする

	種目	内容	対象人員	一週間当たり 実施回数	参加状況			一日当たり 参加人員	担当	
					時々参加	半分以上参加	毎回参加		職種	保有資格名
リハビリ的	作業療法	絵画制作 音楽療法 回想法	70人	3回	60人		10人	25人	作業療法士 看護職員 介護職員	作業療法士 看護師・准看護師 介護福祉士
	理学療法	滑車 関節可動域訓練	70人	5回	70人			18人	機能訓練士 看護職員 介護職員	理学療法士 柔道整復師 看護師・准看護師 介護福祉士
口腔リハビリ・嚥下体操			70人	7回			70人	70人	看護職員 介護職員	看護師・准看護師 介護福祉士

きらら

[実施方針]

・個別に評価を行い、現在のADLの維持向上を図る

	種目	内容	対象人員	一週間当たり 実施回数	参加状況			一日当たり 参加人員	担当	
					時々参加	半分以上参加	毎回参加		職種	保有資格名
機能訓練	作業	絵画制作 音楽療法 回想法	80人	1~2回	70人		10人	20人	看護職員 介護職員	看護師・准看護師 介護福祉士
	理学	機能訓練 関節可動域訓練	80人	1~2回	80人			20人	理学療法士 看護職員 介護職員	理学療法士 看護師・准看護師 介護福祉士
	その他	口腔リハビリ 脳トレ	80人	7回			80人	80人	看護職員 介護職員	看護師・准看護師 介護福祉士

②リハビリ機器等の保有及び使用状況

福寿園

リハビリ機器名	保有台数	1週間当たりの使用回数
平行棒	1台	3回
頭上滑車	1台	2回
肋木	1台	
階段昇降機	1台	

やすらぎ荘

リハビリ機器名	保有台数	1週間当たりの使用回数
平行棒	1台	2.67回
訓練用昇降階段	1台	1.13回

いなみ

リハビリ機器名	保有台数	1週間当たりの使用回数
移動式平行棒 (4m)	1台	
姿勢矯正鏡	1台	
頭上滑車交互運動器	6個	5回
階段昇降	1台	
免荷式リフト	1台	

きらら

リハビリ機器名	保有台数	1週間当たりの使用回数
平行棒	1台	3回
階段昇降	1台	

③身体拘束廃止に向けた取り組み状況

福寿園

身体拘束廃止委員会等の設置	毎月1回の実施と緊急時に開催
施設での改善計画等の作成	週1回、ミニカンファレンスを開き今後の進め方を検討し記録。2か月毎に一覧表にまとめ、身体拘束廃止委員会で個別事例に廃止を検討し、協議結果を主務者会議で再協議し各部署に配布。
身体拘束に関する記録の作成	やむを得ない理由、拘束時間、拘束状況を記録
運営規定における手続きの定め	危機管理の徹底として事業計画書に明記 ※利用契約書第8条に明記

やすらぎ荘

身体拘束廃止委員会等の設置	平成16年10月1日設置 毎月1回の実施と緊急時に開催
施設での改善計画等の作成	経過観察の記録より、必要に応じてカンファレンスを開き、今後の進め方を検討し記録して行く。また、毎月の身体拘束廃止委員会で個別事例について廃止を検討し、改善・変更等を家族に説明した。
身体拘束に関する記録の作成	身体拘束の緊急やむを得ない理由、方法、時間帯、心身の状況、家族利用者説明、経過観察を記録している。
手続きの定め	※利用契約書第8条、及び、身体拘束に関する指針に明記

いなみ

身体拘束廃止委員会等の設置	平成15年度に設置 隔月に1回の実施と緊急時に開催
施設での改善計画等の作成	経過観察の記録より、1週間を別途にミニカンファレンスを開き再検討し、改善・変更等を家族に説明する。委員会で個別事例について廃止を検討する。
身体拘束に関する記録の作成	身体拘束の緊急やむを得ない理由、方法、時間帯、心身の状況、家族利用者説明、経過観察の記録
手続きの定め	※利用契約書第8条、及び、身体拘束に関する指針に明記

きらら

身体拘束廃止委員会等の設置	毎月1回の実施と緊急時に開催
施設での改善計画等の作成	週1回、ミニカンファレンスを開き今後の進め方を検討し記録を行う。2か月毎に一覧表にまとめ、委員会で個別事例について廃止を検討し家族に説明を行う。
身体拘束に関する記録の作成	やむを得ない理由、拘束時間、拘束状況、経過観察を記録し家族に説明し同意を得る。
手続きの定め	利用契約書第8条 及び 身体拘束に関する指針に明記

④おむつ外し、排泄、おむつ交換及び体位変換に関する方針並びに取り組み・工夫等

福寿園

ア. おむつ外し、排泄、おむつ交換及び体位変換に関する方針並びに取り組み・工夫等

①おむつ使用者に対するおむつ外しのためのポータブル介助やトイレへの誘導策の働きかけ及び取り組みの方法

・立位可能な利用者には本人の排泄パターンに合わせてトイレ又はポータブルトイレ誘導と排泄介助を行っている。

②排泄経過把握のための記録の整備

・24H一覧表を作成し、日々の排尿・排便のパターンに合わせトイレ誘導し、排尿・排便を促し下剤の使用を控えている。

③おむつ交換時の衝立、カーテンの活用

・多床室はプライバシーカーテンを使用し、居室やトイレの戸は必ず閉めている。

④おむつ交換時、清潔なタオルでの清拭や、皮膚の状態・床ずれの有無などの肌の異常及び尿・便の異常に対する観察

・交換毎に温めた清拭用使い捨てタオルで清拭し、臀部等の皮膚の観察や排泄物の観察、微温湯（洗浄液）での洗浄も行う。異常があれば看護職員に連絡している。

⑤おむつ交換時の体位変換に対する配慮

・おむつ交換後は体位変換を行い、良肢位確保をしている。

⑥おむつ交換時の換気に対する配慮

・おむつ交換した排泄物はその場でビニール袋に入れ臭いや、感染対策に配慮し、その後は換気を行っている。

⑦その他

・オゾン脱臭機を導入し、効果的な使用を心掛けている。

・本人から排泄の訴えがあった時はできる限り、トイレやポータブルトイレ介助を行っている。

・紙オムツの種類や組合せ等を検討、利用者に有ったおむつの当て方等勉強会を開催し尿便の漏れを減少させコスト削減に努めている。

・おむつ交換時、職員は使い捨てエプロンを着用し、感染症の感染対策に努めている。

イ. おむつ交換及び体位変換の実施状況

おむつ	対象人員	回数	定 時		随 時			1日平均回数	最 高	最 低
			おむつ交換、体位変換を行う時刻	おむつ交換、体位変換を行う時刻	1人当り1日平均回数	最	高			
常 時	64人	3回～4回	5:00	8:30 20:00	3	4	3			
			13:30							
夜間のみ	33人	1回～2回	22:00	5:00	2	2	1			
褥瘡者	1人	6回	6:00	2:00						
			10:00	14:00						
その他	69人	5回	5:00	2:00	5	5	5			
			13:30	19:30						
			23:00	23:00						

ウ. トイレ誘導の実施状況

対象人員	1日平均トイレ又はポータブルトイレの誘導回数
常時	62
昼間のみ	48
	7～8回
	5～6回

やすらぎ荘

ア. おむつ外し、排泄、おむつ交換及び体位変換に関する方針並びに取り組み・工夫等

①おむつ使用者に対するおむつ外しのためのポータブル介助や、トイレへの誘導策の働きかけ及び取り組みの方法

- ・排泄毎に記録し、個々の排泄パターンに添ってのトイレ誘導など、おむつゼロを目指し支援している。
- ・立位不安定な方はスタンディンググリフトを使用しトイレでの排泄援助に繋がっている。
- ・トイレ前方ボード（跳ね上げタイプ）を使用し安定した姿勢で排泄できるように努めている。

②排泄経過把握のための記録の整備

- ・個々の24時間の一覧表と、介護明細に排泄状況を記録し経過を把握している。また形状、量、下剤投与についても記録している。

③おむつ交換時の衝立、カーテンの活用

- ・多床室はプライバシーカーテンを使用している。また居室やトイレの戸は閉めプライバシーの配慮をしている。

④おむつ交換時、清潔なタオルでの清拭や、皮膚の状態・床ずれの有無などの肌観察及び尿・便の異常に対する観察

- ・常時温めた清拭用拭き布を準備し清拭している。必要に応じては洗浄も行い、皮膚の観察と異常等の早期発見に努め医療と連携している。

⑤おむつ交換時の体位変換に対する配慮

- ・安楽な姿勢をとるよう配慮し、良肢位確保や体位変換に努めた。

⑥おむつ交換時の換気に対する配慮

- ・汚物はその場ですぐに袋に入れる等臭いの元を断つ工夫をしている。おむつ交換直後は換気や消臭に努めた。

⑦その他

- ・本人の状態（皮膚・尿量等）を把握し、紙おむつの種類や組み合わせ等の検討を行い、本人に合ったおむつを提供した。
- ・新製品の紙おむつ等のモニターを行い、コスト削減に努めた。
- ・自然排便を促すためにヨーグルト、オリゴ糖等食物繊維を取り入れる工夫に努めた。
- ・オゾン脱臭機を導入し効果的に使用している。
- ・職員は使い捨てエプロンを着用する等、新型コロナウイルス感染対策に努めた。

イ. おむつ交換及び体位変換の実施状況

基準日（令和4年3月31日現在）

おむつ	対象人員	回数	定 時		1人当たり 1日平均 回 数	随 時			1日平均トイレ又は ポータブルトイレの 誘導回数
			おむつ交換、体位変換 を行う時刻	おむつ交換、体位変換 を行う時刻		最 高	最 低	最 低	
常 時	58人	4回	0:00 4:00 11:00 17:00 22:00	2:00 6:00 14:00 20:00	4	5	3	3	8回
夜間のみ	15人	1回	個々に合わせた時間		2	3	0	0	
褥瘡者	1人	9回	個々に合わせた時間		9	9	9	9	5回
その他	54人	7回	0:00 4:00 10:00 16:00 22:00	2:00 6:00 14:00 20:00	8	11	3	3	4回

ウ. トイレ誘導の実施状況

対象人員	1日平均トイレ又は ポータブルトイレの 誘導回数
常時	30人
昼間のみ	23人
夜間のみ	3人

いなみ

了。おむつ外し、排泄、おむつ交換及び体位変換に関する方針並びに取り組み・工夫等

①おむつ使用者に対するおむつ外しのためのポータブル介助やトイレへの誘導策の働きかけ及び取り組みの方法
必要な方には「排泄誘導表」を作成して本人の排泄パターンを把握し、その日の様子を考慮しながらトイレ誘導を行い、排泄の自立支援を行っている。
立位が取れない方にはスタンディングリフトを使用し、便器に座り排泄につながるよう介助している。安定した前傾姿勢で便器に座るために排泄補助機器「ふんばる君」も使用している。また、オムツ全介助で入所された利用者に対してトイレで排泄できる取り組みを行っている。

②排泄経過把握のための記録の整備

月全体として「排便表」を作成し、細かく排便の有無を把握している。また形状、量の記録の統一、排便座薬挿入、緩下剤投与を記録し一人ひとりの排泄パターンの情報を多職種で情報共有している。

③おむつ交換時カーテンの活用
できるだけ自然排便になるように排便の有無を確認しながら状況に合わせ、緩下剤投与を急がず半日から一日待つようになっている。

④おむつ交換時、陰部洗浄や清拭を行う。また保湿度クリームを塗布して皮膚の状態・床ずれの有無などの肌の状態・尿・便の異常に対する観察をする。

⑤おむつ交換時の体位変換に対する配慮
感染予防のため、交換時は蒸した使い捨てポディタオルで清拭し、皮膚の状態と排泄物を観察し、異常あれば看護師に連絡し予防と治療に協力している。

⑥おむつ交換時に体位を変換し良肢位を確保する。また、必要があれば分かりやすい場所に体位変換表を掲げ、職員への周知徹底を図っている。

⑦その他

⑧おむつ交換時の換気に対する配慮
ビニル袋を準備し汚染パット等をその都度処分できるようにしている。おむつ交換後、窓を開け換気や消臭に努めている。

⑨おむつ交換台車は汚物処理室内に置き、各室には清拭バケツ・使い捨てポディタオルのみを持って入り排泄介助を行いプライバシーに配慮している。
下剤だけに頼らずオリゴ糖、ビフィズス菌やファイバーを摂取して自然な排便を促している。オゾン脱臭機を使用し臭いに配慮する。
本人の状態にあった紙おむつやパットの吸収量の検討を行い、また様々なオムツ等を試行し変更して品質とコスト面で改善を図った。

イ. おむつ交換及び体位変換の実施状況

おむつ	対象人員	回数	時		1人当り 1日平均 回数	時			
			おむつ交換、体位変換 を行う時刻	定		随	最	高	最
常時	26人	3回	9:00 19:00	13:00	3	5	3	1	3
			4:00						
夜間のみ	20人	2回	2:00 6:00 11:00 16:00 21:00	4:00 9:00 13:00 19:00 23:00	10回	9	11	9	9
			1:00 4:00 9:30 14:30 19:00 23:30						
褥瘡者	1人	10回							
体位変換	33人	9回							

基準日 (令和4年3月31日現在)

ウ. トイレ誘導の実施状況

対象人員	1日平均トイレ又は ポータブルトイレの 誘導回数
15人	8回
33人	6回
0人	

さらに

ア. おむつ外し、排泄、おむつ交換及び体位変換に関する方針並びに取り組み・工夫等

- ①おむつ使用者に対するおむつ外しのためのポータブル介助やトイレへの誘導策の働きかけ及び取り組みの方法
- ・立位可能な利用者には本人の排泄パターンに合わせてトイレ又はポータブルトイレ誘導と排泄介助を行っている。
- ・立ち上がりが困難な利用者にはスタンディングマシーンで立ち上がりを支援しトイレでの排泄介助を行っている。
- ②排泄経過把握のための記録の整備
- ・24時間一覧表を作成し、日々の排尿・排便のパターンに合わせトイレ誘導し排便を促し下剤の使用を控えている。
- ・新規入所者や随時 尿量測定実施し排泄パターンを知りパットの検討や誘導時間の検討を行っている。
- ③おむつ交換時の衝立、カーテンの活用
- ・プライバシーカーテンを使用している。
- ④おむつ交換時、清潔なタオルでの清拭や、皮膚の状態・床ずれの有無などの肌の異常及び尿・便の異常に対する観察
- ・交換毎に温めた清拭用拭き布で清拭し、臀部等の皮膚の観察や排泄物を観察し、異常があれば看護職員に連絡している。
- ⑤おむつ交換時の体位変換に対する配慮
- ・おむつ交換後は体位変換を行い、良肢位確保をしている。
- ⑥おむつ交換時の換気に対する配慮
- ・おむつ交換した排泄物はその場で包み、その後換気を行っている。
- ⑦その他
- ・本人から排泄の訴えがあった時はできる限り、トイレやポータブルトイレ介助を行っている。
- ・オリゴ糖を使い自然排便を促している。

イ. おむつ交換及び体位変換の実施状況

おむつ	対象人員	回数	定 時		基準日 (令和4年3月31日現在)		
			おむつ交換、体位変換を行う時刻	1人当日1日平均回数	最 高	最 低	時
常 時	52人	3~4回	5:00	3	5	3	低
			10:00 14:00				
夜間のみ	6人	2回	0:00	2	2	1	
褥瘡者	1人	12回		11	12	10	
その他	57人	6回	2時間ごと	6	10	4	

ウ. トイレ誘導の実施状況

	対象人員	1日平均トイレ又はポータブルトイレの誘導回数
常時	20人	6~7回
昼間のみ	6人	4~5回
夜間のみ	0人	無

⑤クラブ活動・フロア（ユニット）活動報告

福寿園

春風・清風フロア

実施日	活動内容
5月1日	身体を動かしてリフレッシュ
5月中	「あじさい」吊るし飾り
6月1日	花壇作り
6月～	短冊作り
7月1日	散歩
7月9日	デザートバイキング
7月20日	カレーライス作り
8月23日	フルーツポンチ作り
8月29日	夏のゲーム大会
9月24日	手作りおやつ
9月～	紙コップウサギ作り
11月16日	たこ焼きパーティー
10月21日	ドライブ
10月20日	サツマイモ粥
11月～	クリスマス貼り絵
12月12日	紙芝居
12月21日	クリスマスを楽しもう
1月1日	足湯
1月13日	和風パフェ
2月～	ひなまつり吊るし飾り
3月8日	百歳祝い
3月～	桜さがり

果物を盛り付けたり、時につまみ食いをしながら楽しく季節のおやつ作りが行えた。作品作りでは出来るところを一緒に行ったり見学したりして関わられた。外出の機会がほとんどなかったがテラスに出ることで気分転換が図れた。

快風・紀風フロア

実施日	活動内容
4月6日～9日	お散歩（施設内）
4月27日	パンケーキ作り
5月19日	紙芝居・フルーチェを作ろう
6月10日～30日	七夕飾りを作ろう
6月22日～25日	金魚すくいを楽しもう
7月07日	生け花・フラワーアレンジメント
7月21日	アイスクリームを食べよう
8月16日	かき氷作り
8月01日～31日	ビーチボールで体操を行う
9月13日～26日	秋の壁面作り
9月06日～27日	秋を探しに行こう！
10月16日	シャボン玉を飛ばそう！
10月18日～31日	いろんな作品を見に行こう！
11月03日～30日	♪歌を歌おう
11月03日～30日	来年の干支（寅）のパネル作り
12月24日	Xmasケーキを食べクリスマスを楽しもう
12月24日	色々な入浴剤を入れ温泉気分を味わおう
1月3日～15日	書初め
1月23日～31日	福笑い
2月04日	豆まきをしよう！
2月04日～11日	紙芝居を楽しもう
3月01日	ひな祭り会
3月01日～10日	リハビリ体操

フロア活動は、毎回色々な内容を考え、四季を感じてもらえるものを実施した。また実施期間を長くし、ゆったりと行える活動を多く取り入れた。お菓子作りや体操・作品作り等、作って食べる楽しみ、身体を動かす機会を設ける、また手先を使い作品作りに取り組む等、色々喜びを感じられるよう工夫した。

恵風・和風フロア

実施日	活動内容
4月21日	手作りシチューで温まろう
5月21日	フルーツポンチ作りをしよう
6月17日	花菖蒲見学ドライブ
6月4日～6日	季節の花の植え付けをしよう
7月9日	たこ焼きパーティー
7月16日	植物園見学ドライブ
8月8日	夏祭り気分を味わおう
9月天気の良い日	シャボン玉を飛ばそう
10月8日	コスモスドライブ
10月20日	植物園見学ドライブ
11月17日	チューリップ球根植え
12月22日	クリスマス会
1月16日	書初め
2月04日	豆まき
2月13日～19日	ハンドマッサージ
3月23日	春のお茶会
3月7日～18日	足浴&マッサージ

コロナが流行していたが、落ち着いている時期を見つけドライブにも行くことができた。大きな行事はできなかったが季節の行事を小さい規模で工夫して行い、利用者の皆様に楽しんでもらえたと思う。ハンドマッサージでは顔パックもし、女性利用者には大変喜んでいただけた。どの行事でも笑い声が聞こえた1年であった。

松風・光風フロア

実施日	活動内容
4月07日～13日	花見（園庭散歩）
5月08日	詩吟（紙芝居）
5月22日	パンケーキ作り
6月18日	イオンモールとなみショッピング
6月10日～24日	七夕飾り
7月01日～15日	うちわ作り
8月14日	スイカ割り
9月24日	おやつバイキング
10月11日	ドライブ（コスモスウォッチング）
11月06日	詩吟（合唱ソッド・フォチェ）
11月11日～15日	ふれあい文化祭合唱練習
12月02日～06日	クリスマスツリー飾り付け
12月24日	クリスマスケーキ作り
1月03日	書初め
2月22日	手浴・おしろこ ふるまい
3月18日	おやつ作り（里芋おはぎ）
3月20日	おやつ作り（ゼリーにトッピング）

フロアが華やかになるような作品を利用者も交えて制作し季節ごとに飾ることができた。おやつ作りでは利用者の方にも手伝ってもらい楽しく作ることができた。普段あまり食べられない方も「美味しい」とお代わりされたこともあった。車から降りなければ外出してもよいと言われ、利用者の自宅を見にドライブに出かけることができた。偶然、自宅前にいらしゃったご家族様に会うこともでき参加された方は皆さん「楽しかった」と喜んでいただけた。

陽風フロア

実施日	活動内容
4月22日	ブルーインパルスを見ながら昼食を楽しむ
4月22日	おやつを作ろう
月1日～5月30日	あじさい貼り絵
5月28日	カラオケ大会
6月14日	外で昼食を楽しむ
6月後半	七夕に向けて短冊に願いを書こう
7月7日	七夕の集い
7月26日	運動後喫茶サービス
8月16・17日	ふるさとを訪ねて
9月13日	敬老お茶会
10月29日	満百歳お祝い会
11月2日	ドライブ
12月24日	クリスマス会
12月25日	年賀状作り
1月2日	書初め
2月3日	節分
3月3日	ひな祭り
<p>外出の機会が減った為、外での活動（ブルーインパルス見学・外での食事・ふるさとを訪ねて・ドライブ）などを実施した。普段見せられないような笑顔や「楽しかった」「また行きたい」などの声を多く聞くことが出来た。コロナでフロアに閉じこもった生活がまだまだ続くと思われるので、普段とは違った刺激のある活動に取り組んだ。</p>	

薫風フロア

実施日	活動内容
4月15日	駄菓子すくい
4月中旬～5月中旬	お花見
5月18日	駄菓子すくい第2弾
6月1日	歌謡ショー
6月13日	七夕飾り作り
6月26日	歌謡ショー
6月27日	くじびき大会
7月中	夏の貼り絵
8月3日	薫風夏まつり
9月4日	ボール遊びゲーム
10月27日	どらやき作って食べよう
11月15日	大学芋作り
12月19日	クリスマス会
1月13日	富山弁かるたで楽しもう
2月2日	節分豆まき
3月11日	チョコバナナ作り
<p>フロア行事とは別に、出来る日は午後からレクリエーションを30分程度行った。ホワイトボードで脳トレ（言葉クイズ、数字クイズ、いろんなしりとり等）を行い、利用者の生き生きとした姿が見ることが出来た。ユニット費で購入した紙芝居も楽しみにして下さる方も増えた。</p>	

いなみ

フロア活動報告

桜フロア

実施日	活動内容
4月	桜見学、花祭り、鯉のぼり飾り
5月	新緑散策、パンザイ (チャレンジデー)
6月	ドライブ、花の苗植え、菖蒲見学、じゃんけん (チャレンジデー)、花嫁のれん展
7月	七夕飾り、鮎の塩焼き、カラオケ、回想法 (夏野菜)、街並みドライブ、壁面装飾作り (朝顔)
8月	魚釣りゲーム、おやつ屋台
9月	ドライブ、挨拶 (チャレンジデー)
10月	焼き芋、コスモス見学、造花アレンジメント、習字、風船バレー
11月	壁面装飾作り、輪投げ、球根植え、七五三展、おやつクラブ (ラーメン作り)
12月	リズム体操・輪投げ体操、年賀状作成、クリスマス会
1月	初詣、ストラックアウト、初釜、振袖展
2月	節分、風船バレー、回想法 (昔の生活道具)
3月	ひな祭り会、歌を楽しむ会、回想法 (紙芝居)
◇総括 感染対策を行いながら、施設内やフロアで少人数で楽しめるレクリエーション活動を行った。おやつ屋台ではお祭りの雰囲気好きなおやつを選んで食べてもらうなどの工夫をして喜んでもらえた。コロナ禍の為、外出援助はドライブに変更し利用者の自宅付近や懐かしい街並みを見て季節を感じてもらった。来年度も感染対策を行いながら、日々の生活に楽しみや季節を感じる活動、利用者の状態や希望に沿った活動を提供していきたい。	

けやきフロア

実施日	活動内容
4月	桜見学、花祭り、鯉のぼり飾り、回想法・おやつクラブ (よもぎパンケーキ作り)
5月	新緑散策、パンザイ (チャレンジデー)
6月	ドライブ、花の苗植え、菖蒲見学、じゃんけん (チャレンジデー)、花嫁のれん展、よしなの胡麻和え作り
7月	七夕飾り、鮎の塩焼き、カラオケ、回想法 (夏野菜)、街並みドライブ
8月	しそジュース作り、魚釣りゲーム、おやつ屋台
9月	ドライブ、挨拶 (チャレンジデー)
10月	焼き芋、コスモス見学、造花アレンジメント、習字、風船バレー
11月	輪投げ、球根植え、七五三展
12月	リズム体操・輪投げ体操、年賀状作成、ゆず味噌作り、クリスマス会
1月	初詣、ストラックアウト、初釜、振袖展
2月	節分、風船バレー、回想法 (昔の生活道具)
3月	ひな祭り会、歌を楽しむ会、カップケーキ作り、回想法 (紙芝居)
◇総括 コロナ禍のため、行事を縮小したり感染対策をして、楽しみを感じてもらえるようフロア活動を行った。しそジュース、よしなど、季節を感じるのことの出来る、昔から馴染みのあるようなおかず作りを通して懐かしさも味わって頂けたと思う。次年度も、利用者の笑顔が1回でも多く見られるよう活動を提供していきたい。	

ひのきフロア

実施日	活動内容
4月	桜見学、花祭り、鯉のぼり飾り
5月	新緑散策、パンザイ (チャレンジデー)
6月	ドライブ、花の苗植え、菖蒲見学、じゃんけん (チャレンジデー)、花嫁のれん展
7月	七夕飾り、鮎の塩焼き、カラオケ、回想法 (夏野菜)、街並みドライブ
8月	魚釣りゲーム、おやつ屋台
9月	ドライブ、挨拶 (チャレンジデー)
10月	焼き芋、コスモス見学、造花アレンジメント、習字、風船バレー
11月	輪投げ、球根植え、七五三展
12月	リズム体操・輪投げ体操、年賀状作成、クリスマス会
1月	初詣、ストラックアウト、初釜、振袖展
2月	節分、風船バレー、回想法 (昔の生活道具)
3月	ひな祭り会、歌を楽しむ会、回想法 (紙芝居)
◇総括 おやつクラブでは、季節を感じるお菓子を見て食べて楽しんでもらう計画をたてていたが、感染予防のため中止とした。代わりにドライブで季節を味わってもらった。施設内ではレクリエーションを少人数で楽しめるよう工夫し提供した。来年度は感染対策を行いながらも、利用者個々の状態に応じて楽しみを感じられるよう、季節に合った活動を提供していきたい。	

楓フロア (短期入所)

実施日	活動内容
4月	桜見学、花祭り、鯉のぼり飾り
5月	ばんざい (チャレンジデー)
6月	花の苗植え、おやつクラブ (冷やしぜんざい)、じゃんけん (チャレンジデー)、花嫁のれん
7月	七夕飾りつけ、鮎の塩焼き、カラオケ大会、おやつクラブ (フルーツゼリー)、回想法 (夏野菜)
8月	魚釣りゲーム
9月	敬老の集い、回想法、おやつクラブ (きのこご飯)、あいさつ (チャレンジデー)
10月	風船バレー、焼き芋、おやつクラブ (サツマイモのチーズケーキ)、造花でアレンジメント
11月	球根植え、おやつクラブ (松茸のお吸物で炊き込みご飯)、七五三展
12月	おはぎ作り、クリスマス会、リズム体操と輪投げ
1月	初詣、振袖展、ストラックアウト、初釜
2月	節分 おやつクラブ (ホットチョコレート)、回想法 (昔の道具)
3月	ひな祭り会、歌を楽しむ会、おやつクラブ (ちらし寿司)
◇総括 毎月、季節の食材を使用し、おやつ・料理クラブを行い、季節を感じてもらえるよう工夫した。壁面装飾や塗り絵、パズル、などなど等を行い、レクリエーションもなるべく対面にならない工夫をして行った。感染対策を行いながらも楽しんでいただける活動を提供していきたい。	

(6) 給食の実施状況

福寿園

①給食に関する基本方針等

<ul style="list-style-type: none"> ・季節の食材や色彩・行事等を含む献立や家庭と変わらない食生活を過ごしていただく。 ・あすなろ保育園 園児への成長に応じた食事を提供する。 ・言語聴覚士による嚥下指導をうけ安全に食生活が送れるよう支援する。 ・利用者の身体状態に合わせた食事形態への対応に努める。 ・災害時に備え、備蓄食品を充実させる。

②栄養量等の状況

エネルギー (kcal)	たん白質 (g)	カルシウム (mg)	ビタミンC (mg)	1日当たり単価
1,569	52.0	660	100	750 円
1,558	68.8	656	86	722 円

①入所者がくつろいで食事出来るような配慮及び対応
 ・各フロアごとに 季節の装飾や喫食席に配慮し、ゆっくり食事ができる環境に努めた。
 ②入所者の身体状態に合わせた調理への配慮及び対応
 ・日本摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整食分類2013を基に、施設独自のコード・分類別嚥下調整食の提供に努めた。
 とろみは 強 (ジャム状) ・中 (はちみつ状) ・弱 (ポタージュ状) など個々にあった食事を提供する。
 ・言語聴覚士の指導を受け、食事形態や摂食動作を他職種と共有する。
 ・体調がすぐれない時や、義歯のないときなど その都度対応する。
 ・医師による食事箋を作成する。
 ・短期間で、著しい体重増減がある場合は食事内容の検討をする。
 ③食事が適温で食べられるような配慮及び対応
 ・保温保冷台車を導入し、食事を温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供した。
 ・また、保温保冷台車を導入していない7F7に関しては、保温食器で対応した。
 ・ユニットでは、主食 (全粥) を各フロアで炊き、香りや雰囲気を楽しむ。

④入所者の身体状態に応じた食事のための自衛具等の活用
 介護食器・食具等 品数をそろえて 必要者に活用する。

⑤食中毒対策
 ・食中毒警報期間は、感染症委員会を通し、利用者・職員に呼びかけ一層の注意を図る。
 ・調理従事者は 衛生教育の実施 (例：手洗い励行・清掃・消毒)

嗜好調査の実施方法	(回数 0 回、記録 有・無)
残食調査の実施方法	(回数 毎食、記録 有・無)
調査結果についての具体的な反映	介護職員が、その都度パソコンに入力 人気のあるメニューは、増やし、体調・嗜好に合わせ可 能な限り個人対応する。

③保存食の実施状況

保存食実施の有無	朝食	昼食	夕食
保存食実施の有無	有	有	有
保存日数	14日間		

(注) 「保存食実施の有無」欄は、その実施がある場合は「有」、ない場合は「無」をそれぞれ記入すること。
 また、「有」と記入した場合には保存日数を記入すること。

④検査の実施状況

検査時刻	検査者	記録の有無
朝食 7:20	当直者	計1人 有
昼食 11:50	施設長 看護職員 事務所職員	計1人 有
夕食 17:50	当直者	計1人 有

(注) 「検査者」欄は、職名を記入し、「計」欄には1回当たりの検査者数を記入すること。

⑤厚生センターの立入検査の状況

実施年月日	指導指示等の内容	左記に対する改善措置
無し		

(注) 本表は、基準日までの直近の検査実施年月日を記入すること。

⑥給食の運営方法

運営方法	・ 直 営
委託先名称 (※委託の場合)	日本梅給食株式会社
委託内容 (※委託の場合)	調理作業管理・労務管理・衛生管理・労働安全衛生

やすらぎ荘

①給食に関する基本方針等

<ul style="list-style-type: none"> 給食業務全般の運営・実施に関して検討し、食事の質の向上を図り喫食効果を高める。 季節の食材や行事食で食を楽しんでもらえるよう提供する。 言語聴覚士の指導のもと利用者の咀嚼・嚥下状態に合った食事の提供に努める。

②栄養量等の状況

	エネルギー (kcal)	たん白質 (g)	カルシウム (mg)	ビタミンC (mg)	1日当たり 単 価
本施設の栄養基準量	1,422	50	660	100	780円
基準月の1日当たりの平均栄養量	1,445	58.8	670	82	1,037円

①利用者がくつろいで食事のできるような配慮及び対応
落ち着ける環境を整え状況に合わせて調整を行う。

②利用者の身体状態に合わせた調理への配慮及び対応
医師による食事箋の作成。
言語聴覚士の指導のもと入居者の体調や食事摂取状況により食事形態や
内容を多職種と検討する。

③食事が適温で食べられるような配慮及び対応
保温保冷配膳車を使用し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく
提供する。
ユニットフロアでは主食を炊き、炊飯の香りや食事準備の雰囲気を楽しむ。

④利用者の身体状態に応じた食事のための自動具等の活用
介護用食器・介護用マグカップ・介護用スプーン数種類及び
入居者に合った大きさの使い捨てスプーン等の準備。

⑤食中毒対策
調理従事者の健康管理、衛生教育の実施。検収の徹底、調理品の温度管理
直前調理 室温湿度管理、冷凍庫・冷蔵庫の温度管理、食品に菌をつけな
い等細心の注意を払う。
食中毒注意報・警報期間に入居者・職員にも特に注意を呼びかける。

給食に関する方針等

嗜好調査の 実施方法	(回数 0回 記録 有 ・ (無))
残食(菜)調査 の実施方法	(回数 毎食 記録 (有) ・ (無))
調査結果についての 献立への具体的反映	調理済み食品をそのまま出すのではなく手を加えてでき るだけ食べやすい形状にして提供した。

③保存食の実施状況

	朝食	昼食	夕食
保存食実施の有無	有	有	有
保存日数	14日間		

(注)「保存食実施の有無」欄は、その実施がある場合は「有」、
ない場合は「無」をそれぞれ記入すること。
また、「有」と記入した場合には保存日数を記入すること。

④検査の実施状況

検査時刻	検査者	記録の有無
朝食 7:20	当直者	計 1人 有
昼食 11:50	施設長 看護・介護職 他 当直者	計 1人 有
夕食 17:50	当直者	計 1人 有

(注)「検査者」欄は、職名を記入し、「計」欄には1回当たりの検査者数を記入
すること。

⑤厚生センターの立入検査の状況

実施年月日	指導指示等の内容	左記に対する改善措置
令和3年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> 健康チェックで×となつた際 に、その内容や対応を記録するこ と。 調理済み食品の研修の際も、品 温などを記録すること。 検収室のドアのゴムパッキンが 劣化して垂れているため、補修す ること。 細菌検査の結果、4か所で雑菌 が検出された為、喫食に手が触れ る場所の清掃・消毒に留意するこ と。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染に関係のあるものを記入し ていく。 記入漏れが無いように記録す る。 検収時に記録する。 ゴムパッキンを補修した。 手の触れる箇所を重点的に ふき取り回数を増やした。 手洗いもこまめに行うこと を徹底した。

(注) 本表は、基準日までの直近の検査実施年月日を記入すること。

⑥給食の運営方法

運営方法	直 営	委 託
委託先名称 (※委託の場合)		
委託内容		

②給食に関する基本方針等

①給食に関する基本方針等

- 給食業務全般の運営・実施に関して検討し、食事の質の向上を図る。
- 季節の行事食を充実することで、利用者の笑顔や発語を引き出し、喫食効果を高める。
- 言語聴覚士等専門職の指導を受け、利用者の咀嚼・嚥下状態に合った食事を提供する。

③栄養量等の状況

エネルギー (kcal)	たん白質 (g)	カルシウム (mg)	ビタミンC (mg)	1日当たり単価
1,476	51.8	619	100	740円
1,540	57.6	669	103	753円

①利用者がくつろいで食事できるような配慮及び対応
 ・利用者が落ち着く環境づくりを心がける。

②利用者の身体状態に合わせた調理への配慮及び対応
 ・医師による食事量の作成
 ・利用者への食べ易い調理方法、味付けの検討を随時行い実行している。
 ・食事摂取量の減少・体調・嚥下状態等により、栄養補助食品の補給実施。
 ・摂取状況、状態の変化等にその都度対応できるように内外を問わず多職種と連携している。

③食事が適温で食べられるような配慮及び対応
 保温食器の使用と、飯椀はフロアで吹き、直前の盛り付けにより対応。
 選抜食の日には、食堂で調理を実施したり、鍋会食の日には、土鍋でフロアに運び、温かいものをそのまま提供した。

④利用者の身体状態に応じた食事のための自助具等の活用
 利用者に合った太さの食器、及び介護食器やグリップ付きスプーン、シリコンスプーン、コップ等の使用。

⑤食中毒対策
 調理従事者に対する衛生教育の実施
 衛生管理計画書に沿った、作業行程、調理器具の取扱い、健康調査、清掃等のチェック・記録をおこなう。
 ノロウイルス等食中毒に注意が必要な時期は、職員にも手洗いや、体調管理等を呼びかける。

嗜好調査の実施方法	(回数)回、記録	有・無
残食(菜)調査の実施方法	(回数)毎食、記録	有・無
調査結果についての献立への具体的反映	摂取量の状況・嗜好より、個々に応じて提供する食事内容、形態・量を随時検討し対応する。	

③保存食の実施状況

朝食	昼食	夕食
有	有	有
保存日数 14日間		

(注)「保存食実施の有無」欄は、その実施がある場合は「有」、ない場合は「無」をそれぞれ記入すること。
 また、「有」と記入した場合には保存日数を記入すること。

④検査の実施状況

検査時刻	検査者	記録の有無
朝食 7:30	介護士	計 1人
昼食 12:00	平日施設長又は事務長	計 1人
夕食 18:00	介護士	計 1人

(注)「検査者」欄は、職名を記入し、「計」欄には1回当たりの検査者数を記入すること。

⑤厚生センターの立入検査の状況

実施年月日	指導指示等の内容	左記に対する改善措置
令和4年1月11日	<ul style="list-style-type: none"> 盛や設備に当たる給水レバーの角度を調整し、当たらないようにすること。 細菌検査の結果、スチームコンベクション取手で雑菌が検出されたため、手指が頻繁に触れる場所の清拭・消毒に留意すること。 布巾の消費用に200ppmに調整した次亜塩素酸ナトリウムを使用しているが、立ち入り時100ppmに調整するため、調整方法を再確認すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 業者にレバーの調整をしてもらった。 コンベクションだけでなく、手指が頻繁に触れる場所の清拭・消毒に留意してもらった。 次亜塩素酸ナトリウムの調整方法や濃度を再確認してもらった。

(注)本表は、基準日までの直近の検査実施年月日を記入すること。

⑥給食の運営方法

運営方法	直営	委託
委託先名称	日本海給食株式会社	
委託内容	栄養管理・調理作業管理・材料管理・施設管理	
(※委託の場合)	労働管理・衛生管理・労働安全衛生	

さらに

①給食に関する基本方針等

・利用者において楽しくいただけるような季節感のあるメニューや郷土料理、行事食などを盛り込んだ食事を提供する。
 ・利用者の身体状態に合わせた食事を提供する。
 ・利用者の食事に対する意向を傾聴し、食事摂取意欲の維持に努める。
 ・感染症・食中毒予防に細心の注意を払う。

②栄養量等の状況

	エネルギー (kcal)	たん白質 (g)	カルシウム (mg)	ビタミンC (mg)	1日当たり 単価
本施設の栄養基準量	1,439	57	695	123	831円
基準月の1日当たりの平均栄養量	1,437	58	679	123	819円

①利用者の体調や身体状態に合わせた食事形態の提供
 ・食事形態は普通食、普通刻み食、ソフト食、ミキサー食、ゼリー食、鶏厚流動食を提供。
 ・歯槽や数本の自歯で摂取されている方もおられるため、安全を考慮し、柔らかく煮込んだ食事の提供、大きく食べにくいものは小さくわけて提供する等、配慮を行う。
 ・体重減少や体調不良による食事摂取量の減少時は補助食品を提供。
 ・言語聴覚士の指導のもと、多職種と連携し、利用者の食事形態や内容を検討。

②減塩食の対応
 ・心疾患の方には塩分6g以下/日の食事を提供。
 ③検査者のコメントを集計し、委託業者へ提示
 ・委託業者と連携し、よりよい献立づくりに努める。

④利用者の身体状態に応じた食事のための自助具等の活用
 ・介護食器・マグカップ・スプーン等の活用。

⑤食中毒対策
 ・調理従事者の衛生教育を実施。(例：手洗い励行・清掃・消毒)

嗜好調査の実施方法	(回数) 0回	記録	有	(無)
残食(菜)調査の実施方法	(回数) 毎食	記録	(有)	(無)
調査結果についての献立への具体的反映	残食の多い献立の見直し、改善委託業者へ反映していただけるよう意見を提示する。			

③保存食の実施状況

	朝食	昼食	夕食
保存食実施の有無	有	有	有
保存日数	14日間		

(注) 「保存食実施の有無」欄は、その実施がある場合は「有」、ない場合は「無」をそれぞれ記入すること。
 また、「有」と記入した場合には保存日数を記入すること。

④検査の実施状況

	検査時刻	検査者	記録の有無
朝食	7:20	夜勤介護職員	計 1人
昼食	11:20	日勤者	計 1人
夕食	17:20	夜勤介護職員	計 1人

(注) 「検査者」欄は、職名を記入し、「計」欄には1回当たりの検査者数を記入すること。

⑤厚生センターの立入検査の状況

実施年月日	指導指示等の内容	左記に対する改善措置
令和4年1月14日	<ul style="list-style-type: none"> 洗剤の容器に表示をすること。 消毒用具は、柄を上にして吊り下げて保管すること。 細検検査の結果、回転釜の手で細菌が検出されたため、手拭が頻りに触れる場所の清掃・消毒に留意すること。 	<ul style="list-style-type: none"> 調理従事者へ周知した。 調理従事者へ周知した。 調理従事者へ周知した。

(注) 本表は、基準日までの直近の検査実施年月日を記入すること。

⑥給食の運営方法

運営方法	直 営	委 託 (一部)
委託先名称 (※委託の場合)	㈱ナリココミュニケーションズ	
委託内容 (※委託の場合)	調理済み食事(チルド)の前日納品	

(7) 利用者の医療管理等の状況

福寿園

①利用者の診察状況

診療科目	施設医務室における診療			他の医療機関における診療			
	診療総数		左のうち保険請求を伴う診療 (医務室が保険医療機関の指定を受けている場合)	入院		通院	
	実人員	延診療日数		実人員	延診療日数	実人員	延診療日数
内科系疾患	142			48	1,153	18	37
外科系疾患	61			5	119	17	24
精神科				1	10	12	24
皮膚科						5	29
眼科						7	
歯科						2	
その他						4	
計	203			54	1,282	65	114

②協力医療機関の状況

医療機関名	南砺市家庭・地域医療センター (公営)	南砺市民病院 (公営)
診療科目	内科、整形外科	内科、循環器科、外科、胃腸科、小児科、肛門科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、婦人科、母乳育児相談、泌尿器科、皮膚科、脳神経外科、心療内科、精神科、放射線科、リハビリテーション科、透析センター
病床数	無	175床
施設からの距離	0分	5.0km・車で20分
契約の有・無	有	有
委託金額(年額)	無	無

(注) 協力医療機関が複数の場合には、それぞれ記入すること。

やすらぎ荘

①利用者の診療状況

診療科目	施設医務室における診療				他の医療機関における診療			
	診療総数		左のうち保険請求を伴う診療 (医務室が保険医療機関の指定を受けている場合)		入院		通院	
	実人員	延診療日数	実人員	延診療日数	実人員	延診療日数	実人員	延診療日数
内科系疾患	117	86			15	557	29	64
外科系疾患							23	74
精神科							13	82
皮膚科							9	40
眼科					2	8	7	35
歯科							5	15
その他					1	1	27	166
計	117	86			18	566	113	476

②協力医療機関の状況

医療機関名	南砺中央病院 (公営)	成瀬歯科医院 (私営)	根井クリニック (私営)
診療科目	内科、外科、消化器科、整形外科、小児科、脳神経外科、心療内科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、皮膚科、人間ドック、心療内科その他(透視穿刺、内視鏡、診療所代診医、訪問看護、嘱託医など)	歯科	内科
病床数	149 床	0 床	0 床
施設からの距離	0.5km・車で 1分	3.7km・車で 10分	3.1km・車で 10分
契約の有・無	有	有	有
委託金額 (年額)	無	無	無

(注) 協力医療機関が複数の場合には、それぞれ記入すること。

いなみ

①利用者の診療状況

診療科目	施設医務室における診療				他の医療機関における診療			
	診療総数		左のうち保険請求を伴う診療 (医務室が保険医療機関の指定を受けている場合)		入院		通院	
	実人員	延診療日数	実人員	延診療日数	実人員	延診療日数	実人員	延診療日数
内科系疾患	97	48			42	961	50	200
外科系疾患					0	0	15	31
精神科					0	0	11	90
皮膚科	31	12					3	4
眼科							4	11
歯科	35	50					3	6
耳鼻科							1	3
計	163	110	0	0	42	961	87	345

②協力医療機関の状況

医療機関名	南砺市民病院 (公営)	山本歯科クリニック (私営)	林歯科医院 (私営)
診療科目	内科、循環器科、外科、胃腸科、小児科、肛門科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、婦人科、母乳育児相談、泌尿器科、皮膚科、脳神経外科、心療内科、精神科、放射線科、リハビリテーション科	歯科	歯科
病床数	175床	0床	0床
施設からの距離	0.4km・車で1分	1km・車で5分	1km・車で3分
契約の有・無	有	有	有
委託金額 (年額)	無	無	無

(注) 協力医療機関が複数の場合には、それぞれ記入すること。

さらに

①利用者の診療状況

診療科目	施設医務室における診療				他の医療機関における診療			
	診療総数		左のうち保険請求を伴う診療 (医務室が保険医療機関の指定を受けている場合)		入院		通院	
	実人員	延診療日数	実人員	延診療日数	実人員	延診療日数	実人員	延診療日数
内科系疾患					17	372	50	82
外科系疾患					2	74	7	11
精神科					0		4	12
皮膚科					0		5	17
眼科					0		1	1
歯科					0		1	1
泌尿器科					0		4	60
計	0	0	0	0	19	446	71	184

②協力医療機関の状況

医療機関名	城端理休クリニック (私営)	山本歯科クリニック (私営)	公立南砺中央病院 (公営)	南砺市民病院 (公営)
診療科目	内科、外科、整形外科	歯科	内科、外科、消化器科、整形外科、小児科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、皮膚科、人間ドック、心療内科、その他(透折穿刺、内視鏡、診療所代診医、訪問看護、嘱託医など)	内科、循環器科、外科、胃腸科、小児科、肛門科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、婦人科、母乳育児相談、泌尿器科、皮膚科、脳神経外科、心療内科、精神科、放射線科、リハビリテーション科、透折センター
病床数	0床	0床	149床	175床
施設からの距離	0.4km・車で1分	10km・車で20分	5km・車で10分	12km・車で25分
契約の有・無	有	有	有	有
委託金額(年額)	無	無	無	無

(注) 協力医療機関が複数の場合には、それぞれ記入すること。

(8) 利用者の定期健康診断等の実施状況

①感染症及びインフルエンザ・新型コロナウイルス予防対策

福寿園

ア.メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)、結核、疥癬等の予防対策及びその実施状況

予防対策	実施状況
手指等消毒の励行 環境衛生の充実 職員の衛生教育 居室移動要観察 医療器具、材料の清潔	放送等による手洗いの徹底 定期清掃及び通年清掃 研修会の実施 看護職員の指導による観察 機器による殺菌及び滅菌

イ.インフルエンザ予防対策の状況

年度	予 防 接 種 の 実 施		
	有 無	人 員	時 期
令和3年度	有	117人	11月18日～11月25日
令和2年度	有	110人	10月15日～10月22日

やすらぎ荘

ア.メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)、結核、疥癬等の予防対策及びその実施状況

予防対策	実施状況
手指等消毒の励行 環境衛生の充実 職員の衛生教育 居室移動要観察 医療器具、材料の清潔	掲示板等による手洗いの徹底 定期清掃及び通年清掃 研修会の実施 看護職員の指導による観察 機器による殺菌及び滅菌

イ.インフルエンザ予防対策の状況

年度	予 防 接 種 の 実 施		
	有 無	人 員	時 期
令和3年度	有	96人	11月10日～12月18日
令和2年度	有	92人	10月14日～10月28日

いなみ

ア.メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)、結核、疥癬等の予防対策及びその実施状況

予防対策	実施状況
手指等消毒の励行 環境衛生の充実 職員の衛生教育 居室移動要観察 器量器具、材料の清潔	掲示板による手洗いの徹底 定期清掃及び通年清掃 研修会の実施 看護職員の指導による観察 機器による殺菌及び滅菌

イ.インフルエンザ予防対策の状況

年度	予 防 接 種 の 実 施		
	有 無	人 員	時 期
令和3年度	有	67名	11月6日～12月11日
令和2年度	有	67名	11月6日～12月11日

きらら

ア.メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)、結核、疥癬等の予防対策及びその実施状況

予防対策	実施状況
手指等消毒の励行 環境衛生の充実 職員の衛生教育 居室移動要観察 医療器具、材料の清潔	掲示板等による手洗いの徹底 定期清掃及び通年清掃 研修会の実施 看護職員の指導による観察 機器による殺菌及び滅菌

イ.インフルエンザ予防対策の状況

年度	予 防 接 種 の 実 施		
	有 無	人 員	時 期
令和3年度	有	74人	11月10日
令和2年度	有	77人	10月15日・10月21日

新型コロナウイルスワクチン接種の状況（福寿園・やすらぎ荘・いなみ・きらら）

1・2回目接種・・・令和3年4・5月実施

3回目接種・・・・・・令和4年1・2月実施

②利用者の結核等定期健康診断状況

福寿園

期日	実施人員	検査項目	検査結果	検査機関
R3 9月13日 ～10月7日	114人	胸X-P 尿検査 血液検査	異常なし 114人 要再検 0人 要精密 0人	南砺市・家庭地域医療センター

やすらぎ荘

期日	実施人員	検査項目	検査結果	検査機関
R3 9月16日 9月21日	97人	胸X-P 血液検査	異常なし 97人 要再検 0人 要精密 0人	北陸予防医学協会

いなみ

期日	実施人員	検査項目	検査結果	検査機関
R3年4月 ～R4年3月	46人	胸X-P 心電図 尿検査 血液検査	異常なし 43人 要再検 0人 要精密 3人	南砺市民病院

きらら

期日	実施人員	検査項目	検査結果	検査機関
R3 9月17日 9月18日	78人	胸X-P 尿検査 血液検査	異常なし 78人 要再検 0人 要精密 0人	北陸予防医学協会

(9) レジオネラ症の防止対策の状況

福寿園

	浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	末端給湯栓温度	清掃回数	レジオネラ属菌の検査の実施年月日	備考
浴槽	循環式	測定記録の有無 有・無	39℃	毎回/週	R3. 5. 19	ボイラー給湯
	それ以外	測定記録の有無 有・無	40℃	毎回/週	R3. 5. 19	全換水 (エコ給湯器)
給湯設備	貯湯タンクあり	測定記録の有無 有・無	41℃	毎回/年	R3. 5. 19	特浴・シャワー設備兼用
	貯湯タンクなし	測定記録の有無 有・無	/	回/年	/	/

やすらぎ荘

	浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	末端給湯栓温度	清掃回数	レジオネラ属菌の検査の実施年月日	備考
浴槽	循環式	測定記録の有無 有・無	65℃	毎回/週	R3. 8. 26	一般浴 給湯・特浴槽シャワー兼用
	それ以外	測定記録の有無 有・無	65℃	毎回/週	R3. 8. 26	特浴 給湯・特浴設備兼用
給湯設備	貯湯タンクあり	測定記録の有無 有・無	/	回/年	/	/
	貯湯タンクなし	測定記録の有無 有・無	/	回/年	/	/

いなみ

	浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	末端給湯栓温度	清掃回数	レジオネラ属菌の検査の実施年月日	備考
浴槽	循環式	測定記録の有無 有・無	57℃	6回/週	R3. 10. 29	一般浴
	それ以外	測定記録の有無 有・無	57℃	6回/週	R3. 10. 29	特浴 給湯・特浴設備兼用
給湯設備	貯湯タンクあり	測定記録の有無 有・無	57℃	0回/年	R3. 10. 29	特浴・シャワー設備兼用
	貯湯タンクなし	測定記録の有無 有・無	/	回/週	/	/

きらら

	浴槽及び給湯設備の仕様	遊離残留塩素濃度測定実施及び記録の有無	末端給湯栓温度	清掃回数	レジオネラ属菌の検査の実施年月日	備考
浴槽	循環式	測定記録の有無 有・無	/	毎回/週	R3. 6. 14	特養及びデイ特浴機
	それ以外	測定記録の有無 有・無	65℃	毎回/週	/	一般浴槽・個浴槽
給湯設備	貯湯タンクあり	測定記録の有無 有・無	55℃	1回/年	R3. 6. 14	特養個浴・洗面所給湯 デイ浴室・一般浴槽給湯
	貯湯タンクなし	測定記録の有無 有・無	/	/	/	特養浴室・洗面所給湯

- (注) 1 施設内の全浴槽及び給湯設備について記入すること。
- 2 「浴槽及び給湯設備の仕様」欄には、該当する方を○で囲むこと。また、施設内で異なる仕様の設備を有する場合は、備考欄を利用し区別すること。
- 3 「清掃回数」欄は、浴槽については浴槽の全換水を行う1週間あたりの回数を、給湯設備については貯湯タンクの1年間あたりの清掃回数を記入すること。
- 4 「レジオネラ属菌の検査の実施年月日」欄は、基準日までの直近の検査実施年月日を記入すること。実施していない場合は「未実施」と記入すること。

(10) 災害事故防止対策

①災害事故防止に対する考え方

点検と訓練を行うと共に防災知識の再確認をしている。また、常日頃から訓練を通して「防災行動力」を身につけるよう努めている。

②重度者への防災上の配慮

安全確保のため、廊下や非常口付近に物を置かないように配慮している。

③地域防災組織との連携状況

地域の防災協力員や消防団員・隣接する施設と連携を密にしている。

- ④非常食の有無 (有・無) 福寿園 5日分
 やすらぎ荘 14日分
 いなみ 3日分
 きらら 5日分

最低3日間の施設運営が維持できる生活用品等を非常用物資として確保している。

⑤防災設備の状況

福寿園

施設・設備		消防法令による設置等義務の有無			整備状況	
防火設備	避難階段	有	・	無	有 (8箇所)	無
	避難口 (非常口)		有		有 (31箇所)	無
	居室・廊下・階段等の内装材料		—		適	無
	防火戸・防火シャッター	有	・	無	有 (9箇所)	無
消防用設備	屋内消火栓設備	有	・	無	有 (19箇所)	無
	屋外消火栓設備	有	・	無	有 (箇所)	無
	スプリンクラー設備	有	・	無	有	無
	自動火災報知設備	有	・	無	有	無
	非常通報装置		—		有	無
	漏電火災警報器	有	・	無	有	無
	非常警報設備	有	・	無	有	無
	避難器具 (滑り台・救助袋)	有	・	無	有 (1箇所)	無
	誘導灯及び誘導標識	有	・	無	有 (23箇所)	無
防火用水	有	・	無	有	無	
非常電源	有	・	無	有	無	
カーテン・布製ブラインド等の防災性能			有		有	無

やすらぎ荘

施設・設備		消防法令による設置等義務の有無		整備状況	
防火設備	避難階段	有	・ 無	有 (2箇所)	無
	避難口 (非常口)		有	有 (20箇所)	無
	居室・廊下・階段等の内装材料		—	適	・ 無
	防火戸・防火シャッター	有	・ 無	有 (5箇所)	無
消防用設備	屋内消火栓設備	有	・ 無	有 (8箇所)	無
	屋外消火栓設備	有	・ 無	有 (箇所)	無
	スプリンクラー設備	有	・ 無	有	・ 無
	自動火災報知設備	有	・ 無	有	・ 無
	非常通報装置		—	有	・ 無
	漏電火災警報器	有	・ 無	有	・ 無
	非常警報設備	有	・ 無	有	・ 無
	避難器具 (担架)	有	・ 無	有	・ 無
	誘導灯及び誘導標識	有	・ 無	有 (56箇所)	無
	防火用水	有	・ 無	有	・ 無
非常電源	有	・ 無	有	・ 無	
カーテン・布製ブラインド等の防災性能			有	有	・ 無

いなみ

施設・設備		消防法令による設置等義務の有無		整備状況	
防火設備	避難階段	有	・ 無	有 (1箇所)	無
	避難口 (非常口)		有	有 (12箇所)	無
	居室・廊下・階段等の内装材料		—	適	・ 無
	防火戸・防火シャッター	有	・ 無	有 (3箇所)	無
消防用設備	屋内消火栓設備	有	・ 無	消火用散水栓 有 (7箇所)	無
	屋外消火栓設備	有	・ 無	有 (箇所)	無
	スプリンクラー設備	有	・ 無	有	・ 無
	自動火災報知設備	有	・ 無	有	・ 無
	非常通報装置		—	有	・ 無
	漏電火災警報器	有	・ 無	有	・ 無
	非常警報設備	有	・ 無	有	・ 無
	避難器具 (滑り台・救助袋)	有	・ 無	有	・ 無
	誘導灯及び誘導標識	有	・ 無	有 (30箇所)	無
	防火用水	有	・ 無	有	・ 無
非常電源	有	・ 無	有	・ 無	
カーテン・布製ブラインド等の防災性能			有	有	・ 無

きらら

施設・設備		消防法令による設置等義務の有無	整備状況
防火設備	避難階段	有・ <input type="radio"/> 無	有(箇所) <input type="radio"/> 無
	避難口(非常口)	有	<input checked="" type="radio"/> 有(10箇所) <input type="radio"/> 無
	居室・廊下・階段等の内装材料	—	<input checked="" type="radio"/> 適・ <input type="radio"/> 無
	防火戸・防火シャッター	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有(7箇所) <input type="radio"/> 無
消防用設備	屋内消火栓設備	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有(14箇所) <input type="radio"/> 無
	屋外消火栓設備	有・ <input type="radio"/> 無	有(箇所) <input type="radio"/> 無
	スプリンクラー設備	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	自動火災報知設備	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	非常通報装置	—	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	漏電火災警報器	有・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	非常警報設備	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
	避難器具(滑り台・救助袋)	有・ <input type="radio"/> 無	有・ <input type="radio"/> 無
	誘導灯及び誘導標識	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有(18箇所) <input type="radio"/> 無
	防火用水	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無
非常電源	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
カーテン・布製ブラインド等の防災性能		<input checked="" type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無

⑥消防計画及び防火管理者の届出状況

福寿園

消防計画の消防署への届け出(直近)	令和3年5月25日
防火管理者氏名	山田 利浩

やすらぎ荘

消防計画の消防署への届け出(直近)	令和3年5月27日
防火管理者氏名	中島 康子

いなみ

消防計画の消防署への届け出(直近)	令和3年6月4日
防火管理者氏名	笠田 美紀

きらら

消防計画の消防署への届け出(直近)	令和3年4月30日
防火管理者氏名	長谷川秀子

⑦各種防災訓練の実施状況

福寿園

区 分	実施回数	実 施 月	消防署への事前届出	消防署の立会	記 録
避 難 訓 練	2	令和3年 6月30日 令和3年11月10日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
救 助 訓 練	2	令和3年 6月30日 令和3年11月10日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
通 報 訓 練	2	令和3年 6月30日 令和3年11月10日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
消 火 訓 練	1	令和3年 6月30日	有 (1回) ・ 無	有 (回) ・ 無	有 ・ 無
地震対応の火災訓練	1	令和3年 9月 2日	有 (回) ・ 無	有 (回) ・ 無	有 ・ 無

やすらぎ荘

区 分	実施回数	実 施 月	消防署への事前届出	消防署の立会	記 録
避 難 訓 練	2	令和3年 6月29日 令和3年 11月 2日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
救 助 訓 練	2	令和3年 6月29日 令和3年 11月 2日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
通 報 訓 練	2	令和3年 6月29日 令和3年 11月 2日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
消 火 訓 練	1	令和3年 6月29日	有 (1回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
地震対応の火災訓練	2	令和3年 6月29日 令和3年 11月 2日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無

いなみ

区 分	実施回数	実 施 月	消防署への事前届出	消防署の立会	記 録
避 難 訓 練	2	令和3年6月23日 令和3年9月 8日	有 (2回) ・ 無	有 (回) ・ 無	有 ・ 無
救 助 訓 練	2	令和3年6月23日 令和3年9月 8日	有 (2回) ・ 無	有 (回) ・ 無	有 ・ 無
通 報 訓 練	2	令和3年6月23日 令和3年9月29日	有 (1回) ・ 無	有 (回) ・ 無	有 ・ 無
消 火 訓 練	0		有 (回) ・ 無	有 (回) ・ 無	有 ・ 無
地震対応の火災訓練	1	令和3年9月 8日	有 (1回) ・ 無	有 (回) ・ 無	有 ・ 無

きらら

区 分	実施回数	実 施 月	消防署への事前届出	消防署の立会	記 録
避 難 訓 練	2	令和3年6月30日 令和3年11月24日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
救 助 訓 練	2	令和3年6月30日 令和3年11月24日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
通 報 訓 練	2	令和3年6月30日 令和3年11月24日	有 (2回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
消 火 訓 練	1	令和3年6月30日	有 (1回) ・ 無	有 (1回) ・ 無	有 ・ 無
地震対応訓練	1	令和3年9月1日	有 (回) ・ 無	有 (回) ・ 無	有 ・ 無

⑧緊急連絡網等の整備状況

福寿園・やすらぎ荘・いなみ・きらら

自動転送システムの設置	㊦・無	緊急連絡網等の整備	㊦・無
-------------	-----	-----------	-----

⑨消防署の立入検査の状況

福寿園

実施年月日	指導指示等の内容
令和3年12月8日	福寿園 特記事項無し 南砺家庭・地域医療センター 掲示板が経年劣化により不鮮明なため改修すること。

やすらぎ荘

実施年月日	指導指示等の内容
令和3年10月22日	ポンプ室、機械室に可燃物（建築部材、清掃用具）が存置されているため撤去

いなみ

実施年月日	指導指示等の内容
無し	無し

きらら

実施年月日	指導指示等の内容
無し	無し

⑩防火設備の保守点検及び自動火災通報システム保守管理の状況

福寿園	業者委託による点検	㊦（年2回）・無		実施者	ほくつう
	総合点検	点検事項	スプリンクラー設備 消火栓設備 火災報知設備 他		
	自主点検	点検事項	誘導灯・誘導標識		

やすらぎ荘	業者委託による点検	㊦（年2回）・無		実施者	紙居石油 （株）
	総合点検	点検事項	スプリンクラー設備 消火栓設備 火災報知設備 他		
	自主点検	点検事項	誘導灯・誘導標識		

いなみ	業者委託による点検	㊦（年2回）・無		実施者	テレ通（株）
	総合点検	点検事項	スプリンクラー設備 消火用散水栓設備 火災報知設備 他		
	自主点検	点検事項	誘導灯・誘導標識		

きらら	業者委託による点検	㊦（年2回）・無		実施者	太平ビルサー ビス（株）
	総合点検	点検事項	スプリンクラー設備 消火栓設備 火災報知設備 他		
	自主点検	点検事項	誘導灯・誘導標識		

⑪管理宿直の状況

福寿園

宿直人員	職 種	業 務 内 容	非常時の役割
5人交替	管理当直 管理日直	(1) 巡回時間 夜2回 21:00 22:40 朝1回 6:00 (2) 勤務形態 夜間宿直 17:30～翌日8:30 昼間日直 8:30～17:30 (3) 業務日誌の (有)・無 (4) 防災訓練参加の (有)・無	施設若しくは、その付近に火災発生、その他、非常災害が発生したとき、又は発生が予知される時は、直ちに施設長、事務長、職員との連絡に当たり、夜勤者とともに臨機応変の処置をもって利用者の生命の安全確保を図るとともに施設の保全に努める。

やすらぎ荘

宿直人員	職 種	業 務 内 容	非常時の役割
6人交替	管理当直	(1) 巡回時間 夜1回 21:00 朝1回 6:00 (2) 勤務形態 夜間宿直 17:30～翌日8:30 昼間日直 8:30～17:30 (3) 業務日誌の (有)・無 (4) 防災訓練参加の (有)・無	非常災害が発生した時、又は発生が予知される時は、直ちに施設長、その他の職員の連絡に当たり、職員とともに臨機応変の処置をもって、利用者の生命の安全確保を図るように努める。
6人交替	管理日直		

いなみ

宿直人員	職 種	業 務 内 容	非常時の役割
4人交替	管理当直	(1) 巡回時間 23:00 6:00 (2) 勤務形態 17:15～8:30 (仮眠23:30～5:30) (3) 業務日誌の (有)・無 (4) 防災訓練参加の (有)・無	非常災害発生時又は発生が予知される時は、直ちに施設長、その他の職員の連絡に当たり、職員と共に臨機応変の処置をもって、利用者の生命の安全確保を図るように努める。

きらら

宿直人員	職 種	業 務 内 容	非常時の役割
3人交替	管理当直	(1) 巡回時間 夜3回 17:00 18:00 23:00 朝1回 6:00 (2) 勤務形態 17:00～8:30 (3) 業務日誌の (有)・無 (4) 防災訓練参加の (有)・無	非常災害発生時又は発生が予知される時は、直ちに施設長、その他の職員の連絡に当たり、職員と共に行動し、臨機応変の処置をもって、利用者の生命の安全確保を図るように努める。

⑫事故防止対策

福寿園・やすらぎ荘・いなみ・きらら

ア 事故防止に関するマニュアル等の有無 有

イ 事故発生時における対応マニュアル等の有無 有

ウ 職員に対する周知の方法

<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任者、異動者、管理当直に、非常時の行動・防災設備関係の取扱に関する知識と技術の説明を行い、夜間の不測の事態に備えている。 ・ 経年職員には、必要に応じて随時防災教育の実施に努めている。 ・ マニュアルを各職員に配付 ・ 事故発生時の対応等の研修会の開催 ・ 事故防止のための介護用品の活用

2 短期入所生活介護事業

(1) 事業概況

福寿園

利用者は、一日平均17.9人（前年度14.8人）、22名の定員に対する稼働率は81.2%（前年度67.3%）で前年度よりも上回った。新規受け入れは39名（前年度59名）と前年度より少なかったが、定期の利用へと繋ぐことができた。

今年度は行事やレクリエーション活動、ケアの内容や接遇などを見直し、改善に努めた。

認知症の勉強会などショートフロア独自で行い、利用者への理解を深めサービス向上に向けて取り組んだ。また、新型コロナウイルス感染症が発生し2/12～3/2まで受け入れを中止し、砺波厚生センターや南砺市民病院等の指導を受けながら、利用者15名（うち陽性4名）の体調観察とケアを施設にて継続して行った。改めて感染予防対策について検討し、安全な受け入れが出来るよう対応していきたい。

南砺市高齢者緊急ショートステイ床確保事業の利用者は15名（前年度10名）で、延べ72日（前年度60日）の利用があり、緊急性のある利用者の受け入れを随時行なった。

サービス活動増減差額は、△2,215千円（前年度△1,149千円）となった。

やすらぎ荘

利用者は、一日平均13.0人（前年度14.4人）で、20名の定員に対する稼働率は65.1%（前年度72.1%）と前年度より大きく下回った。新規受け入れは35名であり（前年度40名）と減少したが、面接と契約を同日に行い、お待たせする期間を極力少なくし、初めてのご利用が円滑に進むように心掛けた。稼働率が大幅に減少した要因として、2～3月に新型コロナウイルス発症による受け入れの停止、申し込みの減少、利用取り消し数の増加が挙げられる。

今後も感染予防をしっかりと行い、各居宅介護支援事業所と連携を図りながらサービスの継続的な提供と稼働率の向上に努めたい。

サービス活動増減差額は、△11,559千円（前年度△5,282千円）となった。

いなみ

今年度の一日平均利用数は18.4人（前年度19人）、運用定員20名に対しての稼働率は91.9%（前年度95.0%）であり、コロナウイルス感染拡大の影響から利用がキャンセルとなり前年度より稼働率が下がった。新規の受け入れは50人（前年度53人）と毎年減少傾向ではあるが、利用希望には待機期間少なく受け入れ対応している。また、相談員の勤務体制を検討して令和4年1月より土曜日退所の送迎サービスを実施し、五箇山地域からの送迎希望についてもできる限り希望に応えられるようにすすめている。

南砺市高齢者緊急ショート床確保事業の利用者数は22人（前年度14人）であった。緊急性のある方については迅速な受け入れ対応が求められ、随時対応していきたい。

サービス活動増減差額は、△3,259千円（前年度△3,334千円）となった。

きらら

今年度の一日平均利用者数は15.4人（前年度13.5人）、定員20名に対する稼働率は77%（前年度67.3%）であった。前年の反省を踏まえ、職員一人ひとりが事業運営に対して意識改革を行い、皆で取り組んだ結果が実績に繋がったものとする。一方で新型コロナウイルスの感染対策と並行して、継続した事業運営の取り組みは心身ともに大きな疲弊を伴い、切れ目の無い緊張が続いた一年でもあった。

施設内に感染者が発生しなかったのは運に恵まれた側面もあるだろうが、皆が徹底して感染対策に取り組んだ功績とも考えられる。

おそらく来年度（R4年度）においても状況が一変することは考えにくいいため、感染の標準予防対策を図りながら更なる事業の成長を目指したい。

サービス活動増減差額は、△7,996千円（前年度△4,708千円）となった。

(2) 月別利用人員、日数

福寿園 定員22名

(単位：人)

令和3年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	31	28
	保険内	限度日数	人員	74	71	70	74	73	76	78	81	76	72	47	69	861
			延日数	527	556	530	590	579	555	587	582	568	577	421	452	6,524
	保険外	ミドルステイ利用者	人員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			延日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		障害者利用者	人員													
			延日数													
	計	人員	74	71	70	74	73	76	78	81	76	72	47	69	861	
		延日数	527	556	530	590	579	555	587	582	568	577	421	452	6,524	
一日平均利用人員 (A)			17.6	17.9	17.7	19.0	18.7	18.5	18.9	19.4	18.3	18.6	15.0	14.6	17.9	
稼働率 (A/22×100%)			79.8	81.5	80.3	86.5	84.9	84.1	86.1	88.2	83.2	84.6	68.3	66.3	81.2	
令和2年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	31	28
	保険内	限度日数	人員	70	66	67	69	68	70	70	66	70	72	67	74	829
			延日数	409	454	457	435	414	460	433	455	432	473	462	512	5,396
	保険外	ミドルステイ利用者	人員	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5
			延日数	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5
		障害者利用者	人員													
			延日数													
	計	人員	70	66	67	69	68	70	70	66	70	72	67	74	829	
		延日数	410	455	458	435	414	460	433	456	433	473	462	512	5,401	
一日平均利用人員 (A)			13.7	14.7	15.3	14.0	13.4	15.3	14.0	15.2	14.0	15.3	16.5	16.5	14.8	
稼働率 (A/22×100%)			62.1	66.7	69.4	63.8	60.7	69.7	63.5	69.1	63.5	69.4	75.0	75.1	67.3	
令和元年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	31	28
	保険内	限度日数	人員	81	70	75	81	70	79	57	70	67	71	72	71	864
			延日数	501	486	476	464	496	496	304	349	414	448	474	481	5,389
	保険外	ミドルステイ利用者	人員			1	1		1	1					1	5
			延日数			1	1		1	1					2	6
		障害者利用者	人員													
			延日数													
	計	人員	81	70	75	81	70	79	57	70	67	71	72	71	864	
		延日数	501	486	477	465	496	497	305	349	414	448	474	483	5,395	
一日平均利用人員 (A)			16.7	15.7	15.9	15.0	16.0	16.6	9.8	11.6	13.4	14.5	16.9	15.6	14.8	
稼働率 (A/22×100%)			75.9	71.3	72.3	68.2	72.7	75.3	44.7	52.9	60.7	65.7	76.9	70.8	67.2	

やすらぎ荘 定員20名

(単位：人)

令和3年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	31	28	31
	保険内	限度日数	人員	67	66	61	60	59	63	65	66	68	65	42	30	712	
			延日数	453	463	396	383	421	439	409	432	453	456	265	181	4,751	
	保険外	ミドルステイ利用者	人員														
			延日数														
		障害者利用者	人員														
			延日数														
	計			人員	67	66	61	60	59	63	65	66	68	65	42	30	712
	計			延日数	453	463	396	383	421	439	409	432	453	456	265	181	4,751
一日平均利用人員 (A)				15.1	14.9	13.2	12.4	13.6	14.6	13.2	14.4	14.6	14.7	9.5	5.8	13.0	
稼働率 (A/20×100%)				75.5	74.7	66.0	61.8	67.9	73.2	66.0	72.0	73.1	73.5	47.3	29.2	65.1	
令和2年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	31	28	31
	保険内	限度日数	人員	59	59	61	64	64	69	71	69	67	68	67	68	786	
			延日数	345	380	368	432	420	448	457	502	463	477	472	496	5,260	
	保険外	ミドルステイ利用者	人員														
			延日数														
		障害者利用者	人員														
			延日数														
	計			人員	59	59	61	64	64	69	71	69	67	68	67	68	786
	計			延日数	345	380	368	432	420	448	457	502	463	477	472	496	5,260
一日平均利用人員 (A)				11.5	12.3	12.3	13.9	13.5	14.9	14.7	16.7	14.9	15.4	16.9	16.0	14.4	
稼働率 (A/20×100%)				57.5	61.3	61.3	69.7	67.7	74.7	73.7	83.7	74.7	76.9	84.3	80.0	72.1	
令和元年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	
	保険内	限度日数	人員	65	71	71	75	69	68	68	66	68	66	63	65	815	
			延日数	392	453	429	478	466	436	412	397	446	428	386	410	5,133	
	保険外	ミドルステイ利用者	人員							1	1					2	
			延日数							8	6					14	
		障害者利用者	人員														
			延日数														
	計			人員	65	71	71	75	69	69	69	66	68	66	63	65	817
	計			延日数	392	453	429	478	466	444	418	397	446	428	386	410	5,147
一日平均利用人員 (A)				13.1	14.6	14.3	15.4	15.0	14.8	13.5	13.2	14.4	13.8	13.3	13.2	14.1	
稼働率 (A/20×100%)				65.3	73.1	71.5	77.1	75.2	74.0	67.4	66.2	71.9	69.0	66.6	66.1	70.3	

いなみ 定員30名 (R2. R3運用定員20名) (単位：人)

大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
		日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	31	28	31	365
令和3年度	保険内	限度日数	人員	84	83	89	84	82	78	76	82	89	84	76	84	991
			延日数	552	567	582	598	556	548	545	533	595	566	470	589	6,701
	ミドルステイ利用者		人員						1	1					2	
			延日数						4	5						9
	障害者利用者		人員												0	
			延日数													0
計			人員	84	83	89	84	82	79	77	82	89	84	76	84	993
			延日数	552	567	582	598	556	552	550	533	595	566	470	589	6,710
一日平均利用人員 (A)			18.4	18.3	19.4	19.3	17.9	18.4	17.7	17.8	19.2	18.3	16.8	19.0	18.4	
稼働率 (A/30×100%)			61.3	60.9	64.6	64.3	59.7	61.3	59.1	59.2	63.9	60.8	55.9	63.3	61.2	
稼働率 (A/20×100%)			92.0	91.4	97.0	96.4	89.6	92.0	88.7	88.8	95.9	91.2	83.9	95.0	91.9	
令和2年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	31	28
	保険内	限度日数	人員	93	92	96	94	93	94	89	92	87	84	77	85	1,076
			延日数	593	625	613	590	592	539	569	564	576	584	498	589	6,932
	ミドルステイ利用者		人員		1	1									2	
			延日数		3	2										5
	障害者利用者		人員												0	
			延日数													0
計			人員	93	93	97	94	93	94	89	92	87	84	77	85	1,078
			延日数	593	628	615	590	592	539	569	564	576	584	498	589	6,937
一日平均利用人員 (A)			19.8	20.3	20.5	19.0	19.1	18.0	18.4	18.8	18.6	18.8	17.8	19.0	19.0	
稼働率 (A/30×100%)			65.8	67.5	68.3	63.4	63.6	59.8	61.1	62.6	61.9	62.7	59.2	63.3	63.3	
稼働率 (A/20×100%)			98.8	101	103	95.1	95.4	89.8	91.7	94.0	92.9	94.1	88.9	95.0	95.0	
令和元年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	31	31	29
	保険内	限度日数	人員	99	104	105	102	97	97	101	102	94	91	89	97	1,178
			延日数	715	758	708	723	685	677	672	655	596	599	591	645	8,024
	ミドルステイ利用者		人員	1					1	1		1	1	1	6	
			延日数	1					1	1		12	12	2	29	
	障害者利用者		人員												0	
			延日数													0
計			人員	100	104	105	102	97	98	102	102	95	92	90	97	1,184
			延日数	716	758	708	723	685	678	673	655	608	611	593	645	8,053
一日平均利用人員 (A)			23.9	24.5	23.6	23.3	22.1	22.6	21.7	21.8	19.6	19.7	20.4	20.8	22.0	
稼働率 (A/30×100%)			79.5	81.5	78.6	77.7	73.6	75.3	72.3	72.7	65.3	65.6	68.1	69.3	73.3	

きらら 定員20名

(単位：人)

令和3年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	31	28	31	365
	保険内	限度日数	人員	56	57	56	55	57	58	53	53	55	51	52	49	652	
			延日数	403	408	443	462	492	488	486	488	487	503	480	481	5,621	
	保険外	ミドルステイ利用者	人員				1	1								2	
			延日数				1	1									2
		障害者利用者	人員														0
			延日数														0
	計		人員	56	57	56	56	58	58	53	53	55	51	52	49	654	
			延日数	403	408	443	463	493	488	486	488	487	503	480	481	5,623	
一日平均利用人員 (A)			13.4	13.2	14.8	14.9	15.9	16.3	15.7	16.3	15.7	16.2	17.1	15.5	15.4		
稼働率 (A/20×100%)			67.2	65.8	73.8	74.7	79.5	81.3	78.4	81.3	78.5	81.1	85.7	77.6	77.0		
令和2年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	31	28	31	365
	保険内	限度日数	人員	52	53	52	51	51	54	55	54	57	57	52	59	647	
			延日数	373	407	396	407	371	393	410	433	452	451	409	399	4,901	
	保険外	ミドルステイ利用者	人員										2	2		4	
			延日数										7	3		10	
		障害者利用者	人員														0
			延日数														0
	計		人員	52	53	52	51	51	54	55	54	57	59	54	59	651	
			延日数	373	407	396	407	371	393	410	433	452	458	412	399	4,911	
一日平均利用人員 (A)			12.4	13.1	13.2	13.1	12.0	13.1	13.2	14.4	14.6	14.8	14.7	12.9	13.5		
稼働率 (A/20×100%)			62.2	65.6	66.0	65.6	59.8	65.5	66.1	72.2	72.9	73.9	73.6	64.4	67.3		
令和元年度	大区分	小区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
			日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	31	29	31	366
	保険内	限度日数	人員	52	59	65	62	60	59	59	58	53	53	59	54	693	
			延日数	313	373	381	417	424	404	422	374	391	391	417	399	4,706	
	保険外	ミドルステイ利用者	人員										1	1		2	
			延日数										4	1		5	
		障害者利用者	人員														0
			延日数														0
	計		人員	52	59	65	62	60	59	59	58	53	54	60	54	695	
			延日数	313	373	381	417	424	404	422	374	391	395	418	399	4,711	
一日平均利用人員 (A)			10.4	12.0	12.7	13.5	13.7	13.5	13.6	12.5	12.6	12.7	14.4	12.9	12.9		
稼働率 (A/20×100%)			52.2	60.2	63.5	67.3	68.4	67.3	68.1	62.3	63.1	63.7	72.1	64.4	64.4		

3 通所介護事業

(1) 事業概況

福野デイサービスセンター

令和3年4月からリハビリ特化型デイサービスセンターとしてスタートした。リハビリ専門職等が利用者様に住み慣れた家で元気に自分らしく生活を送れるよう心身の維持向上に取り組んだ。

4月の登録者は23名でしたが令和4年3月には80名と登録者が増加した。

利用状況では、定員40名（AM20名、PM20名）の所、一日平均利用人数は12.7人、稼働率は31.9%となった。入院、ケガ等また新型コロナウイルス感染症の影響により稼働率が上がらなかった。

利用対象者は南砺市であるが、営業開始時には利用人数が少なく砺波市や小矢部市の方を受け入れた。南砺市も広く送迎時間がかかり調整が課題である。

サービス活動増減差額は、△19,851千円（前年度△37,533千円）となった。

旅川デイサービスセンター

利用状況では、一日平均利用人数は34.5人（前年度35.2人）と0.7人減。稼働率は76.6%（前年度82.1%）と5.5%のポイント減となった。

新規利用者は33名受け入れたが、死去や入院などで利用継続に繋がらないケースが多くあり苦慮した。

昨年度と比較して要介護1、4の利用者回数が増加し、要介護2、3、5の利用者回数が減少した。

ただし一般浴は-866回、特浴（椅子浴含む）+571回の結果から、特浴者の増加により午前中の入浴時間が長くなり昼食時間が遅れるため、入浴・食事・余暇時間等の業務内容を見直し、業務改善にも努めた。

サービス活動増減額は2,123千円（前年度9,928千円）となった。

やすらぎ荘デイサービスセンター

利用状況では、一般型は、一日平均21.1人（前年度22.0人）、稼働率は84.3%（前年度87.8%）、認知型は、一日平均7.8人（前年度8.5人）、稼働率は64.7%（前年70.6%）といずれも減少した。

新規利用者は44人（前年37人）で前年より多く受け入れをしたが、新規の方で年度内に利用中止となった方が15名おられ、利用期間が短かったり契約しても利用につながらなかったりするケースが目立った。令和4年2月にはコロナ感染者が出たことで利用控えが多くあった。幸い感染拡大はなく事業を継続できよかったと思う。ショート受け入れ中止時にはデイの利用に切り替えられる方がおられ、デイとショートの併用の方が多いいことを感じた。

今後も、感染対策を実施しながらのサービス提供となると思われるが、利用の場が失われないように努めたい。

認知型では、認知症の周辺症状が強い方がおられ職員が寄り添い見守っている。利用者の相性や周辺症状等考えた上での受け入れのため、受け入れが難しく稼働率が上がらない現状がある。より一層の業務改善と工夫が必要と感じている。

サービス活動増減差額は、944千円（前年度7,248千円）となった。

ふく満デイサービスセンター

利用状況では、1日平均利用者数33.6人（前年度32.1人）、稼働率84.1%（前年度80.3%）と増加した。今年度もコロナ禍ということもあり、ワクチン接種の勧めや感染対策に力を入れ、利用者や職員の感染者はおらず緊張しながらも営業を継続できたことは大きい。夏から秋にかけて稼働率が上がり9月に1ヶ月だけ目標の90%超えを達成できた。冬場に入り冬季入所される方が多かったことやコロナが怖くて利用を控える方がおられ稼働率が下がった。次年度も稼働率目標を90%に掲げ努力していきたい。

今年度から中重度加算が算定できるようになったこと等で収入が前年より8,532千円増加したが、サービス活動増減差額は、△1,541千円（前年度△5,213千円）となった。

デイサービスセンターいなみ

今年度は、1日平均36.3人（前年度33.7人）、稼働率90.8%（前年度84.1%）と増加となった。新規利用者は、年間45人（前年度41人）で昨年と比べ増加した。2月中旬に新型コロナウイルス感染陽性者が利用者及び職員から数名判明し、39名と多くの濃厚接触者が発生し職員及び利用者が自宅待機となり、2月は大幅な利用減となった。改めて一段階上の感染予防策を講じて対応した。近隣の訪問入浴事業が撤退したことで、中重度者の利用希望の問い合わせが増加し、在宅で入浴できなくなった中重度者の利用者ニーズに応えることができた。

サービス活動増減差額は、△1,104千円（前年度11,498千円）となった。

きららデイサービスセンター

今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の予防に努めた一年であった。2類相当に分類されたこの感染症への予防対応と活動内容や環境設定のバランスをとることが難しく、十分なサービス内容を提供できず反省点が多々あった。正しい情報を入手し適切な方法で引き続き予防に努めることはもちろんのこと、その中でもご利用者が楽しむことができ、心身機能を維持することができる活動を模索することの大切さを感じた。

新たな加算として科学的介護推進体制加算を算定している。現在、当事業所ではバーセルインデックスを提出するのみの段階であるが、2024年度以降はリハビリの効果に対する報酬になると考えられている。法人内の他事業所と連携しリハビリに関するサービス内容を取り入れていく必要性を感じている。

今年度の事業成績は利用者定員を2名増やし年度を通して30名となったことで、一日平均利用者数28.8人（前年度27.0人）、平均稼働率96.0%（前年度94.4%）、利用延べ人数月平均746.0人（前年度700.4人）、平均実利用者数87.1人（前年度81.1人）、朝食提供サービス年間延べ利用者843食（前年度957食）であった。一日当たり利用者数が1.8人増加していることから定員枠2名分を増やしたことで地域のデイサービス利用待機者の要望に応えることができ、経営面からも効率よく運営されたと考える。

サービス活動増減差額は、17,191千円（前年度13,596千円）となった。取得した加算は認知症加算、中重度者ケア体制加算、サービス提供体制加算（I）イであった。

(2) 年間行事

福野デイサービスセンター

	第1週目	第2週目	第3週目	第4週目	第5週目
4月	新職員紹介 個別レクリエーション	新職員紹介 個別レクリエーション	個別レクリエーション ゲーム	個別レクリエーション トランプ	個別レクリエーション 脳トレ
5月	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション ゲーム	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション ひなたぼっこ	
6月	個別レクリエーション ゲーム	個別レクリエーション トランプ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 短冊作り	個別レクリエーション 脳トレ
7月	個別レクリエーション ハエたたきゲーム	個別レクリエーション ゲーム	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	
8月	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション ゲーム	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション ゲーム	
9月	個別レクリエーション ゲーム	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション ゲーム・ひなたぼっこ	個別レクリエーション 脳トレ
10月	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション ゲーム	
11月	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション ゲーム	
12月	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ
1月	新年挨拶 ゲーム	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション ゲーム	個別レクリエーション 脳トレ	
2月	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション ゲーム	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	
3月	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ	個別レクリエーション 脳トレ

旅川デイサービスセンター

	第1週目	第2週目	第3週目	第4週目	第5週目
4月	サイコロ自己紹介	体重測定 歌詞穴埋めクイズ	箱の中身は何か？	喫茶 花を咲かせようゲーム	たけのこ堀り堀りゲーム
5月	田植えゲーム	新聞キャッチゲーム	喫茶 限界にチャレンジゲーム	大人のクイズ	流木飾り作り
6月	流木飾り作り	物送りゲーム	七夕飾り作り	喫茶 記憶力ゲーム	何が通ったかな？
7月	何が通ったかな？	懐かしい歌を歌いましょう	喫茶 言葉集めゲーム	ゲーゴールゲーム	物すくいゲーム
8月	うちわでハイッ	夏祭り	喫茶 ○×クイズ	どこに入るかな？	によるによる運搬
9月	によるによる運搬	地震・雷・火事ゲーム	喫茶 ビンゴ	利用者様の出し物	新聞相撲
10月	新聞相撲	運動会	箱を使ったゲーム	カラオケ 喫茶	ハロウィン&ゲーム
11月	数字あてゲーム	喫茶 ○×、漢字ゲーム	落ち葉拾い	カレンダー作り	ゆらゆらツリー倒し
12月	ゆらゆらツリー倒し	喫茶	プレゼント運び競争	カラオケ	カラオケ
1月	福笑いおみくじ	すごろく(体操・歌)	喫茶 カボカボゲーム	福の神起こしゲーム	節分・豆まきゲーム
2月	節分・豆まきゲーム	梅の花ゲーム	喫茶 おやつ作り	箸でタオル飛ばしゲーム	カップインゲーム
3月	カップインゲーム	サイコロころころ言葉作り	ジャンケンゲーム	喫茶 福野○×クイズ	ビンゴゲーム

やすらぎ荘デイサービスセンター

月	第1週目	第2週目	第3週目	第4週目	第5週目
4月	30秒で何個取れるかな？	輪投げ	誕生会 喫茶	玉ころがして 答えてね	
5月	グラグラ輪投げ	魚釣りゲーム	誕生会 喫茶	答えて！お題ゲーム	
6月	宝石ざくざく	ローラー大作戦	七夕飾り 短冊作り	誕生会 喫茶	うちわでジャンケン
7月	サイコロサッカー	輪っかとりゲーム	誕生会 喫茶	もぐらたたきゲーム	
8月	魚釣りゲーム	記憶力ゲーム	誕生会 喫茶	ナイスイン	
9月	金魚すくい	小さく小さく	テーブルスケート ボール	敬老会・誕生会 喫茶	きのご採り
10月	スカットボール	玉入れ	誕生会 喫茶	羽根っこゲーム	
11月	グラグラ輪投げ	ゴールできるかな？	誕生会 喫茶	足でキャッチボール	
12月	新聞相撲	もぐらたたきゲーム	テーブルボーリング	誕生会 喫茶	カップ積みレース
1月	フライング福笑い	棒倒し	誕生会 喫茶	スカットボール	
2月	鬼退治	糸巻きダービー	箸またスプーンde ハンカチ飛ばし	誕生会 喫茶	
3月	スカットボール	じゃんけん相撲	誕生会 喫茶	おひとり バランスボード	もぐらたたきゲーム

ふく満デイサービスセンター

月	第1週目	第2週目	第3週目	第4週目	第5週目
4月	ちょうちょ集め	おしゃべり喫茶	誕生会 ぬり絵	ペットボトルゲーム	魚つりゲーム
5月	的入れゲーム	レールならべゲーム	誕生会 ぬり絵	五箇山ゲーム	おしゃべり喫茶
6月	的中ゲーム	誕生会 ぬり絵	お天気占いゲーム	ハエ叩きゲーム	夏の制作（七夕かざり）
7月	おしゃべり喫茶	的あてゲーム	誕生会 ぬり絵	ふりふりゲーム	サルの綱渡り
8月	おしゃべり喫茶	アイスdeボーリング	誕生会 ぬり絵	洗濯リレー	ボール転がし
9月	おやつ作り	おしゃべり喫茶	誕生会 ぬり絵	ゴルフ	金魚すくい
10月	金魚すくい	都道府県ビンゴ	紅葉狩りゲーム	誕生会 ぬり絵	おやつ作り
11月	お料理リレー	おしゃべり喫茶	誕生会 ぬり絵	タワーゲーム	じゃんげんボール回し
12月	射的	誕生会 ぬり絵	おやつ作り	紅白箱入れ合戦	言葉遊びゲーム
1月		初釜	福笑い	誕生会 ぬり絵	スリッパ飛ばし
2月	鬼退治ゲーム	うなぎ釣りゲーム	誕生会 ぬり絵	果物出荷ゲーム	おしゃべり喫茶
3月	おしゃべり喫茶	ピンポンコロコロゲーム	誕生会 ぬり絵	さくらの花作り	さくら拾いゲーム

デイサービスセンターいなみ

月	第1週目	第2週目	第3週目	第4週目	第5週目
4月	もぐらゲットゲーム	ペタンク	タオルで運搬ゲーム	どんぶらっこゲーム	輪投げ
5月	タワーリングゲーム	満豆ゲーム	色合わせゲーム	おやつ作り(こいのぼりワッフル)	玉子入れゲーム
6月	玉子入れゲーム	ゲートボールゲーム	空き缶積みゲーム	魚釣りゲーム	洗濯ばさみゲーム
7月	洗濯ばさみゲーム	おはぎを入れましょうゲーム	五輪ピックリレーゲーム	金魚すくいゲーム	数字並べゲーム
8月	おやつ作り(プラマンジェ)	ヨーヨー釣りゲーム	スリッパ飛ばしスイカ割りゲーム	じゃんけんお手玉争奪戦	名札作り
9月	名札作り	ボーリング	敬老会	お手玉バランスゲーム	ボトルふりふりゲーム
10月	ボトルふりふりゲーム	せんべい焼きゲーム	輪投げ	ミニ運動会	テレビの泉ゲーム
11月	風船ゲーム	お手玉積みゲーム	洗濯ばさみゲーム	ペタンク	お手玉詰めゲーム
12月	お手玉詰めゲーム	箸で立てるゲーム	ワカサギ釣りゲーム	クリスマス会	うちわで風船バレー
1月	うちわで風船バレー	福笑い	かるた大会	もぐらゲットゲーム	鬼退治ゲーム
2月	鬼退治ゲーム	お手玉積みゲーム	おやつ作り(チョコレート・抹茶ムース)	お雛様まきまきゲーム	
3月	お雛様まきまきゲーム	色合わせゲーム	テレビの泉ゲーム	もぐらゲットゲーム	豆つまみゲーム

きららデイサービスセンター

月	第1週目	第2週目	第3週目	第4週目	第5週目
4月	ボーリング 花見ドライブ	陣取りゲーム 風船パラソル	ダルマ落とし 空き缶積み	ジャンボゲーム 玉入れ	宝集め 仲よし糸巻き
5月	仲よし糸巻き	祭りにちなんだ話 卓上ホッケー	サッカーゲーム 野菜作り	ビーズ掴み 的当て	牛乳パックタワー 軽ケット
6月	新聞ビリビリ 聖火リレー	紙コップピッチャット どてかぼちゃゲーム	国旗作り・個人活動 ビーズ掴み	運動会 陣取りゲーム	紙飛行機飛ばし
7月	紙飛行機飛ばし スリッパ飛ばし	七タゲーム ボーリング	カーリング ゴルフ	神経衰弱 三角ゲーム	満水(ピンポン/エキップ)レース
8月	ダービーゲーム	玉乗せ 的当て	射的(縁日ゲーム) 輪投げ(縁日ゲーム)	装飾・名札づくり ひまわりドライブ	脳トレ・体操
9月	脳トレ・体操	牛乳パックタワー コップ積み上げ	ビーズ掴み 空き缶積み	サッカーゲーム 魚釣り	ダルマ落とし ショッピング(移動スーパー)
10月	ダルマ落とし クッキング	ボーリング/カーリング ショッピング(移動スーパー)	ゴルフ 的当て	三角ゲーム ショッピング(移動スーパー)	ダービーゲーム 牛乳パックタワー
11月	輪投げ 満水レース	空き缶積み ショッピング(移動スーパー)	陣取りゲーム カーリング	デイ喫茶 ショッピング(移動スーパー)	
12月	的当て 玉乗せ	ダービーゲーム	牛乳パックタワー プレゼント運び	ケーキ積み上げ クリスマス会	ダルマ落とし 今年の思い出
1月		福笑い ビーズ掴み	輪投げ 物送りゲーム	射的 サッカーゲーム	体づくり 魚釣り
2月	空き缶積み 恵方巻 節分豆まき	満水(ピンポン/エキップ)レース	風船ゲーム	体操	牛乳パックタワー
3月	雛祭り会(茶会) 牛乳パックタワー	ダルマ落とし	ゴルフ	空き缶積み	ボーリング

(3) 月別利用状況

福野デイサービスセンター（定員：午前20名、午後20名）

(単位：人)

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
令和3年度	運営日数	21	19	22	21	21	20	21	20	20	19	18	22	244	
	利用実人員	要介護	12	19	27	28	30	35	43	44	41	43	41	40	403
		総合事業	6	11	17	17	17	18	20	22	26	28	27	27	236
		身体障害者													0
	合計	18	30	44	45	47	53	63	66	66	67	71	68	67	639
	利用延べ人員	要介護	60	73	115	144	183	192	256	234	225	224	198	252	2,156
		総合事業	27	39	83	84	74	72	80	82	89	102	92	121	945
		身体障害者													0
	合計	87	112	198	228	257	264	336	316	314	314	326	290	373	3,101
	一日平均人員	要介護	2.9	3.8	5.2	6.9	8.7	9.6	12.2	11.7	11.3	11.8	11.0	11.5	8.8
総合事業		1.3	2.1	3.8	4.0	3.5	3.6	3.8	4.1	4.5	5.4	5.1	5.5	3.9	
身体障害者														0	
合計(A)	4.1	5.9	9.0	10.9	12.2	13.2	16.0	15.8	15.7	15.7	17.2	16.1	17.0	12.7	
稼働率 (A40×100)	10.4	14.7	22.5	27.1	30.6	33.0	40.0	39.5	39.3	39.3	42.9	40.3	42.4	31.9	
令和2年度	運営日数	25	24	26	25	24	24	27	23	25	23	22	18	286	
	利用実人員	要介護	71	69	65	63	47	45	40	30	24	15	4	0	473
		総合事業	11	8	10	9	9	8	3	4	5	2	0	0	69
		身体障害者													0
	合計	82	77	75	72	56	53	43	34	29	17	4	0	542	
	利用延べ人員	要介護	606	571	580	467	367	335	252	189	134	72	9	0	3,582
		総合事業	60	46	65	58	53	51	22	19	24	13	0	0	411
		身体障害者													0
	合計	666	617	645	525	420	386	274	208	158	85	9	0	3,993	
	一日平均人員	要介護	24.2	23.8	22.3	18.7	15.3	14.0	9.3	8.2	5.4	3.1	0.4	0.0	12.5
総合事業		2.4	1.9	2.5	2.3	2.2	2.1	0.8	0.8	1.0	0.6	0.0	0.0	1.4	
身体障害者														0	
合計(A)	26.6	25.7	24.8	21.0	17.5	16.1	10.1	9.0	6.3	3.7	0.4	0.0	14.0		
稼働率 (A/35×100)	76.1	73.5	70.9	60.0	50.0	53.6	33.8	30.1	31.6	18.5	2.0	0.0	41.7		
令和元年度	運営日数	25	25	25	20	25	23	25	25	25	23	23	25	289	
	利用実人員	要介護	79	76	81	81	82	79	84	80	80	78	77	70	947
		総合事業	9	9	7	7	7	7	7	8	8	10	11	11	101
		身体障害者													0
	合計	88	85	88	88	89	86	91	88	88	88	88	81	1,048	
	利用延べ人員	要介護	623	637	641	539	646	613	675	627	620	591	597	606	7,415
		総合事業	57	60	36	34	41	36	42	50	49	55	60	69	589
		身体障害者													0
	合計	680	697	677	573	687	649	717	677	669	646	657	675	8,004	
	一日平均人員	要介護	24.9	25.5	25.6	27.0	25.8	26.7	27.0	25.1	24.8	25.7	26.0	24.2	25.7
総合事業		2.3	2.4	1.4	1.7	1.6	1.6	1.7	2.0	2.0	2.4	2.6	2.8	2.0	
身体障害者														0	
合計(A)	27.2	27.9	27.1	28.7	27.5	28.2	28.7	27.1	26.8	28.1	28.6	27.0	27.7		
稼働率 (A/35×100)	77.7	79.7	77.4	81.9	78.5	80.6	81.9	77.4	76.5	80.2	81.6	77.1	79.1		

旅川デイサービスセンター（定員：45名）

（単位：人）

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
令和3年度	運営日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	25	24	24	27	309
	利用実人員	要介護	103	97	100	103	102	100	101	108	108	95	97	99	1,213
		総合事業	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	64
		身体障害者													0
	合計	110	102	105	108	107	105	106	113	113	100	103	105	1,277	
	利用延べ人員	要介護	951	886	865	932	873	856	880	894	851	715	723	828	10,254
		総合事業	44	29	29	32	29	35	32	32	32	32	32	46	404
		身体障害者													0
	合計	995	915	894	964	902	891	912	926	883	747	755	874	10,658	
	一日平均人員	要介護	36.6	34.1	33.3	34.5	33.6	32.9	33.8	34.4	34.0	29.8	30.1	30.7	33.2
総合事業		1.7	1.1	1.1	1.2	1.1	1.3	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.7	1.3	
身体障害者		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計(A)	38.3	35.2	34.4	35.7	34.7	34.3	35.1	35.6	35.3	31.1	31.5	32.4	34.5		
稼働率(A/45×100)	85.0	78.2	76.4	79.3	77.1	76.2	77.9	79.1	78.5	69.2	69.9	71.9	76.6		
令和2年度	運営日数	26	26	26	27	25	26	27	25	24	23	24	27	306	
	利用実人員	要介護	90	95	90	89	93	96	99	100	103	106	104	104	1,169
		総合事業	6	5	5	5	3	3	4	5	6	6	6	7	61
		身体障害者													0
	合計	96	100	95	94	96	99	103	105	109	112	110	111	1,230	
	利用延べ人員	要介護	824	840	812	818	833	885	934	863	873	807	890	992	10,371
		総合事業	45	33	34	37	19	19	27	28	36	33	36	49	396
		身体障害者													0
	合計	869	873	846	855	852	904	961	891	909	840	926	1,041	10,767	
	一日平均人員	要介護	31.7	32.3	31.2	30.3	33.3	34.0	34.6	34.5	36.4	35.1	37.1	36.7	33.9
総合事業		1.7	1.3	1.3	1.4	0.8	0.7	1.0	1.1	1.5	1.4	1.5	1.8	1.3	
身体障害者		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計(A)	33.4	33.6	32.5	31.7	34.1	34.8	35.6	35.6	37.9	36.5	38.6	38.6	35.2		
稼働率(A/40×100)	83.6	83.9	81.3	79.2	85.2	77.3	79.1	79.2	84.2	81.2	85.7	85.7	82.1		
令和元年度	運営日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	25	26	314	
	利用実人員	要介護	92	91	90	108	94	92	93	89	91	91	93	90	1,114
		総合事業	8	9	8	8	8	8	7	7	7	7	6	6	89
		身体障害者													0
	合計	100	100	98	116	102	100	100	96	98	98	99	96	1,203	
	利用延べ人員	要介護	824	825	822	895	870	850	873	788	794	777	790	821	9,929
		総合事業	50	55	46	52	51	49	48	43	44	43	40	43	564
		身体障害者													0
	合計	874	880	868	947	921	899	921	831	838	820	830	864	10,493	
	一日平均人員	要介護	31.7	30.6	32.9	33.1	32.2	34.0	32.3	30.3	30.5	28.8	31.6	31.6	31.6
総合事業		1.9	2.0	1.8	1.9	1.9	2.0	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.8	
身体障害者		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計(A)	33.6	32.6	34.7	35.1	34.1	36.0	34.1	32.0	32.2	30.4	33.2	33.2	33.4		
稼働率(A/40×100)	84.0	81.5	86.8	87.7	85.3	89.9	85.3	79.9	80.6	75.9	83.0	83.1	83.5		

やすらぎ荘デイサービスセンター（一般型 定員：25名）

（単位：人）

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
令和3年度	運営日数	26	26	26	27	26	26	26	26	25	23	24	27	308	
	利用実人員	要介護	62	61	62	61	57	56	51	57	58	58	56	57	696
		総合事業	8	8	8	10	10	9	12	12	12	11	12	12	124
		身体障害者													
	合計	70	69	70	71	67	65	63	69	70	69	68	69	820	
	利用延べ人員	要介護	543	527	538	553	504	470	459	461	451	424	411	498	5,839
		総合事業	43	43	43	51	56	57	61	65	62	53	47	69	650
		身体障害者													
	合計	586	570	581	604	560	527	520	526	513	477	458	567	6,489	
	一日平均人員	要介護	20.9	20.3	20.7	20.5	19.4	18.1	17.7	17.7	18.0	18.4	17.1	18.4	19.0
総合事業		1.7	1.7	1.7	1.9	2.2	2.2	2.3	2.5	2.5	2.3	2.0	2.6	2.1	
身体障害者															
合計(A)	22.5	21.9	22.3	22.4	21.5	20.3	20.0	20.2	20.5	20.7	19.1	21.0	21.1		
稼働率 (A/25×100)	90.2	87.7	89.4	89.5	86.2	81.1	80.0	80.9	82.1	83.0	76.3	84.0	84.3		
令和2年度	運営日数	26	26	26	27	25	26	27	25	26	23	24	27	308	
	利用実人員	要介護	56	61	63	64	66	67	67	64	65	65	58	57	753
		総合事業	6	6	7	7	7	8	8	8	8	8	8	9	90
		身体障害者													
	合計	62	67	70	71	73	75	75	72	73	73	66	66	843	
	利用延べ人員	要介護	462	480	509	546	544	592	601	533	561	463	473	533	6,297
		総合事業	38	30	36	35	30	37	37	43	39	41	47	53	466
		身体障害者													
	合計	500	510	545	581	574	629	638	576	600	504	520	586	6,763	
	一日平均人員	要介護	17.8	18.5	19.6	20.2	21.8	22.8	22.3	21.3	21.6	20.1	19.7	19.7	20.4
総合事業		1.5	1.2	1.4	1.3	1.2	1.4	1.4	1.7	1.5	1.8	2.0	2.0	1.5	
身体障害者															
合計(A)	19.2	19.6	21.0	21.5	23.0	24.2	23.6	23.0	23.1	21.9	21.7	21.7	22.0		
稼働率 (A/25×100)	76.9	78.5	83.8	86.1	91.8	96.8	94.5	92.2	92.3	87.7	86.7	86.8	87.8		
令和元年度	運営日数	26	27	25	27	26	25	27	26	24	24	25	26	308	
	利用実人員	要介護	61	60	59	61	64	58	60	55	56	57	58	58	707
		総合事業	10	10	10	10	9	8	9	8	9	7	6	6	102
		身体障害者													
	合計	71	70	69	71	73	66	69	63	65	64	64	64	809	
	利用延べ人員	要介護	476	478	440	490	515	429	501	456	406	433	455	501	5,580
		総合事業	54	51	47	50	44	43	52	46	45	40	35	38	545
		身体障害者													
	合計	530	529	487	540	559	472	553	502	451	473	490	539	6,125	
	一日平均人員	要介護	18.3	17.7	17.6	18.1	19.8	17.2	18.6	17.5	16.9	18.0	18.2	19.3	18.1
総合事業		2.1	1.9	1.9	1.9	1.7	1.7	1.9	1.8	1.9	1.7	1.4	1.5	1.8	
身体障害者															
合計(A)	20.4	19.6	19.5	20.0	21.5	18.9	20.5	19.3	18.8	19.7	19.6	20.7	19.9		
稼働率 (A/25×100)	81.5	78.4	77.9	80.0	86.0	75.5	81.9	77.2	75.2	78.8	78.4	82.9	79.5		

やすらぎ荘デイサービスセンター（認知型 定員：12名）

（単位：人）

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
令和3年度	運営日数	26	26	26	27	26	26	26	26	25	23	24	27	308	
	利用実人員	要介護	21	22	19	22	24	23	24	24	24	23	23	20	269
		総合事業													
		身体障害者													
	合計	21	22	19	22	24	23	24	24	24	23	23	20	269	
	利用延べ人員	要介護	198	203	190	212	210	207	202	190	200	181	173	226	2,392
		総合事業													
		身体障害者													
	合計	198	203	190	212	210	207	202	190	200	181	173	226	2,392	
	一日平均人員	要介護	7.6	7.8	7.3	7.9	8.1	8.0	7.8	7.3	8.0	7.9	7.2	8.4	7.8
総合事業															
身体障害者															
合計(A)	7.6	7.8	7.3	7.9	8.1	8.0	7.8	7.3	8.0	7.9	7.2	8.4	7.8		
稼働率 (A/12×100)	63.5	65.1	60.9	65.4	67.3	66.3	64.7	60.9	66.7	65.6	60.1	69.8	64.7		
令和2年度	運営日数	26	26	26	27	25	26	27	25	26	23	24	27	308	
	利用実人員	要介護	21	20	22	22	22	22	23	20	22	20	19	21	254
		総合事業													
		身体障害者													
	合計	21	20	22	22	22	22	23	20	22	20	19	21	254	
	利用延べ人員	要介護	190	214	235	239	231	243	234	207	238	185	182	213	2,611
		総合事業													
		身体障害者													
	合計	190	214	235	239	231	243	234	207	238	185	182	213	2,611	
	一日平均人員	要介護	7.3	8.2	9.0	8.9	9.2	9.3	8.7	8.3	9.2	8.0	7.6	7.9	8.5
総合事業															
身体障害者															
合計(A)	7.3	8.2	9.0	8.9	9.2	9.3	8.7	8.3	9.2	8.0	7.6	7.9	8.5		
稼働率 (A/12×100)	60.9	68.6	75.3	73.8	77.0	77.9	72.2	69.0	76.3	67.0	63.2	65.7	70.6		
令和元年度	運営日数	26	27	25	27	26	25	27	26	24	24	25	26	308	
	利用実人員	要介護	18	17	18	18	18	19	18	19	20	19	21	20	225
		総合事業													
		身体障害者													
	合計	18	17	18	18	18	19	18	19	20	19	21	20	225	
	利用延べ人員	要介護	170	201	185	204	180	171	192	184	186	167	204	196	2,240
		総合事業													
		身体障害者													
	合計	170	201	185	204	180	171	192	184	186	167	204	196	2,240	
	一日平均人員	要介護	6.5	7.4	7.4	7.6	6.9	6.8	7.1	7.1	7.8	7.0	8.2	7.5	7.3
総合事業															
身体障害者															
合計(A)	6.5	7.4	7.4	7.6	6.9	6.8	7.1	7.1	7.8	7.0	8.2	7.5	7.3		
稼働率 (A/12×100)	54.5	62.0	61.7	63.0	57.7	57.0	59.3	59.0	64.6	58.0	68.0	62.8	60.6		

ふく満デイサービスセンター(定員40名)

(単位:人)

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
令和3年度	運営日数	25	25	26	26	26	25	26	25	25	24	23	27	303	
	利用実人員	要介護	94	95	100	99	102	103	103	103	104	99	101	103	1,206
		総合事業	13	12	11	11	12	13	13	12	10	10	8	8	133
		合計	107	107	111	110	114	116	116	115	114	109	109	111	1,339
	利用延べ人員	要介護	739	714	788	814	820	835	852	817	821	695	688	816	9,399
		総合事業	73	67	71	70	71	79	77	74	64	57	40	52	795
		合計	812	781	859	884	891	914	929	891	885	752	728	868	10,194
	一日平均人員	要介護	29.6	28.6	30.3	31.3	31.5	33.4	32.8	32.7	32.8	29.0	29.9	30.2	31.0
		総合事業	2.9	2.7	2.7	2.7	2.7	3.2	3.0	3.0	2.6	2.4	1.7	1.9	2.6
		合計(A)	32.5	31.2	33.0	34.0	34.3	36.6	35.7	35.6	35.4	31.3	31.7	32.1	33.6
稼働率(A/40×100)	81.2	78.1	82.6	85.0	85.7	91.4	89.3	89.1	88.5	78.3	79.1	80.4	84.1		
令和2年度	運営日数	25	25	26	26	25	25	27	24	25	24	23	26	301	
	利用実人員	要介護	80	79	82	87	90	92	94	93	94	89	87	92	1,059
		総合事業	11	12	12	11	11	10	11	11	11	14	14	16	144
		合計	91	91	94	98	101	102	105	104	105	103	101	108	1,203
	利用延べ人員	要介護	668	687	745	799	782	802	835	738	736	619	645	743	8,799
		総合事業	66	75	72	78	57	50	74	66	77	74	77	98	864
		合計	734	762	817	877	839	852	909	804	813	693	722	841	9,663
	一日平均人員	要介護	26.7	27.5	28.7	30.7	31.3	32.1	30.9	30.8	29.4	25.8	28.0	28.6	29.2
		総合事業	2.6	3.0	2.8	3.0	2.3	2.0	2.7	2.8	3.1	3.1	3.3	3.8	2.9
		合計(A)	29.4	30.5	31.4	33.7	33.6	34.1	33.7	33.5	32.5	28.9	31.4	32.3	32.1
稼働率(A/40×100)	73.4	76.2	78.6	84.3	83.9	85.2	84.2	83.8	81.3	72.2	78.5	80.9	80.3		
令和元年度	運営日数	25	24	25	26	26	24	26	25	24	24	24	25	298	
	利用実人員	要介護	83	83	84	79	79	79	82	86	83	81	80	80	979
		総合事業	13	13	13	13	12	9	9	9	10	10	10	11	132
		合計	96	96	97	92	91	88	91	95	93	91	90	91	1,111
	利用延べ人員	要介護	709	682	693	679	708	663	731	724	667	631	628	664	8,179
		総合事業	72	69	68	70	71	56	59	58	55	57	51	62	748
		合計	781	751	761	749	779	719	790	782	722	688	679	726	8,927
	一日平均人員	要介護	28.4	28.4	27.7	26.1	27.2	27.6	28.1	29.0	27.8	26.3	26.2	26.6	27.4
		総合事業	2.9	2.9	2.7	2.7	2.7	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.1	2.5	2.5
		合計(A)	31.2	31.3	30.4	28.8	30.0	30.0	30.4	31.3	30.1	28.7	28.3	29.0	30.0
稼働率(A/40×100)	78.1	78.2	76.1	72.0	74.9	74.9	76.0	78.2	75.2	71.7	70.7	72.6	74.9		

デイサービスセンターいなみ (定員40名)

(単位：人)

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
令和3年度	運営日数	26	24	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	307	
	利用実人員	要介護	103	111	106	108	105	108	108	108	103	103	101	101	1,265
		総合事業	18	20	19	18	20	19	20	21	22	22	20	22	241
		身体障害者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		合計	122	132	126	127	126	128	129	130	126	126	122	124	1,518
	利用延べ人員	要介護	848	773	855	920	881	894	893	864	766	736	519	801	9,750
		総合事業	105	99	118	119	119	118	112	124	121	110	71	126	1,342
		身体障害者	4	3	6	7	7	7	8	6	7	5	3	4	67
		合計	957	875	979	1,046	1,007	1,019	1,013	994	894	851	593	931	11,159
	一日平均人員	要介護	32.6	32.2	32.9	34.1	33.9	34.4	34.3	33.2	30.6	30.7	21.6	29.7	31.8
総合事業		4.0	4.1	4.5	4.4	4.6	4.5	4.3	4.8	4.8	4.6	3.0	4.7	4.4	
身体障害者		0.2	0.1	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	
合計(A)		36.8	36.5	37.7	38.7	38.7	39.2	39.0	38.2	35.8	35.5	24.7	34.5	36.3	
稼働率(A/40×100)	92.0	91.1	94.1	96.9	96.8	98.0	97.4	95.6	89.4	88.6	61.8	86.2	90.8		
令和2年度	運営日数	25	24	26	26	25	25	27	23	24	23	23	26	297	
	利用実人員	要介護	92	92	97	95	91	95	98	98	90	89	93	98	1,128
		総合事業	18	19	19	19	19	21	21	20	20	18	18	18	230
		身体障害者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		合計	111	112	117	115	111	117	120	119	111	108	112	117	1,370
	利用延べ人員	要介護	733	715	766	750	730	745	800	704	709	612	684	793	8,741
		総合事業	93	90	96	113	99	110	122	94	103	91	88	104	1,203
		身体障害者	4	5	5	5	5	5	6	4	4	3	5	4	55
		合計	830	810	867	868	834	860	928	802	816	706	777	901	9,999
	一日平均人員	要介護	29.3	29.8	29.5	28.8	29.2	29.8	29.6	30.6	29.5	26.6	29.7	30.5	29.4
総合事業		3.7	3.8	3.7	4.3	4.0	4.4	4.5	4.1	4.3	4.0	3.8	4.0	4.1	
身体障害者		0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	
合計(A)		33.2	33.8	33.3	33.4	33.4	34.4	34.4	34.9	34.0	30.7	33.8	34.7	33.7	
稼働率(A/40×100)	83.0	84.4	83.4	83.5	83.4	86.0	85.9	87.2	85.0	76.7	84.5	86.6	84.1		
令和元年度	運営日数	25	24	25	27	26	23	25	24	24	23	23	25	294	
	利用実人員	要介護	88	94	98	95	93	98	100	98	96	91	92	96	1,139
		総合事業	26	25	23	23	18	18	17	16	18	18	18	18	238
		身体障害者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		合計	115	120	122	119	112	117	118	115	115	110	111	115	1,389
	利用延べ人員	要介護	685	659	723	742	766	726	753	727	691	657	686	747	8,562
		総合事業	148	138	125	128	95	89	95	85	88	86	79	88	1,244
		身体障害者	5	6	6	6	8	6	6	6	5	6	3	6	69
		合計	838	803	854	876	869	821	854	818	784	749	768	841	9,875
	一日平均人員	要介護	27.4	27.5	28.9	27.5	29.5	31.6	30.1	30.3	28.8	28.6	29.8	29.9	29.1
総合事業		5.9	5.8	5.0	4.7	3.7	3.9	3.8	3.5	3.7	3.7	3.4	3.5	4.2	
身体障害者		0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	
合計(A)		33.5	33.5	34.2	32.4	33.4	35.7	34.2	34.1	32.7	32.6	33.4	33.6	33.6	
稼働率(A/40×100)	83.8	83.6	85.4	81.1	83.6	89.2	85.4	85.2	81.7	81.4	83.5	84.1	83.9		

きららデイサービスセンター（定員：R02/12/01から30名）

（単位：人）

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
令和3年度	運営日数	26	26	26	27	26	26	26	26	27	24	24	27	311	
	利用実人員	要介護	72	73	78	77	75	78	80	81	79	80	80	79	932
		総合事業	12	11	10	10	12	12	10	9	7	8	6	7	114
		合計	84	84	88	87	87	90	90	90	86	88	86	86	1,046
	利用延べ人員	要介護	662	694	703	713	685	680	710	717	722	654	662	749	8,351
		総合事業	66	54	54	50	58	69	53	47	45	39	31	36	602
		合計	728	748	757	763	743	749	763	764	767	693	693	785	8,953
	一日平均人員	要介護	25.5	26.7	27.0	26.4	26.3	26.2	27.3	27.6	26.7	27.3	27.6	27.7	26.9
		総合事業	2.5	2.1	2.1	1.9	2.2	2.7	2.0	1.8	1.7	1.6	1.3	1.3	1.9
		合計(A)	28.0	28.8	29.1	28.3	28.6	28.8	29.3	29.4	28.4	28.9	28.9	29.1	28.8
稼働率(A/30×100)	93.3	95.9	97.1	94.2	95.3	96.0	97.8	97.9	94.7	96.3	96.3	96.9	96.0		
令和2年度	運営日数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	24	24	27	311	
	利用実人員	要介護	74	74	72	73	72	75	77	75	77	71	69	70	879
		総合事業	6	6	6	7	7	7	7	7	9	9	12	12	95
		合計	80	80	78	80	79	82	84	82	86	80	81	82	974
	利用延べ人員	要介護	665	667	667	689	674	668	705	651	702	595	605	652	7,940
		総合事業	30	29	31	40	29	34	33	36	44	40	54	65	465
		合計	695	696	698	729	703	702	738	687	746	635	659	717	8,405
	一日平均人員	要介護	25.6	25.7	25.7	25.5	25.9	25.7	26.1	26.0	26.0	24.8	25.2	24.1	25.5
		総合事業	1.2	1.1	1.2	1.5	1.1	1.3	1.2	1.4	1.6	1.7	2.3	2.4	1.5
		合計(A)	26.7	26.8	26.8	27.0	27.0	27.0	27.3	27.5	27.6	26.5	27.5	26.6	27.0
稼働率	95.5	95.6	95.9	96.4	96.6	96.4	97.6	98.1	92.1	88.2	91.5	88.5	94.4		
令和元年度	運営日数	26	27	25	27	27	25	27	26	26	24	25	26	311	
	利用実人員	要介護	66	66	68	69	73	72	71	72	71	68	69	71	836
		総合事業	7	8	8	8	6	7	7	7	7	7	7	7	86
		合計	73	74	76	77	79	79	78	79	78	75	76	78	922
	利用延べ人員	要介護	572	609	553	610	641	589	609	584	615	566	592	669	7,209
		総合事業	26	47	39	41	34	32	37	39	37	36	36	40	444
		合計	598	656	592	651	675	621	646	623	652	602	628	709	7,653
	一日平均人員	要介護	22.0	22.6	22.1	22.6	23.7	23.6	22.6	22.5	23.7	23.6	23.7	25.7	23.2
		総合事業	1.0	1.7	1.6	1.5	1.3	1.3	1.4	1.5	1.4	1.5	1.4	1.5	1.4
		合計(A)	23.0	24.3	23.7	24.1	25.0	24.8	23.9	24.0	25.1	25.1	25.1	27.3	24.6
稼働率(A/28×100)	82.1	86.8	84.6	86.1	89.3	88.7	85.4	85.6	89.6	89.6	89.7	97.4	87.9		

4 訪問介護事業

(1) 事業概況

旅川ホームヘルプサービス事業所

今年度は職員の変動があり常勤職員3名と非常勤職員4名の常勤換算4.96人（前年より△0.04）での活動となった。

新規相談の年間件数25件（前年度35件）そのうち17件（前年度20件）利用に繋がった。前年と比較すると生活援助の訪問件数が減り身体介護の訪問件数が増えた。

年間訪問回数は4,793回（前年度4,754回）となり39回増加した。障害福祉サービス事業では年間513回（前年度500回）と13回増加した。

自然災害対策では、災害に備え多職種と話し合い介護サービスが安定的・継続的に提供されることの重要性について知識を深めることができた。新型コロナの関係では、訪問や勤務を調整することが数回あり、常に体調管理・感染対策を行い業務にあたった。

サービス活動増減差額は1,768千円（前年度△1,085千円）となった。

ふく満ホームヘルプサービス事業所

今年度は8月に4時間の臨時職員が入り常勤8名、非常勤2名体制、定期巡回事業と兼務し常勤換算平均3.1人で訪問活動した。

新規利用者は8名で、入院、施設入所等で除籍者は13名あり、月平均利用者は37名で前年度より8名減少した。

訪問回数は、介護保険事業で年間4,525回（昨年度5,432回）で907回減少した。また障害福祉サービス事業では年間390回（前年度681回）と291回減少した。これは、障害者が65歳以上となり、介護保険へ移行した事、また定期巡回訪問が増加する反面、訪問介護の新規受け入れができず大幅な減少となった。

今年度9月より特定事業所加算（I）を算定することが出来た。また、富山県介護施設ICT導入支援事業補助金を受け、介護記録入力ソフト「すぐろく」を導入した。令和4年2月より記録の電子化を開始、記録の転記削減、請求業務など業務改善し、利用者援助の充実を図るよう繋げて行きたい。

昨年に続きコロナ対策に重点をおき、利用者にもマスク着用等の協力を求め対応した。利用者1名がショート帰宅後濃厚接触者と判明し、訪問は防護服着用で対応した。幸い再検査で陰性であったが、今後も感染対策に気を引き締めて対応していきたい。また、コロナを含めた自然災害時のBCP（業務継続計画）作成に取り組んだ。雪対策は独居3名は冬季入所や、ショート利用、食材の備蓄等対応し、トリアージ表を作成した。今後は他職種、地域との連携を密にしていきたい。

サービス活動増減差額は、4,356千円（前年度4,956千円）となった。

(2) 訪問人数・回数

旅川ホームヘルプサービス事業所

（複数訪問含む）

年度	区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	介護保険対象者	申請者数	44	44	44	45	45	46	43	44	43	44	42	45	529
		訪問回数	415	392	403	403	365	357	362	330	323	313	276	341	4,280
	身体障害者	申請者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		訪問回数	4	2	5	4	4	4	4	2	4	4	3	5	45
	知的障害者	申請者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		訪問回数	17	15	17	17	16	16	17	16	17	15	14	17	194
精神障害者	申請者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23	
	訪問回数	26	26	26	26	25	24	26	25	21	21	15	13	274	
合計	申請者数	48	48	48	49	49	50	47	48	47	48	46	48	576	
訪問回数	462	435	451	450	410	401	409	373	365	353	308	376	4,793		
令和2年度	介護保険対象者	申請者数	40	39	42	40	43	43	43	43	44	45	45	46	513
		訪問回数	334	325	358	352	326	329	375	326	357	346	361	466	4,255
	身体障害者	申請者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		訪問回数	4	2	4	5	4	5	4	3	4	3	4	4	46
	知的障害者	申請者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		訪問回数	17	15	17	17	16	15	18	16	16	15	15	18	195
精神障害者	申請者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
	訪問回数	17	16	18	22	19	18	23	25	26	24	24	27	259	
合計	申請者数	44	43	46	44	47	47	47	47	48	49	49	50	561	
訪問回数	372	358	397	396	365	367	420	370	403	388	404	515	4,755		
令和元年度	介護保険対象者	申請者数	47	49	48	48	47	47	47	45	42	44	41	38	543
		訪問回数	419	443	449	484	454	444	438	399	369	324	333	375	4,931
	身体障害者	申請者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		訪問回数	4	3	4	3	3	3	5	3	4	4	4	4	44
	知的障害者	申請者数	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
		訪問回数	25	16	16	17	15	15	17	16	16	15	14	16	198
精神障害者	申請者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
	訪問回数	16	19	16	17	16	14	17	16	14	15	14	16	190	
合計	申請者数	52	53	52	52	51	51	51	49	46	48	45	42	592	
訪問回数	464	481	485	521	488	476	477	434	403	358	365	411	5,363		

ふく満ホームヘルプサービス事業所

(複数訪問含む)

年度	区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和3年度	介護保険対象者	申請者数	37	37	37	37	38	37	35	36	35	28	29	28	414	
		訪問回数	430	419	419	366	389	369	371	408	375	324	319	336	4,525	
	身体障害者	申請者数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	38
		訪問回数	34	35	26	21	17	20	26	24	22	22	18	22	27	292
	知的障害者	申請者数	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
		訪問回数	18	16	16	17	4	4	3	4	3	4	4	4	5	98
	精神障害者	申請者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
訪問回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
移動支援	申請者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	訪問回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計		申請者数	43	43	42	42	42	41	39	40	39	32	33	32	468	
		訪問回数	482	470	461	404	410	393	400	436	400	346	345	368	4,915	
令和2年度	介護保険対象者	申請者数	41	43	43	44	41	43	43	41	41	40	39	40	499	
		訪問回数	398	395	429	470	455	495	520	479	511	422	401	457	5,432	
	身体障害者	申請者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	
		訪問回数	35	25	27	32	31	30	36	30	33	26	26	32	363	
	知的障害者	申請者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	35
		訪問回数	27	30	29	29	24	29	29	27	28	21	20	25	318	
	精神障害者	申請者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
訪問回数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
移動支援	申請者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	訪問回数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計		申請者数	47	49	50	50	47	49	49	47	47	46	44	46	571	
		訪問回数	460	450	486	531	510	554	585	536	572	469	447	514	6,114	
令和元年度	介護保険対象者	申請者数	40	43	41	43	44	48	47	47	45	42	41	41	522	
		訪問回数	384	418	371	436	459	475	535	508	488	425	408	424	5,331	
	身体障害者	申請者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	
		訪問回数	38	35	26	30	33	28	33	38	37	32	33	36	399	
	知的障害者	申請者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	
		訪問回数	30	32	28	32	31	27	32	29	29	27	30	28	355	
	精神障害者	申請者数														
訪問回数																
移動支援	申請者数							1			1	1			3	
	訪問回数							2			2	1			5	
合計		申請者数	46	49	47	49	50	55	53	53	52	49	47	47	597	
		訪問回数	452	485	425	498	523	532	600	575	556	485	471	488	6,090	

(3) 活動内容・件数

旅川ホームヘルプサービス事業所

年度	区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和3年度	身体介護	件数	25	26	27	26	26	29	28	28	28	29	30	33	335	
		延数	247	237	254	241	220	226	240	231	232	219	196	250	2,793	
	生活援助	件数	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	8	
		延数	4	4	3	3	2	3	0	1	0	0	0	1	21	
	身体&生活混合	件数	9	10	10	9	9	9	6	6	4	4	4	4	84	
		延数	91	89	85	94	78	65	48	25	19	19	16	23	652	
	介護 小計	延数	342	330	342	338	300	294	288	257	251	238	212	274	3,466	
	訪問型サービスⅠ	件数	7	7	7	8	7	7	8	8	8	8	7	5	4	83
		延数	27	29	28	34	27	27	30	32	32	32	27	19	19	331
	訪問型サービスⅡ	件数	5	4	4	4	5	5	5	5	5	5	6	6	6	60
		延数	40	33	33	31	38	36	44	41	40	48	45	48	48	477
	訪問型サービスⅢ	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問型みなし小計	延数	67	62	61	65	65	63	74	73	72	75	64	67	808	
障害	居宅介護	身体介護	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
		延数	17	15	17	17	16	16	17	16	17	15	14	17	194	
	家事援助	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
		延数	4	2	5	4	4	4	4	2	4	4	3	5	45	
	身体&生活混合	件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	23	
		延数	26	26	26	26	25	24	26	25	21	21	15	13	274	
障害者 小計	延数	47	43	48	47	45	44	47	43	42	40	32	35	513		
合計	件数	48	48	48	49	49	50	47	48	47	48	46	48	576		
	延数	462	435	451	450	410	401	409	373	365	353	308	376	4,793		
	活動日数		25	24	26	27	25	26	26	24	25	24	22	26	300	
令和2年度	身体介護	件数	23	24	27	24	23	22	23	24	25	26	26	26	293	
		延数	185	186	229	214	179	181	205	177	192	189	202	284	2,423	
	生活援助	件数	3	2	2	2	2	3	3	2	2	3	2	2	28	
		延数	11	4	6	6	6	6	7	8	8	10	6	7	85	
	身体&生活混合	件数	12	12	11	8	10	8	9	10	9	9	12	12	122	
		延数	85	85	68	76	74	76	84	76	83	79	86	97	969	
	介護 小計	延数	281	275	303	296	259	263	296	261	283	278	294	388	3,477	
	訪問型サービスⅠ	件数	7	7	7	8	8	10	10	9	8	8	8	6	96	
		延数	29	25	29	31	34	37	44	34	31	31	30	39	394	
	訪問型サービスⅡ	件数	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	7	50	
		延数	24	25	25	25	33	29	35	31	43	37	37	37	381	
	訪問型サービスⅢ	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		延数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	訪問型みなし小計	延数	53	50	54	56	67	66	79	65	74	68	67	76	775	
障害	居宅介護	身体介護	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
		延数	17	15	17	17	16	15	18	16	16	15	15	13	190	
	家事援助	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
		延数	4	2	4	5	4	5	4	3	4	3	4	4	46	
	身体&生活混合	件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
		延数	17	16	18	22	19	18	23	25	26	24	24	32	264	
障害者 小計	延数	38	33	39	44	39	38	45	44	46	42	43	49	500		
合計	件数	44	43	46	44	47	47	47	47	48	49	49	53	564		
	延数	372	358	397	396	365	367	420	370	403	388	404	466	4,706		
	活動日数		26	24	26	27	25	26	27	23	25	23	22	27	301	

年度	区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	身体介護	件数	26	25	22	21	22	22	20	18	17	20	16	14	243
		延数	319	324	333	337	309	311	291	272	257	207	209	235	3,404
	生活援助	件数	4	3	4	5	5	5	6	7	5	4	4	3	55
		延数	24	17	10	22	42	38	45	45	18	16	16	12	305
	身体&生活混合	件数	9	8	9	9	8	9	10	10	10	10	11	11	114
		延数	43	47	49	59	44	42	46	38	46	47	60	72	593
	介護 小計	延数	386	388	392	418	395	391	382	355	321	270	285	319	4,302
	訪問型サービスⅠ	件数	7	10	10	9	8	8	8	8	7	7	7	7	96
		延数	26	33	34	39	31	33	30	28	25	30	24	29	362
	訪問型サービスⅡ	件数	1	3	3	4	4	3	3	2	3	3	3	3	35
		延数	7	22	23	27	28	20	26	16	23	24	24	27	267
	訪問型サービスⅢ	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		延数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問型みなし小計	延数	33	55	57	66	59	53	56	44	48	54	48	56	629
障害	居宅介護	身体介護	件数	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
		延数	25	16	20	21	20	19	22	20	20	19	18	20	240
	家事援助	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		延数	4	3	4	3	3	3	5	3	4	4	4	4	44
	身体&生活混合	件数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
		延数	16	19	12	13	11	10	12	12	10	11	10	12	148
障害者 小計	延数	45	38	36	37	34	32	39	35	34	34	32	36	432	
合計	件数	52	53	52	52	51	51	51	49	46	48	45	42	592	
	延数	464	481	485	521	488	476	477	434	403	358	365	411	5,363	
	活動日数	26	25	25	26	26	25	25	24	24	27	23	25	301	

ふく満ホームヘルプサービス事業所

年度	区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和3年度	身体介護	件数	15	15	16	15	17	17	15	19	19	15	15	14	192	
		延数	265	267	259	209	244	231	249	276	263	228	229	233	2,953	
	生活援助	件数	1	1	1	1	1	1	1					1	8	
		延数	4	3	5	5	5	4	4					3	33	
	身体&生活混合	件数	12	13	13	13	13	11	12	11	11	9	9	9	136	
		延数	100	99	104	99	97	90	83	95	72	59	58	68	1,024	
	介護 小計	延数	369	369	368	313	346	325	336	371	335	287	287	304	4,010	
	訪問型サービスⅠ	件数	8	6	7	5	5	5	5	5	5	3	3	3	60	
		延数	25	24	21	22	17	21	19	19	22	12	12	14	228	
	訪問型サービスⅡ	件数	4	3	6	4	3	3	2	2	2	2	3	2	36	
		延数	36	26	30	31	26	23	16	18	18	25	20	18	287	
	訪問型サービスⅢ	件数														
		延数														
	訪問型みなし小計	延数	61	50	51	53	43	44	35	37	40	37	32	32	515	
	障害	居宅介護	身体介護	件数	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	41
			延数	41	36	24	23	8	9	12	12	12	11	12	14	214
		家事援助	件数													
			延数													
		身体&生活混合	件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
延数			8	8	9	8	10	8	8	10	8	9	8	9	103	
同行援護	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		
	延数	3	7	9	7	3	7	9	6	5	2	6	9	73		
障害者 小計	延数	52	51	42	38	21	24	29	28	25	22	26	32	390		
移動支援	件数															
	延数															
合計	件数	48	45	50	45	45	43	41	43	43	35	36	35	509		
	延数	482	470	461	404	410	393	400	436	400	346	345	368	4,915		
	活動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		

年度	区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
令和2年度	身体介護	件数	24	30	28	30	30	32	32	32	33	30	28	25	354		
		延数	210	225	239	284	292	318	343	322	356	284	260	294	3,427		
	生活援助	件数						1	2	1	1	1	1	2	9		
		延数						4	4	4	5	4	4	6	31		
	身体&生活混合	件数	16	16	15	14	12	18	18	14	13	14	14	14	178		
		延数	110	98	106	102	87	107	106	100	95	87	82	95	1,175		
	介護 小計	延数	320	323	345	386	379	429	453	426	456	375	346	395	4,633		
	訪問型サービスⅠ	件数	6	6	5	5	4	4	4	5	5	5	6	6	61		
		延数	26	25	23	20	15	16	16	19	21	18	23	27	249		
	訪問型サービスⅡ	件数	5	5	6	6	6	6	6	4	4	4	4	4	60		
		延数	40	35	48	51	49	50	51	34	34	29	32	35	488		
	訪問型サービスⅢ	件数	1	1	1	1	1								5		
		延数	12	12	13	13	12								62		
	訪問型みなし小計	延数	78	72	84	84	76	66	67	53	55	47	55	62	799		
	障害	居宅介護	身体介護	件数	5	5	5	5	4	5	5	5	4	4	4	5	56
			延数	40	41	39	42	37	41	44	39	39	36	35	41	474	
		家事援助	件数														
			延数														
		身体&生活混合	件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
			延数	12	13	14	13	12	13	13	13	13	8	8	10	142	
同行援護	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		
	延数	10	1	3	6	6	5	8	5	9	3	3	6	65			
障害者 小計	延数	62	55	56	61	55	59	65	57	61	47	46	57	681			
移動支援	件数			1											1		
	延数			1											1		
合計	件数	60	66	64	64	60	69	70	64	63	61	60	59	760			
	延数	460	450	486	531	510	554	585	536	572	469	447	514	6,114			
活動日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365			
令和元年度	身体介護	件数	24	29	25	28	30	35	31	32	30	28	31	30	353		
		延数	198	219	197	226	235	259	298	295	272	227	215	235	2,876		
	生活援助	件数			1	1									2		
		延数			1	1									2		
	身体&生活混合	件数	15	15	14	16	17	19	15	15	16	18	15	17	192		
		延数	122	122	104	130	151	142	150	137	137	130	128	111	1,564		
	介護 小計	延数	320	341	302	357	386	401	448	432	409	357	343	346	4,442		
	訪問型サービスⅠ	件数	5	7	6	6	5	7	7	6	5	5	5	6	70		
		延数	21	28	23	24	22	25	32	24	22	20	17	26	284		
	訪問型サービスⅡ	件数	4	5	5	5	5	5	5	6	6	5	5	5	61		
		延数	30	37	37	42	39	38	43	40	44	37	37	40	464		
	訪問型サービスⅢ	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12		
		延数	13	12	9	13	12	11	12	12	13	11	11	12	141		
	訪問型みなし小計	延数	64	77	69	79	73	74	87	76	79	68	65	78	889		
	障害	居宅介護	身体介護	件数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60	
			延数	40	46	39	43	45	39	46	42	40	38	41	39	498	
		家事援助	件数														
			延数														
		身体&生活混合	件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
			延数	15	13	11	14	13	13	13	13	14	12	13	14	158	
同行援護	件数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12			
	延数	13	12	4	5	6	8	10	12	12	9	9	11	111			
障害者 小計	延数	68	71	54	62	64	60	69	67	66	59	63	64	767			
移動支援	件数							1			1	1		3			
	延数							2			2	1		5			
合計	件数	57	65	60	65	66	76	67	68	67	66	65	67	789			
	延数	452	489	425	498	523	537	604	575	556	485	471	488	6,103			
活動日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366			

5 訪問入浴介護事業

ふく満訪問入浴介護事業所

(1) 事業概況

今年度の活動日数は245日（前年度245日）、訪問回数は439回（前年度448回）、申請者数は154人（前年度150人）と活動日数は同じであったが、訪問回数は減少、申請者数は前年度より増加した。要因としては入院や死亡等の急なキャンセルに対応が出来ず、訪問回数が減少した。申請者数は、他事業所の休止により、受入先が無い利用者を受け入れたり、終末期の利用者を受け入れたりし、入浴が困難な利用者や家族に喜んでいただいた。

コロナ等の感染症対策のため、手指や器具のアルコール消毒を十分に行い、安全な訪問入浴を行った。遠方の地域の利用者が増えており、安全運転に心がけ、時間に余裕を持って業務ができるように努めた。多くの方に訪問入浴を理解してもらい、身体の清潔を保ち、穏やかな気持ちで在宅生活を継続していただけるように支援したい。

(2) 訪問人数・回数

年度	区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	介護保険対象者	申請者数	14	15	14	13	12	12	12	12	12	12	13	13	154
		訪問回数	39	34	40	37	40	38	33	37	37	31	32	41	439
	活動日数		21	18	22	20	21	21	21	21	21	21	19	18	22
令和2年度	介護保険対象者	申請者数	12	11	11	13	12	10	13	11	13	14	14	16	150
		訪問回数	38	31	40	40	38	38	39	33	36	35	36	44	448
	活動日数		21	18	22	21	21	21	21	19	20	19	19	23	245
令和元年度	介護保険対象者	申請者数	9	10	11	12	11	11	12	12	13	12	11	11	135
		訪問回数	34	34	37	42	40	35	40	37	38	35	34	40	446
	活動日数		20	20	20	22	21	19	21	20	20	19	18	21	241

6 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業

(1) 事業概況

北部定期巡回センター

開設から6年経過し、経営力向上のため損益分岐点の数値目標が今年度も示された。北部定期巡回事業では、月平均利用者30名、平均要介護度2.5の数値目標に向けて稼働を踏った。結果、月平均利用者数は29.6名で、平均介護度2.6であった。延べ利用者数は昨年より減となったが、平均介護度が高めであったことが損益分岐点をクリアした要因になった。利用者数、平均要介護度、訪問回数が職員の忙しさ（繁忙度）に影響するが、利用者に安全、安心な質の高い介護を提供するためには、提供する介護内容や訪問回数まで吟味する必要がある。要介護度が高い住民が、在宅療養を希望される傾向が出てきたことは、定期巡回サービスによって「自宅で暮らす」選択肢が、住民に広がっている表れともいえる。事業所運営に関して、24時間365日体制の創設3年目から経営健全化に取り組み黒字に改善した。一方24時間稼働により、職員の安全な業務が原資となるが、近年の異常気象下により、令和3年1月大雪警報発令時に労災事故が発生した。職員のリスクマネジメントが新たな課題になった。異常気象時のBCP（業務継続計画）を他事業所連携して検討した。異常気象警報発令時、訪問回数のトリージ、事前退避手段として、ショートステイ利用も計画に加えた。

収支状況ではサービス活動増減差額は、5,922千円（前年度4,369千円）となった。

南部定期巡回センター

今年度は8月に4時間の臨時職員が入り常勤8名、非常勤2名体制、訪問介護事業と兼務し常勤換算月平均5.6人で訪問活動した。

利用者数は開設時、月平均11人から徐々に増加し今年度は18人（昨年度16人）となった。しかし、要介護1、2の利用が増え、要介護度平均2.4（全国平均2.5）で軽度認知症高齢者夫婦の生活を支えている。在宅看取りは6件あり介護度は高いが、短期間（2日間～32日間）の利用で日割りとなった。短期間の中訪問看護と連携を密にして、ターミナルケアに関わり、吸痰ケアなど看取り介護の質も向上した。また、定期巡回の特徴であるテレビ電話を活用して、山間地に暮らす独居の服薬管理に1回の訪問で配薬し、朝・夕の時間にテレビ電話で服薬確認することで、体調が安定し在宅生活維持が出来ている。

コロナ対策は昨年度に続き重点をおき、利用者にもマスク着用の協力を求めた。南砺市に拡大した時は緊張感をもって訪問活動した。幸い定期巡回利用者に陽性疑い等はなかった。

今後コロナ含めて自然災害時のBCP（業務継続計画）に取り組み、多職種、地域との連携を図り、職員の安全と利用者サービス提供に努めていきたい。

収支状況ではサービス活動増減差額は、6,739千円（前年度3,234千円）となった。

(2) 訪問人数・回数

北部定期巡回センター

年度	区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	介護保険対象者	利用者数	30	32	31	31	31	29	28	30	29	28	28	29	356
		訪問回数	2,130	2,143	2,141	2,208	2,259	1,944	1,818	1,893	2,037	1,838	1,716	1,932	24,059
	活動日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
令和2年度	介護保険対象者	利用者数	29	31	33	35	31	31	33	32	31	32	28	30	376
		訪問回数	1,801	2,189	2,138	2,283	2,103	2,073	2,293	2,428	2,165	2,095	1,804	2,028	25,400
	活動日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
令和元年度	介護保険対象者	利用者数	28	29	27	27	27	27	28	27	28	28	29	29	334
		訪問回数	2,139	2,090	2,052	2,220	1,975	1,993	2,097	2,059	2,024	1,864	1,843	2,186	24,542
	活動日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366

（複数訪問含む）

南部定期巡回センター

年度	区分	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	介護保険対象者	利用者数	16	17	18	18	18	18	18	19	19	20	19	20	220
		訪問回数	1,218	1,333	1,208	1,260	1,128	1,101	1,146	1,126	1,253	1,111	1,012	1,179	14,075
	活動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
令和2年度	介護保険対象者	利用者数	15	16	15	17	17	17	18	18	16	18	16	16	199
		訪問回数	1,107	1,242	1,275	1,365	1,336	1,315	1,449	1,410	1,298	1,216	1,080	1,320	15,413
	活動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
令和元年度	介護保険対象者	利用者数	15	16	16	16	16	13	14	16	13	12	12	12	171
		訪問回数	831	1,063	1,144	1,219	1,349	1,168	1,236	1,237	1,088	1,016	988	1,123	13,462
	活動日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366	

7 福祉用具貸与事業

旅川福祉用具貸与事業所

(1) 事業概況

6月に実人数が100名に達し、年間の利用人数で見ると月平均103.9人（前年度102.5人）と1.4人増加した。今年度の上限価格改定では約8割の利用者が値下げ対象となり、月平均5万円もの減収となったが、併せて取引業者へ交渉し契約価格も同額分減額してもらうことが出来た。

カンファレンスや家屋評価等には積極的に参加し、多職種との情報共有を図り、綿密な連携に努めた。特に在宅で終末期を過ごされる方にとって福祉用具は必要な事が多く、迅速な対応は勿論、その後も本人や家族の思いに寄り添いながら、少しでも快適に過ごしていただく為の一助となれるよう使命感を持って関わることに努めた。

収支状況ではサービス活動増減差額は、227千円（前年度41千円）となった。

(2) 物件別利用件数

(単位：件)

物件	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
車椅子	本年	29	31	30	31	35	34	33	34	31	31	28	30	377
	前年	29	30	28	30	33	30	28	25	25	28	32	30	348
車椅子付属品	本年	12	12	11	10	10	10	10	12	11	11	10	10	129
	前年	12	12	12	14	15	15	16	13	13	13	13	12	160
特殊寝台	本年	41	41	41	44	43	41	41	43	43	41	37	37	493
	前年	43	44	45	46	48	48	47	44	43	44	45	44	541
特殊寝台付属品	本年	146	150	146	151	140	137	137	144	139	134	123	127	1,674
	前年	146	153	157	159	166	164	163	148	149	153	159	158	1,875
床ずれ防止用具	本年	25	24	23	24	23	22	23	27	22	23	22	22	280
	前年	26	26	24	25	26	26	25	23	23	24	24	25	297
体位変換器	本年	1	1									3	2	7
	前年												1	1
手すり	本年	93	101	106	112	112	120	135	130	128	124	116	121	1,398
	前年	129	126	117	117	115	112	103	103	100	94	98	104	1,318
スロープ	本年	51	54	58	63	66	64	73	77	66	63	57	59	751
	前年	49	47	45	47	49	52	49	43	46	52	61	60	600
歩行器	本年	38	38	40	41	42	42	43	45	44	40	38	39	490
	前年	47	46	41	42	44	45	42	41	37	38	38	37	498
歩行補助つえ	本年	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7	8	6	76
	前年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	6	51
徘徊感知機器	本年				2	2	2	2	2	1	1	1	1	14
	前年					1								1
移動用リフト（つり具の部分を除く）	本年													
	前年													
自動排泄処理装置	本年													
	前年													
計	本年	441	458	461	484	479	478	503	521	492	475	443	454	5,689
	前年	485	488	473	484	501	496	477	444	440	450	475	477	5,690

(3) 相談件数

(単位：件)

区分内容	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	本年	13	15	33	16	16	16	12	17	16	18	22	22	216
	前年	25	23	7	27	24	22	20	22	28	17	22	20	257
来所	本年	7	3	10	2	9	2	4	2	3	6	3	2	53
	前年	7	4	7	4	14	8	7	13	9	4	5	7	89
訪問	本年	79	82	90	75	70	80	86	96	75	58	83	74	948
	前年	66	77	66	90	74	80	74	65	63	67	79	66	867
計	本年	99	100	133	93	95	98	102	115	94	82	108	98	1,217
	前年	98	104	80	121	112	110	101	100	100	88	106	93	1,213

8 居宅介護支援事業

(1) 事業概況

旅川居宅介護支援事業所

新規件数は前年度より増加、また要介護の給付管理件数、介護予防・総合事業の支援と共に145件以上と大幅に増加した。給付管理件数アップに向けて、他の居宅が受け入れ困難な時に紹介して頂いたり、申請中で要介護がつきそうな方についても、包括や病院の連携室より紹介して頂けるよう積極的に働きかけたことが、結果として給付管理件数を伸ばすことができたと思われる。

コロナ禍でターミナル件数も増え、入院・退院時の情報提供、退院前カンファレンス等へ参加し、医療、多職種との連携を図り支援に対応した。地域の資源や力を再確認し、地域の方との連携、協働の必要性を認識した。また事例検討会や各種研修会（zoomなど）に積極的に参加し職員の資質向上にも取り組んだ。

サービス活動増減差額は、2,116千円（前年度△3,784千円）となった。

やすらぎ荘居宅介護支援事業所

給付管理件数は、要介護、介護予防・総合事業を合わせて、前年度より81件増加した。新規は月平均6.5件、終了は月平均5件であった。終了の内訳は死去28件、入居30件、サービス利用無し1件、要支援となり包括へ依頼1件である。南砺市内の居宅事業所が3月末で閉鎖となり、3月に居宅支援の引き継ぎを行った。

今年度は、4月から業務改善に力を入れた。事務処理にかける時間をいかに短縮するかを全員で話し合い、実行に移すことができた。事務処理が時間短縮できた分、対人援助や新規受け入れ、研修の参加を積極的に行っていきたい。また、業務をマニュアル化することで、事業所内のケアマネが統一した業務を行えるようにしたいと考えている。次年度は業務マニュアルの作成を行う。

福光地域の居宅介護支援事業所全体で年2回の合同研修を行うことができた。他法人の介護支援専門員との交流は、情報交換を行ったり、視野を広げたりする良い機会となっている。今後も、研修会の参加はもちろん、地域の介護支援専門員と情報交換を行い、職員の資質向上を図っていきたい。

サービス活動増減差額は、8,263千円（前年度5,757千円）となった。

ふく満居宅介護支援事業所

今年度は常勤換算4人体制で介護予防・介護給付管理数月35.8人平均と当初の目標数を達成することができた。また、ケアマネジメント業務内容改善に対する職員間の現状・課題・改善方法について繰り返し話し合い、煩雑な事務作業に追われてケアマネジメント本来の業務である利用者の支援が充分には行えているのかという現状の悩みから事務作業の一部を改善した。業務改善については、次年度以降も職員間や福寿会居宅支援事業所部会でも意見交換しながら取り組みたい。

次年度については、福光地域内の居宅支援事業所や包括支援センター・社会福祉協議会が集う研修会への参加に努め、地域課題に対する視点を持ち、在宅生活支援が滞りなく運営できるように尽力していきたい。

サービス活動増減差額は、3,691千円（前年度3,195千円）となった。

いなみ居宅介護支援事業所

令和3年度の当事業所における要介護給付管理件数は、令和2年度より90件増加した（介護予防は27件減）。医療機関や包括支援センター等からの新規相談を可能な限り受入れ、令和2年度よりケアプラン新規作成件数が12件増となった事が要因と思われる。

また、入院時情報提供や退院時カンファレンス及び情報の聞き取りを通じ、医療機関との連携を密に行い、退院後も必要なサービス等を確保する事で安心して地域で生活できるよう支援する事ができた。

令和4年度も新規相談を積極的に受け入れる体制の継続に加え、各種研修（オンライン含）、事例検討会、及び事業所内ケアプラン点検等において介護支援専門員の資質向上を図り、利用者及び家族の生活支援に繋げていきたい。

サービス活動増減差額は、△2,015千円（前年度△2,385千円）となった。

きらら居宅介護支援事業所

介護支援専門員2名体制であったが、新規依頼を積極的に受け入れ、要介護、介護予防あわせて前年度より給付管理数は増加した。終了ケースについては、死亡者7名、施設入居（特養、老健、グループホーム等）12名であった。引き続き依頼があれば要介護、介護予防ともに受け入れていく

コロナ禍のため、退院、退居後のサービス調整を行う際に、家屋評価に本人が参加されない、退院前カンファレンスで本人の意向が確認できないことがあり、退院してすぐにサービスの追加や、施設への申し込みを行ったケースがあった。本人、家族の思いに寄り添い信頼関係を構築し、自立支援に向けてのケアマネジメントを行っていききたい。

次年度も、法人外の支援事業所や他職種との連携、資質向上を図る研修への参加に努めたい。

収支状況については、サービス活動増減差額は△986千円（前年度△1,342千円）となった。

①月別活動状況

旅川居宅介護支援事業所

(単位：件)

内 訳	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン新規作成件数	R 3	6	6	8	6	11	8	9	5	9	5	3	15	91
	R 2	5	7	8	1	9	9	6	5	5	4	3	8	70
	R 1	7	2	5	7	5	5	7	6	7	5	7	4	67
要介護給付管理件数	R 3	235	236	243	242	258	262	262	270	263	251	237	255	3,014
	R 2	246	250	245	236	243	243	237	236	235	229	230	239	2,869
	R 1	260	259	262	265	264	269	265	260	263	258	249	251	3,125
介護予防ケアプラン件数	R 3	8	6	6	6	6	12	12	13	14	14	14	14	125
	R 2	8	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	93
	R 1	16	17	15	15	14	16	16	14	14	14	14	13	178

やすらぎ荘居宅介護支援事業所

(単位：件)

内 訳	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン新規作成件数	R 3	4	7	2	8	1	6	3	5	7	5	8	10	66
	R 2	6	4	5	3	7	5	3	6	8	16	2	5	70
	R 1	7	7	5	6	2	1	4	5	5	4	5	3	54
要介護給付管理件数	R 3	184	185	175	181	183	175	177	177	179	172	175	182	2,145
	R 2	164	164	164	163	170	173	171	175	176	185	179	172	2,056
	R 1	148	155	160	164	164	158	155	155	158	160	164	162	1,903
介護予防ケアプラン件数	R 3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	2	4	4	44
	R 2	5	5	5	5	4	4	5	4	4	4	4	3	52
	R 1	8	8	8	9	8	7	7	6	6	4	4	5	80

ふく満居宅介護支援事業所

(単位：件)

内 訳	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン新規作成件数	R 3	6	6	7	2	3	1	4	3	6	1	2	6	47
	R 2	3		5	2	3	7	4	4	5	5	6	4	48
	R 1	1	4	5	2	5	6	7	7	5	4	2	0	48
要介護給付管理件数	R 3	137	137	142	142	141	140	141	141	142	138	135	137	1,673
	R 2	135	135	134	135	128	129	131	132	135	133	135	136	1,598
	R 1	139	138	138	134	135	133	138	145	144	143	141	142	1,670
介護予防ケアプラン件数	R 3	5	5	4	4	3	3	3	4	4	4	4	6	49
	R 2	10	11	11	11	11	10	10	10	10	9	6	7	116
	R 1	13	14	13	13	13	12	12	12	11	11	11	10	145

いなみ居宅介護支援事業所

(単位：件)

内 訳	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン新規作成件数	R 3	4	4	7	6	3	4	2	1	4	1	4	4	44
	R 2		3	4	3	3		4	3	1	1	5	5	32
	R 1	3	2	2	4	2	3	1	6	2	3	3	3	34
要介護給付管理件数	R 3	93	100	98	101	101	102	104	101	104	101	102	101	1,208
	R 2	96	98	103	100	94	89	93	98	88	87	87	85	1,118
	R 1	91	92	90	95	96	100	96	100	98	92	90	96	1,136
介護予防ケアプラン件数	R 3	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	56
	R 2	9	10	7	7	7	7	7	6	6	6	5	6	83
	R 1	14	14	14	13	11	10	9	9	9	9	9	9	130

きらら居宅介護支援事業所

(単位：件)

内 訳	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン新規作成件数	R 3	3	5	7	2	2	2	3		1	1	4	2	32
	R 2	9	7	5	1	3	1	1		4	3	3	4	41
	R 1	1	2	1	2	2	2		1	1	2	6	1	21
要介護給付管理件数	R 3	70	72	75	76	78	74	75	75	72	70	76	74	887
	R 2	74	78	80	77	76	76	71	70	71	72	67	70	882
	R 1	67	69	68	66	67	67	64	63	63	60	64	65	783
介護予防ケアプラン件数	R 3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	R 2	1	1	1	2	2	1							8
	R 1								1	1	1	1	1	5

②地域ケア会議

旅川居宅介護支援事業所

- ・開催日 毎月第2火曜日
- ・実施回数 年10回
- 新型コロナウイルス感染の拡大を考慮し、R4.2月、3月は開催を見合わせる

きらら居宅介護支援事業所

- ・開催日 5/12、7/14、11/25、1/12、3/9 (zoom)
- ・出席者 南砺市地域包括支援センター城端地域担当職員
城端地域居宅介護支援事業所ケアマネ全員

地域ケア会議合同研修会

- ・開催日 5/28、9/30、3/22
- ・出席者 南砺市地域包括支援センター職員
南砺市福祉施設各事業所職員
- … 事業所共通
- ・実施回数 年3回

南砺市介護支援専門員研修会

- ・開催日 7/30、11/26、2/28→コロナ拡大防止にて中止

南砺市地域ケア個別会議

- ・開催日 毎月第2週水曜日
- 旅川 4/14、8/18、11/10
- やすらぎ荘 6/9、10/13
- ふく満 4/14、7/14、12/8
- … 事業所共通
- いなみ 7/14
- きらら 12/8

③南砺市医師会地域医療連携部会

- ・開催日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止

④留意事項伝達会議

- ・毎週1回実施
- … 事業所共通(きらら居宅は除く)

⑤事業所内研修(法人外と共同研修含む)

- ・毎月1回実施(旅川・やすらぎ荘・ふく満・いなみ)

9 在宅介護支援センター

(1) 事業概況

在宅介護支援センターは、地域包括支援センターの拠点として地域住民への相談窓口業務や利用者基本情報を作成し、地域包括支援センターとの連絡調整を行ってきた。

旅川在宅介護支援センターにおいて『在宅介護者教室』は、新型コロナウイルス感染の拡大を考慮し中止した。

やすらぎ荘・ふく満在宅介護支援センターは、在宅でのくらしや介護について不安や悩みをもつ高齢者やその家族に対し、在宅介護などに関する総合的な相談に応じ、ニーズに対応した各種の保健・医療・福祉サービスが総合的に受けられるよう調整を行った。

介護に役立つ知識や技法、介護予防や介護者の健康づくり、介護者同士の交流を目的とした介護者教室の予定計画はあったが、新型コロナウイルス感染状況の悪化によって中止した。

年数回ケア会議を開催し、各種研修や困難事例の検討会等を実施し、地域包括支援センター職員や地域の介護保険事業所職員、医療関係者、福祉施設職員との交流を行い、相互の資質の向上に努めた。

(2) 月別利用状況

旅川在宅介護支援センター

①事業内容別件数

(単位：件)

内 訳	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相 談	本年	28	21	27	18	28	23	37	12	11	12	10	16	243
	前年	9	11	5	9	12	12	7	11	18	2	9	25	130
訪 問	本年	5	5	10	5	3	4	4	3	2		1	2	44
	前年	3	4		1	5	3	2	1	5		4	3	31
介護用品貸出	本年	2	2	6	4	3	1	2	3	3		4	4	34
	前年	2	2	1	1	1	3	2	2	1		2	2	19
実 態 把 握	本年	1											1	2
	前年			1							1			2
食のアセスメント	本年		2											2
	前年	2	2	2	2	1		4	4	12	4	2		35

②相談内容別件数

(単位：件)

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
介 護 保 険	6	7	17	6	13	12	18	6	7	6	2	8	108
在 宅 福 祉	3	1	3	3	2			1					13
介 護 技 術													
住 宅 改 修		1	2					1					4
医 療 保 険					1							1	2
苦 情													
認 知 症	2	1					3	1	2	5		2	16
精 神				4									4
障 害													
虐 待													
経 済 的	1												1
権利擁護・成年後見													
介 護 支 援 専 門 員	1	1	2	1	3	1	6	1	1	1	1	2	21
介 護 サービス 調 整 中										2	2		4
施 設 入 所		3				3	6					2	14
そ の 他	9	3	2	4	4	2	5	1	2	1		2	35
合 計	22	17	26	18	23	18	38	11	12	15	5	17	222

③相談方法別件数

(単位：件)

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
電 話	15	10	8	9	16	13	23	7	8	8	6	9	132
来 所	8	6	9	4	9	5	10	2	1	4	3	5	66
訪 問	5	5	10	5	3	4	4	3	2		1	2	44
文 書 ・ メ ー ル													
そ の 他						1							1
合 計	28	21	27	18	28	23	37	12	11	12	10	16	243

やすらぎ荘在宅介護支援センター

①事業内容別件数

内 訳	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相 談	本年	8	8	7	1	3	12	7	7	15	12	5	20	105
	前年		6	6	1	8	8	4	14	7	2	3	5	64
実相談人員	本年	7	8	7	1	3	9	7	7	12	12	5	19	97
	前年		3	4	1	3	6	2	8	6	1	3	4	41
家庭訪問	本年	6	6	4	1	2	9	5	5	10	11	4	17	80
	前年		5	3		3	3	1	6	5	2	1	4	34
実訪問人員	本年	6	6	4	1	2	7	5	5	9	11	4	17	77
	前年		2	3		3	2	1	6	5	1	1	3	27
実態把握数	本年	1				2						1		4
	前年	2	1		1	2	2	1	1	3	16	3		32
食のアセスメント	本年	1				2								3
	前年	2	1			2	2		1	3	16	3		30

②相談内容別件数

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
介 護 保 険	5	7	6	1	1	8	6	4	7	9	3	12	69
在 宅 福 祉									1				1
介 護 技 術		1											1
住 宅 改 修	1	1			1								3
医 療 保 険									1				1
苦 情													
認 知 症													
精 神													
障 害													
虐 待													
経 済 的						1							1
権利擁護・成年後見													
介護支援専門員	2		1			2		1	1	3		6	16
介護サービス調整中	1					2						2	5
施 設 入 所									1				1
そ の 他		3					1	2			2	1	9
合 計	9	12	7	1	2	13	7	7	11	12	5	21	107

③相談方法別件数

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
電 話	1	2	1			3	2	2	3	1		3	18
来 所	1		2		1				2		1		7
訪 問	6	6	4	1	2	9	5	5	10	11	4	17	80
文 書 ・ メ ー ル													
そ の 他													
合 計	8	8	7	1	3	12	7	7	15	12	5	20	105

ふく満在宅介護支援センター

①事業内容別件数

内 訳	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相 談	本年	14	5	8	7	1	5	6	3	5	5	6	5	70
	前年	2		11	3	9	8	8	8	8	7	4	5	73
家庭訪問	本年	11	3	5	4	1	5	6	1	4	4	4	5	53
	前年	2		7	1	3	7	5	7	8	6	4	2	52
実訪問人員	本年	9	3	5	4	1	1	6	1	4	4	3	4	45
	前年	1		4	1	3	5	4	7	8	6	4	2	45
実態把握数	本年	1										1		2
	前年			1									1	2
食のアセスメント	本年			1										1
	前年		2	4		1	2	1	1	1	13	7	1	33

②相談内容別件数

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
介 護 保 険	9	2	6	1	1	3	4	2	3	3	2	4	40
在 宅 福 祉									1	1	1		3
介 護 技 術						1							1
住 宅 改 修					1								1
医 療 保 険				1			1		1	1	1		5
苦 情													
認 知 症	2			1			1				1		5
精 神													
障 害													
虐 待													
経 済 的													
権利擁護・成年後見													
介護支援専門員	5	5	5	1		1	5	2	3	1	1	3	32
介護サービス調整中	4	1	1	1			1	1	3	1	4		17
施 設 入 所	1			1							1	2	5
そ の 他				3		2					1	1	7
合 計	21	8	12	9	2	7	12	5	11	7	12	10	116

③相談方法別件数

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
電 話	3	2	3	1				2	1	1	2		15
来 所				2									2
訪 問	11	3	5	4	1	5	6	1	4	4	4	5	53
文 書 ・ メ ー ル													
そ の 他													
合 計	14	5	8	7	1	5	6	3	5	5	6	5	70

きらら在宅介護支援センター

①事業内容別件数

内 訳	年度別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相 談	本年	5	10	7	3		4	2			1	4	3	39
	前年	21	14	13	5	1	4	5	1	4	4	8	3	83
家庭訪問	本年	1	3	1				1				1	1	8
	前年	6	2	5	1		2	2		2	2	3		25
実態把握数	本年													
	前年		1	1			4	4	1	2	5	7		25
食のアセスメント	本年													
	前年		1	1			4	4	1	2	5	7		25

②相談内容別件数

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
介 護 保 険	5	9	4	1			1			1	3	3	27
在 宅 福 祉	2	2	1	2							1		8
介 護 技 術													
住 宅 改 修													
医 療 保 険													
苦 情													
認 知 症		1											1
精 神											1		1
障 害													
虐 待													
経 済 的													
権利擁護・成年後見													
介護支援専門員		3	3	1		3	2						12
介護サービス調整中													
施 設 入 所													
そ の 他			1			1							2
合 計	7	15	9	4		4	3			1	5	3	51

③相談方法別件数

内 訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
電 話	4	3	3	2		4	1				2	2	21
来 所		4	3							1	1		9
訪 問	1	3	1				1				1	1	8
文 書 ・ メ ー ル													
そ の 他				1									1
合 計	5	10	7	3		4	2			1	4	3	39

④家族在宅介護教室及び介護者交流事業等の開催状況について

◎介護教室等は、各事業所とも新型コロナウイルス感染の拡大を考慮し中止とした。

10 配食サービス

やすらぎ荘配食サービス

(1) 事業概況

在宅の高齢者を定期的に訪問し、栄養のバランスがとれた温かい食事や、利用者のニーズに応じて選択できる療養食を（昼・夕）提供することができた。

また、独り暮らしの高齢者の安否を確認すると共に、健康の維持を図り、住み慣れた地域で安心して在宅生活を送れるように支援している。

(2) 利用延べ人数・回数

(単位：日、人)

年度	区分	内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和3年度	昼食	活動日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	
		介護保険対象者	一般食	387	325	386	374	363	328	338	324	320	296	275	349	4,065
			糖尿病食	192	161	184	169	174	166	157	135	129	125	109	113	1,814
			腎臓病食	38	32	37	16	16	16	17	15	16	11	10	12	236
			減塩食	71	60	75	67	71	64	69	57	45	40	37	48	704
	合 計	688	578	682	626	624	574	581	531	510	472	431	522	6,819		
	夕食	活動日数	21	18	22	20	21	20	21	20	20	19	18	22	242	
		介護保険対象者	一般食	103	104	119	100	102	88	91	95	90	84	62	98	1,136
			糖尿病食	107	86	109	98	105	100	86	79	78	95	89	90	1,122
			腎臓病食	12	11	13	12	12	12	13	12	12	3	0	0	112
減塩食			88	75	90	82	85	81	85	81	77	73	71	86	974	
合 計	310	276	331	292	304	281	275	267	257	255	222	274	3,344			
令和2年度	昼食	活動日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243	
		介護保険対象者	一般食	444	369	449	436	430	426	448	384	391	381	360	438	4,956
			糖尿病食	170	151	179	174	156	178	200	162	177	164	163	211	2,085
			腎臓病食	9	7	9	6	0	0	3	22	34	19	27	40	176
			減塩食	122	101	132	122	107	105	118	95	91	89	68	80	1,230
	合 計	745	628	769	738	693	709	769	663	693	653	618	769	8,447		
	夕食	活動日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243	
		介護保険対象者	一般食	196	148	168	148	159	157	174	142	143	121	101	127	1,784
			糖尿病食	92	102	114	123	114	114	126	108	101	95	95	120	1,304
			腎臓病食	12	11	13	11	7	12	13	12	12	11	12	14	140
減塩食			91	85	116	105	89	88	95	81	83	95	87	95	1,110	
合 計	391	346	411	387	369	371	408	343	339	322	295	356	4,338			
令和元年度	昼食	活動日数	20	19	20	22	20	19	21	20	20	19	18	21	239	
		介護保険対象者	一般食	351	359	349	392	354	323	352	327	321	307	325	435	4,195
			糖尿病食	88	95	100	110	134	156	161	153	148	137	140	170	1,592
			腎臓病食	20	19	20	22	20	19	20	20	20	15	7	9	211
			減塩食	129	107	111	130	126	128	132	143	126	127	95	113	1,467
	合 計	588	580	580	654	634	626	665	643	615	586	567	727	7,465		
	夕食	活動日数	20	19	20	22	20	19	21	20	20	19	18	21	239	
		介護保険対象者	一般食	129	141	138	177	188	174	193	188	175	161	168	205	2,037
			糖尿病食	53	55	57	82	73	70	77	75	89	74	102	111	918
			腎臓病食	8	8	8	9	8	8	9	8	8	9	11	12	106
減塩食			65	78	84	93	78	79	84	82	101	87	73	100	1,004	
合 計	255	282	287	361	347	331	363	353	373	331	354	428	4,065			

(3) 地区別利用実人数

(単位：人)

年度	区分	地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	昼食	福光	45	46	42	43	43	42	39	38	36	34	34	35	477
		城端	10	9	9	8	7	7	7	7	6	5	5	5	85
		合計	55	55	51	51	50	49	46	45	42	39	39	40	562
	夕食	福光	21	20	19	19	19	18	18	17	16	17	16	15	215
令和2年度	昼食	福光	48	47	48	50	50	53	51	50	49	50	49	47	592
		城端	9	10	9	9	9	9	10	11	11	11	12	11	121
		井口	1	1	1	1	1	1							6
	合計	58	58	58	60	60	63	61	61	60	61	61	61	58	719
夕食	福光	28	29	27	28	24	24	23	24	23	22	22	22	296	
令和元年度	昼食	福光	43	42	42	45	42	42	42	45	43	40	44	45	515
		城端	9	8	9	9	10	10	10	9	7	7	8	9	105
		井口	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	合計	53	51	52	55	53	53	53	53	55	51	48	53	55	632
夕食	福光	23	22	23	25	26	25	25	27	27	29	32	29	313	

1.1 介護員養成研修事業

(1) 事業概況

富山県は厚生労働省の委託事業として、福寿会で「地域創生人材育成事業」を3年間実施した。(平成27年度～29年度) 国の委託事業終了後、福寿会独自で雇用型実地訓練を継続(平成30年度)令和元年度から、南砺市介護人材雇用型訓練事業が告示され、南砺市の介護人材就労・定着を図るため介護職員初任者研修修了者を対象とした「南砺市介護人材雇用型訓練事業」に引き継がれた。今年度初任者研修受講後、6名南砺市雇用型訓練を受け、福寿会に5名就職され、1名は市内介護施設に就職された。また富山県技術学院砺波センターの介護職員初任者研修を修了された方で、南砺市雇用型訓練を受けられた1名が福寿会に就職された。行政のネットワークと連携して介護職育成に取り組んでいる。

(2) 研修実施状況

(単位：人)

①介護職員初任者研修課程(通学)

実施回	期 間	受講数	修了数	性別		年齢		
				男性	女性	平均	最小	最高
第7期	令和1年6月1日～8月30日	9	8	2	7	46	27	59
第8期	令和2年8月4日～10月27日	8	8	2	6	44	19	67
第9期	令和3年6月1日～8月24日	12	12	0	12	45	18	68

※富山県委託 地域創生人材育成事業 平成27年～平成29年度

②受講生の住所地

	南砺市	砺波市	小矢部市	その他
第7期	8	0	1	0
第8期	6	1	1	0
第9期	10	1		1

③資格取得後、介護職就業状況

	福寿会	他の介護医療施設
第7期	1	6
第8期	6(内4、既就業者)	2
第9期	10(内5、既就業者)	2

④雇用型実地訓練内訳

	期 間	受講数	修了数	性別		年齢		
				男性	女性	平均	最小	最高
第7期	令和1年9月～10月	1	1	1	0	65	0	0
第8期	令和2年11月～12月	2	2	1	1	63	0	0
(砺波学院)	令和2年12月～令和3年1月	2	2	1	1	57	0	0
第9期	令和3年9月1日～10月31日	6	6		6	49	46	58
(砺波学院)	令和3年12月1日～令和4年1月31日	1	1		1	63	0	0

(3) 富山県介護員養成機関連絡協議会

令和1年3月22日、令和2年度コロナ感染症流行にて中止、令和3年度3月11日ZOOMオンライン研修

1 2 保育事業

(1) 事業概況

平成29年4月より、従業員や地域の方が子育てしながら安心して働けるようにと、企業主導型保育園「あすなる保育園」を開園し、最大定員19名で運営している。

5年目を迎え、徐々に認知されてきており、従業員枠、地域枠ともに兄弟で利用されるなど年間を通して多く利用された。

昨年に続き、コロナウイルスの影響で、親子参加型の行事は自粛し、保育士と児童のみで行った。また、保護者会については、個別で希望者のみとし、日々の様子はDVDの映像を回覧することとした。

保育時間は、早朝6時30分から19時30分まで（延長保育時間含む）、月曜日から土曜日まで開園し、保護者の勤務にあわせて保育を行っている。

保育業務は、保育専門のキッズコーポレーションに業務委託し、「KIDS FIRST～何より子供が最優先～」という保育理念のもと、きめ細やかな教育・保育を行っている。

(2) 年間主要行事

	行事内容			監査・立入調査等
4月	歓迎お楽しみ会			
5月	こどもの日の集い	お誕生会		
6月	定期健康診断	合同避難訓練	お誕生会	
7月	七夕会	お誕生会		富山県認可外保育施設立入調査
8月	夏祭り(児童のみ)	お誕生会		
9月	敬老の日はがき制作			児童育成協会オフサイト調査
10月	歯科検診	園外保育	芋ほり見学	
11月	定期健康診断	勤労感謝カード作成	災害時引き渡し訓練	
12月	クリスマス会	親子制作	お誕生会	
1月	お楽しみ会	保護者会(個別希望者)		
2月	節分会	お誕生会		
3月	ひなまつり	修了式		

(3) 月別利用状況

(人)

年度	月 齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和3年度	運営日数	25	23	26	25	25	24	26	24	24	23	22	26	293	
	利用実人員	0歳児		1	1	1	1	1	2	4	5	7	7	7	37
		1歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	6	6	70
		2歳児	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	21
		合計	8	9	9	9	9	9	10	12	12	13	14	14	128
	利用延べ人員	0歳児		6	21	16	20	20	26	51	70	119	95	141	585
		1歳児	122	116	134	88	123	127	131	117	107	100	94	121	1380
		2歳児	41	38	44	34	31	41	44	44	44	19	17	21	418
		合計	163	160	199	138	174	188	201	212	221	238	206	283	2,383

年度	月 齡	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和2年度	運営日数	23	20	22	22	21	21	24	19	23	22	22	26	265	
	利用実人員	0歳児		1	2	2	3	3	3	3	4	5	7	8	41
		1歳児	4	4	4	4	4	4	4	5	5	4	4	4	50
		2歳児	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	43
		合計	7	8	9	9	10	11	11	12	13	13	15	16	134
	利用延人員	0歳児		5	37	33	45	54	51	58	73	101	115	157	729
		1歳児	84	55	85	80	75	79	88	82	85	71	72	93	949
		2歳児	60	28	62	59	56	60	74	62	71	67	66	83	748
		合計	144	88	184	172	176	193	213	202	229	239	253	333	2,426

年度	月 齡	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和元年度	運営日数	24	23	25	25	26	23	24	24	24	23	23	25	289	
	利用実人員	0歳児	1	1	2	4	4	5	5	6	7	8	8	8	59
		1歳児	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	42
		2歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
		合計	6	6	7	9	9	10	9	10	11	12	12	12	113
	利用延人員	0歳児	3	22	38	53	68	77	95	119	135	142	146	166	1064
		1歳児	79	71	69	70	60	55	60	50	57	53	48	60	732
		2歳児	10	19	22	20	18	16	23	23	23	21	17	23	235
		合計	92	112	129	143	146	148	178	192	215	216	211	249	2,031

V ボランティアの受入れ状況

福寿園

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
南砺福野高校農業環境科	2	54	雪つり・車椅子清掃他
福野青葉幼稚園	1	5	収穫祭・歌
福野小学校	1	2	ビデオレター・作品
合計	3回	47人	

福野デイサービスセンター

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
受け入れなし			
合計	0回	0人	

旅川デイサービスセンター

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
受け入れなし			
合計	0回	0人	

やすらぎ荘

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
福光青葉幼稚園	1	12	収穫祭・歌
井口赤十字奉仕団	6	32	作業奉仕 除草
明るい社会づくり運動南砺支部	4	34	作業奉仕 除草
山坂 年夫	9	9	季節毎の写真パネル展示
合計	20回	87人	

やすらぎ荘デイサービスセンター

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
受け入れなし			
合計	0回	0人	

ふく満デイサービスセンター

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
受け入れなし			
合計	0回	0人	

いなみ

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
受け入れなし			
合計	0回	0人	

デイサービスセンターいなみ

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
受け入れなし			
合計	0回	0人	

きらら

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
北野老人クラブ	1	8	外周草刈り
伝栄寺	4	4	法話会
城端別院 郭龍山 善徳寺	1	3	報恩講
合計	6回	15人	

きららデイサービスセンター

団体名・個人名	回数	延べ人数	活動内容
龍勝寺 ・ 鳥越一志	1	1	法話会
浄念寺 ・ 河合宜朋	1	1	法話会
浄安寺 ・ 梅川浩幸	1	1	法話会
宗林寺 ・ 桂恵子	1	1	法話会
大覚寺 ・ 石黒聡志	1	1	法話会
報土寺 ・ 大村宣彰	1	1	法話会
専徳寺 ・ 高桑幸雄	1	1	法話会
以速寺 ・ 梅原裕放	1	1	法話会
大泉寺 ・ 杉野賢一	1	1	法話会
大福寺 ・ 太田浩史	1	1	法話会
合計	10回	10人	

VI 実習及び研修生受け入れ状況

福寿園

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関（実習課程名・目標資格名）	人数
R3. 5. 20～21, 24～26	南砺福野高校福祉科3年 介護実習Ⅱ-3	3
R3. 6. 14～16, 21～23	南砺福野高校福祉科3年 介護実習Ⅱ-4	3
R3. 6. 28～30	となみ野高校2年 施設・居住型、デイ提供現場実習(特養・デイ)	3
R3. 7. 5～7. 19	南砺福野高校福祉科3年 介護実習Ⅱ-5	3
R3. 7. 26～7. 30	南砺福野高校福祉科2年 介護実習Ⅰ-5	3
R3. 8. 3～8. 6	となみ野高校2年 施設・居住型、デイ提供現場実習(特養・デイ)	1
R3. 10. 18～10. 22	南砺福野高校福祉科2年 介護実習Ⅱ-1	2
R3. 12. 6～12. 10	南砺福野高校福祉科2年 介護実習Ⅱ-2	2
R3. 12月～R4. 1月	南砺市介護人材雇用型訓練事業	1
合 計	10 件	21

旅川デイサービスセンター

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関（実習課程名・目標資格名）	人数
R3. 6. 14～6. 22	南砺福野高等学校 福祉科2年 介護実習Ⅰ-4	2
R3. 7. 26～7. 29	南砺福野高等学校 福祉科1年 介護実習Ⅰ-1	2
合 計	2 件	4

旅川ホームヘルプサービス事業所

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関（実習課程名・目標資格名）	人数
R3. 8. 4・11	南砺福野高等学校 福祉科3年 介護実習Ⅰ-7	2
R3. 9. 6～9. 11	富山福祉短期大学 社会福祉学科2年 介護実習Ⅱ-②	1
R3. 11. 10	となみ野高校福祉科2年 ヘルパー実習	1
R3. 11. 12	となみ野高校福祉科2年 ヘルパー実習	1
合 計	5 件	5

やすらぎ荘

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関（実習課程名・目標資格名）	人数
R3. 5. 20～5. 26	南砺福野高等学校 福祉科3年 介護実習Ⅱ-3	3
R3. 6. 14～6. 23	南砺福野高等学校 福祉科3年 介護実習Ⅱ-4	3
R3. 7. 5～7. 19	南砺福野高等学校 福祉科3年 介護実習Ⅲ-5	3
R3. 7. 26～7. 30	南砺福野高等学校 福祉科2年 介護実習Ⅰ-5	3
R3. 10. 18～10. 22	南砺福野高等学校 福祉科2年 介護実習Ⅱ-1	3
R3. 10. 18～11. 5	富山福祉短期大学 社会福祉学科2年 介護実習Ⅱ-②	1
R3. 12. 6～12. 10	南砺福野高等学校 福祉科2年 介護実習Ⅱ-2	3
R4. 2. 7～3. 4	富山福祉短期大学 社会福祉学科1年 介護実習Ⅱ-①	1
合 計	8 件	20

やすらぎ荘デイサービスセンター

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関	人数
R3. 7. 26～7. 29	南砺福野高等学校 福祉科1年 介護実習Ⅰ-1	2
合 計	1 件	2

ふく満デイサービスセンター

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関	人数
R3. 6. 14~6. 22	南砺福野高等学校 福祉科2年 介護実習 I-4	2
R3. 7. 26~7. 29	南砺福野高等学校 福祉科1年 介護実習 I-1	2
合 計	2 件	4

ふく満ホームヘルプサービス事業所

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関	人数
R3. 7. 26~8. 12	南砺福野高等学校 福祉科3年 介護実習 I-7	2
R3. 9. 6~9. 11	富山福祉短期大学 社会福祉学科2年 介護実習 I-②	1
合 計	2 件	3

いなみ

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関 (実習課程名・目標資格名)	人数
R3. 5. 20・21 24~26	南砺福野高等学校 福祉科3年 介護実習 II-3	2
R3. 6. 14~16・21~23	南砺福野高等学校 福祉科3年 介護実習 II-4	2
R3. 6. 14~17	となみ野高等学校 介護実習 I	1
R3. 7. 5~19	南砺福野高等学校 福祉科3年 介護実習 II-5	2
R3. 7. 26~30	南砺福野高等学校 福祉科2年 介護実習 I-5	2
R3. 8. 23~31	富山短期大学 1年 基礎実習 (施設)	2
R3. 10. 18~22	南砺福野高等学校 福祉科2年 介護実習 II-1	2
R3. 12. 6~10	南砺福野高等学校 福祉科2年 介護実習 II-2	2
合 計	8 件	15

デイサービスセンターいなみ

(単位：人)

期 間	所属学校名及び団体名	人数
R3. 6. 17	となみ野高等学校 介護実習 I	1
R3. 6. 14~15・21~22	南砺福野高等学校 福祉科2年 介護実習 I-4	2
R3. 7. 26~29	南砺福野高等学校 福祉科1年 介護実習 I-1	2
R3. 8. 16~20	富山短期大学 1年 基礎実習 (居宅介護等実習)	2
合 計	4 件	7

きらら

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関 (実習課程名・目標資格名)	人数
R3. 9	城端中学校 社会に学ぶ14歳の挑戦→中止	0
R3. 5. 20~21、5. 24~26	南砺福野高等学校福祉科3年 介護実習 II-3	2
R3. 6. 14~16、5. 21~23	南砺福野高等学校福祉科3年 介護実習 II-4	2
R3. 7. 5~7. 19	南砺福野高等学校福祉科3年 介護実習 II-5	2
R3. 10. 18~10. 22	南砺福野高等学校福祉科2年 介護実習 II-1	1
R3. 12. 6~12. 10	南砺福野高等学校福祉科2年 介護実習 II-2	1
R3. 10. 25~11. 9	富山短期大学健康福祉学科2年 総合実習	2
合 計	6件	10

きららデイサービスセンター

(単位：人)

期 間	実習・研修依頼機関 (実習課程名・目標資格名)	人数
R3. 7. 26~7. 29	南砺福野高等学校福祉科1年 介護実習 I-1	1
合 計	1件	1